

Imajuku Goroue

# 今宿五郎江 9

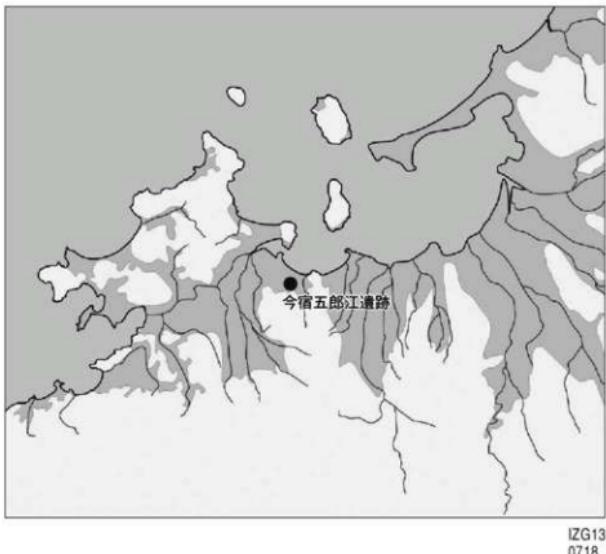
—第13次調査の報告—

2011

福岡市教育委員会

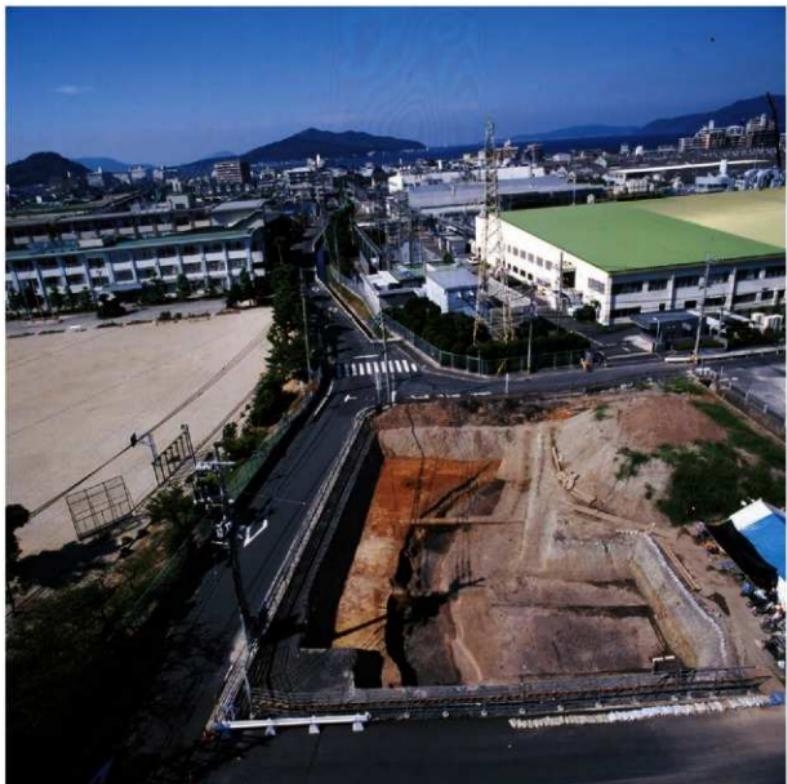
Imajuku Goroue  
今宿五郎江 9

– 第13次調査の報告 –



2011

福岡市教育委員会



第13次調査地点全景（南から）



「寶」銘銅印

## 序

福岡市は大陸に近いという地理的条件から、文化の流入拠点、大陸との貿易基地として古くからの歴史を有しています。現在は歴史的、地理的に関係の深いアジアとのつながりを重視し、「アジアの交流拠点都市」を目指し、アジアの様々な地域との交流や学術・文化などの交流を行っています。

また、九州大学伊都キャンパスが設置された本市西部地域では新たな拠点づくりが進められており、伊都土地区画整理事業は、JR筑肥線沿線の都市基盤や交通結節機能の整備ならびに良好な住宅地の供給を目的に行われるものであります。

今回報告する今宿五郎江遺跡13次調査はその事業に伴い2007年度に実施したもので、弥生時代後期の環濠や多数の遺物が発見され、弥生時代の「伊都国」の重要な拠点集落であることがわかりました。本書が文化財保護のより一層のご理解の一助となり、学術研究の資料として活用いただければ幸いです。

最後になりましたが、伊都土地区画整理事務所をはじめとする関係各位のご協力に並び調査に厚くお礼申し上げます。

平成23年3月18日

福岡市教育委員会  
教育長 山田 裕嗣

# 例言

1. 本書は伊都土地区画整理事業に伴い、福岡市教育委員会が2007年度に行った今宿五郎江遺跡群第13次調査の報告である。
2. 本書に使用した遺構実測図は菅波正人、森本幹彦が、遺物実測図は熊塙御堂和香子、車敏浩、平川敬治、菅波が行った。トレースは熊塙御堂和香子が行った。
3. 本書に使用した写真は菅波、空中写真は（株）写測エンジニアリングが撮影した。
4. 本書に使用した座標は国土座標第II系（日本測地系）を使用し、本書に使用した方位は座標北である。
5. 本書の執筆・編集は菅波正人が行った。
6. 今回報告する出土遺物および遺構、遺物の記録類は福岡市埋蔵文化財センターにおいて収蔵・管理される予定である。

調査番号	調査次数	担当者	所在地	分布地図番号	調査期間	調査面積	遺跡の時代
0718	第13次	菅波	西区今宿172-4	今宿 112 0626	2007.6.1 ～10.23	820m <sup>2</sup>	弥生時代 集落

## 目次

I はじめに	
1. 調査に至る経緯	1
2. 調査の組織	1
3. 遺跡の位置と環境	2
II 調査の記録	
1. 調査の概要	7
2. 検出遺構	7
3. 出土遺物	12
4. 小結	110

## 挿図目次

Fig. 1 今宿五郎江遺跡位置図 (1/25,000)	3	Fig. 14 SD003出土土器実測図7 (1/4)	23
Fig. 2 今宿五郎江遺跡航空写真合成図	5	Fig. 15 SD003出土土器実測図8 (1/4)	24
Fig. 3 今宿五郎江遺跡調査地点位置図 (1/2000)	6	Fig. 16 SD003出土土器実測図9 (1/4)	25
Fig. 4 今宿五郎江遺跡第13次調査地点周辺遺構配置図 (1/600)	8	Fig. 17 SD003出土土器実測図10 (1/4)	26
Fig. 5 今宿五郎江遺跡第13次調査遺構配置図 (1/200)	9	Fig. 18 SD003出土土器実測図11 (1/4)	27
Fig. 6 SD003土層実測図 (1/40)	10	Fig. 19 SD003出土土器実測図12 (1/4)	28
Fig. 7 SK001_002実測図 (1/40)	11	Fig. 20 SD003出土土器実測図13 (1/4)	29
Fig. 8 SD003出土土器実測図1 (1/4)	17	Fig. 21 SD003出土土器実測図14 (1/4)	30
Fig. 9 SD003出土土器実測図2 (1/4)	18	Fig. 22 SD003出土土器実測図15 (1/4)	31
Fig. 10 SD003出土土器実測図3 (1/4)	19	Fig. 23 SD003出土土器実測図16 (1/4, 1/8)	32
Fig. 11 SD003出土土器実測図4 (1/4)	20	Fig. 24 SD003出土土器実測図17 (1/4)	33
Fig. 12 SD003出土土器実測図5 (1/4)	21	Fig. 25 SD003出土土器実測図18 (1/4)	34
Fig. 13 SD003出土土器実測図6 (1/4)	22	Fig. 26 SD003出土土器実測図19 (1/4)	35

Fig. 27 SD003出土土器実測図20 (1/4) .....	36
Fig. 28 SD003出土土器実測図21 (1/4, 1/8) .....	37
Fig. 29 SD003出土土器実測図22 (1/4) .....	38
Fig. 30 SD003出土土器実測図23 (1/4) .....	39
Fig. 31 SD003出土土器実測図24 (1/4) .....	40
Fig. 32 SD003出土土器実測図25 (1/4) .....	41
Fig. 33 SD003出土土器実測図26 (1/4) .....	42
Fig. 34 SD003出土土器実測図27 (1/4) .....	43
Fig. 35 SD003出土土器実測図28 (1/4) .....	44
Fig. 36 SD003出土土器実測図29 (1/4) .....	45
Fig. 37 SD003出土土器実測図30 (1/4) .....	46
Fig. 38 SD003出土土器実測図31 (1/4) .....	47
Fig. 39 SD003出土土器実測図32 (1/4) .....	48
Fig. 40 SD003出土土器実測図33 (1/4) .....	49
Fig. 41 SD003出土土器実測図34 (1/4) .....	50
Fig. 42 SD003出土土器実測図35 (1/4) .....	51
Fig. 43 SD003出土土器実測図36 (1/4) .....	52
Fig. 44 SD003出土土器実測図37 (1/4) .....	53
Fig. 45 SD003出土土器実測図38 (1/4) .....	54
Fig. 46 SD003出土土器実測図39 (1/4, 1/8) .....	55
Fig. 47 SD003出土土器実測図40 (1/4) .....	56
Fig. 48 SD003出土土器実測図41 (1/4) .....	57
Fig. 49 SD003出土土器実測図42 (1/4) .....	58
Fig. 50 包含層出土土器実測図1 (1/4) .....	59
Fig. 51 包含層出土土器実測図2 (1/4) .....	60
Fig. 52 包含層出土土器実測図3 (1/4) .....	61
Fig. 53 包含層出土土器実測図4 (1/4) .....	62
Fig. 54 包含層出土土器実測図5 (1/4) .....	63
Fig. 55 包含層出土瓦実測図1 (1/4) .....	64
Fig. 56 包含層出土瓦実測図2 (1/4) .....	65
Fig. 57 包含層出土瓦実測図3 (1/4) .....	66
Fig. 58 包含層出土瓦実測図4 (1/4) .....	67
Fig. 59 包含層出土瓦実測図5 (1/4) .....	68
Fig. 60 包含層出土瓦実測図6 (1/4) .....	69
Fig. 61 SD003及び包含層出土石器実測図1 (1/2) .....	70
Fig. 62 SD003及び包含層出土石器実測図2 (1/2) .....	71
Fig. 63 SD003及び包含層出土石器実測図3 (1/2) .....	72
Fig. 64 SD003及び包含層出土石器実測図4 (1/2) .....	73
Fig. 65 SD003及び包含層出土石器実測図5 (1/2) .....	74
Fig. 66 SD003及び包含層出土石器実測図6 (1/2) .....	75
Fig. 67 SD003及び包含層出土石器実測図7 (1/2) .....	76
Fig. 68 SD003及び包含層出土石器実測図8 (1/3) .....	77
Fig. 69 SD003及び包含層出土石器実測図9 (1/3) .....	78
Fig. 70 SD003及び包含層出土石器実測図10 (1/3) .....	79
Fig. 71 SD003及び包含層出土石器実測図11 (1/3) .....	80
Fig. 72 SD003及び包含層出土製品、石製品、金属製品実測図 (1/1, 1/2) .....	81
Fig. 73 SD003出土鉄造鍛斧実測図 (1/2) .....	82
Fig. 74 包含層出土銅印実測図 (1/1) .....	83
Fig. 75 SD003出土木器実測図1 (1/6) .....	84
Fig. 76 SD003出土木器実測図2 (1/6) .....	85
Fig. 77 SD003出土木器実測図3 (1/4, 1/6) .....	86
Fig. 78 SD003出土木器実測図4 (1/4, 1/6) .....	87
Fig. 79 SD003出土木器実測図5 (1/6) .....	88
Fig. 80 SD003出土木器実測図6 (1/6) .....	89

## 図版目次

### 巻頭カラー

第13次調査地点全景（南から）

「寶」鋸削印

PL. 1 調査区遠景（南から）	
PL. 2 1 II区調査区全景（東から）	
PL. 2 2 II区調査区全景（南から）	
PL. 3 1 I区調査区全景（東から）	
PL. 3 2 I区調査区全景（南から）	
PL. 4 1 II区調査区SD003完掘（南から）	
PL. 4 2 I区調査区SD003完掘（南から）	
PL. 5 1 調査区西側掘り下げ風景（南から）	
PL. 5 2 SD003 1層下層遺物出土状況2（南から）	
PL. 6 1 SD003 1層下層遺物出土状況1（南から）	
PL. 6 2 SD003 1層下層遺物出土状況4（南から）	
PL. 6 3 SD003 1層下層遺物出土状況3（南から）	
PL. 6 4 SD003 1層下層遺物出土状況5（北から）	
PL. 6 5 SD003 1層下層遺物出土状況6（東から）	
PL. 6 6 B2区SD003 1層下層袋状口縁遺物出土状況（東から）	
PL. 6 7 C2区遺構面ガラス玉出土状況（西から）	
PL. 6 8 C2区遺構面（GL -20cm）銅鏡出土状況（北から）	
PL. 7 1 銅印出土状況（南から）	
PL. 7 2 SD003トレシナ2鉄造鍛斧出土状況（南から）	
PL. 7 3 レンチ2石鍥未製品出土状況（南から）	
PL. 7 4 C2区SD003トレシナ4陶器製石器（南から）	
PL. 7 5 C2区SD003トレシナ4陶器製石斧（南から）	
PL. 7 6 レンチ4勾玉出土状況（南から）	
PL. 7 7 B2区SD003鹿角出土状況（東から）	
PL. 7 8 B2区SD003鹿角出土状況（北から）	
PL. 8 1 C2区SD003木製品出土状況（南から）	

PL_8_2	C~D2区SD003木製品出土状況（南から）	PL_15_3	A3区SD003木製椅子出土状況（西から）
PL_9_1	SD003木製品出土状況（南から）	PL_16_1	A~B区SD003完掘（南から）
PL_9_2	C2区SD003木製品出土状況（南から）	PL_16_2	A~B区SD003完掘（南から）
PL_9_3	C2区SD003木製品出土状況（東から）	PL_17_1	A~B区SD003完掘（東から）
PL_9_4	C2区SD003木製品出土状況（東から）	PL_17_2	A3区SD003腰掛部（西から）
PL_9_5	C~D2区SD003木製品出土状況（西から）	PL_17_3	A3区SD003外側足跡埋出状況（東から）
PL_9_6	C2区SD003木製品出土状況（西から）	PL_17_4	A3区SD003外側土層堆積（南から）
PL_9_7	C2区SD003木製品出土状況（東から）	PL_17_5	SK001土層堆積（西から）
PL_9_8	C2区SD003木製品出土状況（東から）	PL_17_6	SK002土層堆積（南から）
PL_10_1	B2区SD003木製脚出土状況（東から）	PL_17_7	SK001完掘（北から）
PL_10_2	C2区SD003脚出土状況（南から）	PL_17_8	SK002完掘（南から）
PL_10_3	C2区SD003脚出土状況（東から）	PL_18	遺物写真1
PL_10_4	C2区SD003トレンチ4面脚出土状況（東から）	PL_19	遺物写真2
PL_10_5	C2区SD003羽子板状木製品出土状況（北から）	PL_20	遺物写真3
PL_10_6	C2区SD003三脚出土状況（西から）	PL_21	遺物写真4
PL_10_7	C2区SD003三脚出土状況（東から）	PL_22	遺物写真5
PL_10_8	B2区SD003東岸木製品まだり（南から）	PL_23	遺物写真6
PL_11_1	B2区SD003不明木製品出土状況（東から）	PL_24	遺物写真7
PL_11_2	C2区SD003柄出土状況（西から）	PL_25	遺物写真8
PL_11_3	B2区SD003東岸木製品出土状況（南から）	PL_26	遺物写真9
PL_11_4	C2区SD003杓子状木製品出土状況（西から）	PL_27	遺物写真10
PL_11_5	B2区SD003盤出土状況（東から）	PL_28	遺物写真11
PL_11_6	D2区SD003盤出土状況（東から）	PL_29	遺物写真12
PL_11_7	C2区SD003上層ベルト（南から）	PL_30	遺物写真13
PL_11_8	D2区SD003南壁上層（北から）	PL_31	遺物写真14
PL_12_1	SD003完掘（南から）	PL_32	遺物写真15
PL_12_2	D3区道構面杭出土状況（南から）	PL_33	遺物写真16
PL_13_1	A3区SD003鋸角出土状況（北から）	PL_34	遺物写真17
PL_13_2	A3区SD003木製品出土状況（北から）	PL_35	遺物写真18
PL_13_3	A3区SD003イノシシ頭出土状況（東から）	PL_36	遺物写真19
PL_14_1	A3区SD003木製品出土状況（南から）	PL_37	遺物写真20
PL_14_2	A3区SD003木製品出土状況（北から）	PL_38	遺物写真21
PL_15_1	A3区SD003杭列出土状況（西から）	PL_39	遺物写真22
PL_15_2	A3区SD003杭列立ち削り（南から）	PL_40	遺物写真23

# I はじめに

## 1. 調査に至る経緯

今回報告する今宿五郎江遺跡第13次調査は伊都区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査である。当該事業はJR筑肥線沿線の都市基盤や交通結節機能の整備ならびに良好な住宅地の供給を目的に行われるもので、施工面積約130haを測る。その範囲はかつての潟湖である今宿砂丘後背地を中心として、高祖山麓の台地を含む範囲に及んでいる。

1996（平成8）年11月、都市整備局伊都区画整理事務所（当時）から埋蔵文化財課（当時）に区画整理事業地内の埋蔵文化財についての確認の依頼があった。1996（平成8）年12月から1997（平成9）年2月にかけて事業地内の試掘を行い、事業地内の遺跡の範囲を確認した。その後、事業実施にあたり、再度、包蔵地内の遺跡の詳細を把握するための試掘を行い、調査範囲や期間に関する協議を進め、2002（平成14）年度より本調査に着手した。この事業に関わる調査は現在も継続中で、これまでに7遺跡25地点で実施した。本書に掲載した今宿五郎江遺跡第13次調査は本事業地の東端にあたる、西区今宿1724に所在する。2004（平成16）年度に実施した第10次調査地点の北側隣接地となる。調査は2006（平成19）年6月1日に着手し、10月23日に終了した。

## 2. 調査の組織

調査委託 住宅都市局伊都区画整理事務所

調査主体 福岡市教育委員会

教育長 山田裕嗣

文化財部長 宮川秋雄 矢野三津夫（調査時）

調査庶務 埋蔵文化財第1課

課長 濱石哲也

管理係長 田中龍三郎

管理係 古賀とも子

文化財整備課（調査時）

課長 秋吉誠

管理係長 白川国俊

管理係 井上幸江

事前協議 事前審査係長 宮井善朗 吉留秀敏（調査時）

審査係 阿部泰之 星野恵美（調査時）

調査総括 埋蔵文化財第2課

課長 田中寿男 力武卓治（調査時）

調査第1係長 杉山富雄

調査担当

主査 菅波正人

### 3. 遺跡の位置と環境

今宿五郎江遺跡は福岡市西部の今宿平野に位置する。今宿平野は今山～長垂山間の弓状砂丘と南側の高祖山の間に形成された小平野で、糸島平野と早良平野の境にある。平野は叶嶽～長垂山山塊を東端、瑞梅寺川河口を西端とし、東西約3kmを測る。平野の東部には高祖山と叶嶽の間に扇状地が形成され、西側は後背地の沖積地化や近世の干拓等によって陸地となっている弥生時代には砂丘の後背湿地が広がっていたことが分かっている。今宿五郎江遺跡は平野東部の扇状地と高祖山から延びる丘陵先端が接する場所に位置する。

今宿平野の遺跡についてはこれまでの報告書などに触れられているが、ここでは弥生時代から古代の遺跡について見て行く。この時期の遺跡の分布は海岸の砂丘上、平野東部の扇状地、高祖山から延びてくる丘陵上の3つに分けられる。

砂丘上の遺跡では今宿遺跡があり、砂丘の西側には玄武岩製石斧の製作地で著名な今山遺跡がある。今宿遺跡では第8次調査で砂丘の下層で縄文時代前期に遡る包含層が確認され、縄文海進前後以降の地形変遷を考える上で重要な成果が得られた。弥生時代では前期初頭の甕棺墓や土壙墓等が検出され、細形銅劍や硬玉製勾玉等も出土している。集落遺構は明確ではないが、弥生時代から古墳時代初頭の土器の他、婧壺や製塙土器、滑石製錘等が出土しており、漁業、製塙に関わった集落の存在が予想される。また、先の8次調査では平安時代のドッグ状遺構が検出されており、大宰府主船司等との関連を含めてその性格が注目される。

平野東部の扇状地の遺跡では調査例は少ないが、青木遺跡では弥生時代中期の竪穴住居跡、後期の甕棺墓、鷺崎遺跡では弥生時代中期の竪穴住居跡が検出されている。今宿五郎江遺跡は今宿平野における弥生時代中期後半から後期の拠点集落と考えられるが、それらの遺跡との関連が注目される。

丘陵上の遺跡では丘陵先端部で集落遺跡が検出されている。今宿大塚古墳が立地する丘陵先端に展開する大塚遺跡では弥生時代後期から古墳時代前期にかけての竪穴住居跡や建物が検出されている。第12次調査では今宿五郎江遺跡から延びる弥生時代後期の溝が確認され、大塚遺跡に跨る環濠が確認された。第14次調査では弥生時代後期後半の竪穴住居跡内で鍛冶炉が検出され、切断した鉄片や台石等が出土した。第16次調査では弥生時代後期の円形の周溝状遺構が確認されており、この遺跡についても今宿五郎江遺跡と関連が注目される。古墳時代から古代にかけては第14次調査で横口式炭窯、製鉄炉も検出された。同様の形態の炭窯は鷺崎遺跡でも検出されており、ここでも製鉄炉が検出されている。叶嶽～長垂山山塊の西側や高祖山東側から北の丘陵では20ヶ所の鉄滓の散布地が確認されており、また、群集墳の鉄滓供獻例からも古墳時代後期から古代にかけて、この地が良質な砂鉄を原料とした鉄生産地であったことが指摘される。大塚遺跡から西側に位置する女原遺跡、徳永遺跡では6世紀から7世紀の竪穴住居跡が検出されている。また、徳永A遺跡ではいわゆる「赤焼土器」が多量に出土しており、須恵器工人との関連が指摘されている。時期的には異なるが、南側の丘陵部では小田編年I期に生産が始まる新聞窯跡があることからも、その関連が注目される。古代では徳永A遺跡では多量の越州窯系青磁等の輸入陶磁器が出土しており、現在残る「周船寺」の地名から大宰府主船司との関連が注目されている。これまで確認されている古墳時代から古代の集落遺跡はそれほど規模の大きなものではないが、製塙や須恵器生産、鉄生産等の生産活動に深く関与していたと考えができる。また、これらの生産活動や今津湾という良好な港湾に面し、糸島平野と早良平野の境界に位置するという地理的条件は今宿古墳群に見られる首長墳や高祖山北側及び長垂山西側の丘陵上に500基にも及ぶ群集墳を営む背景になったと言えよう。

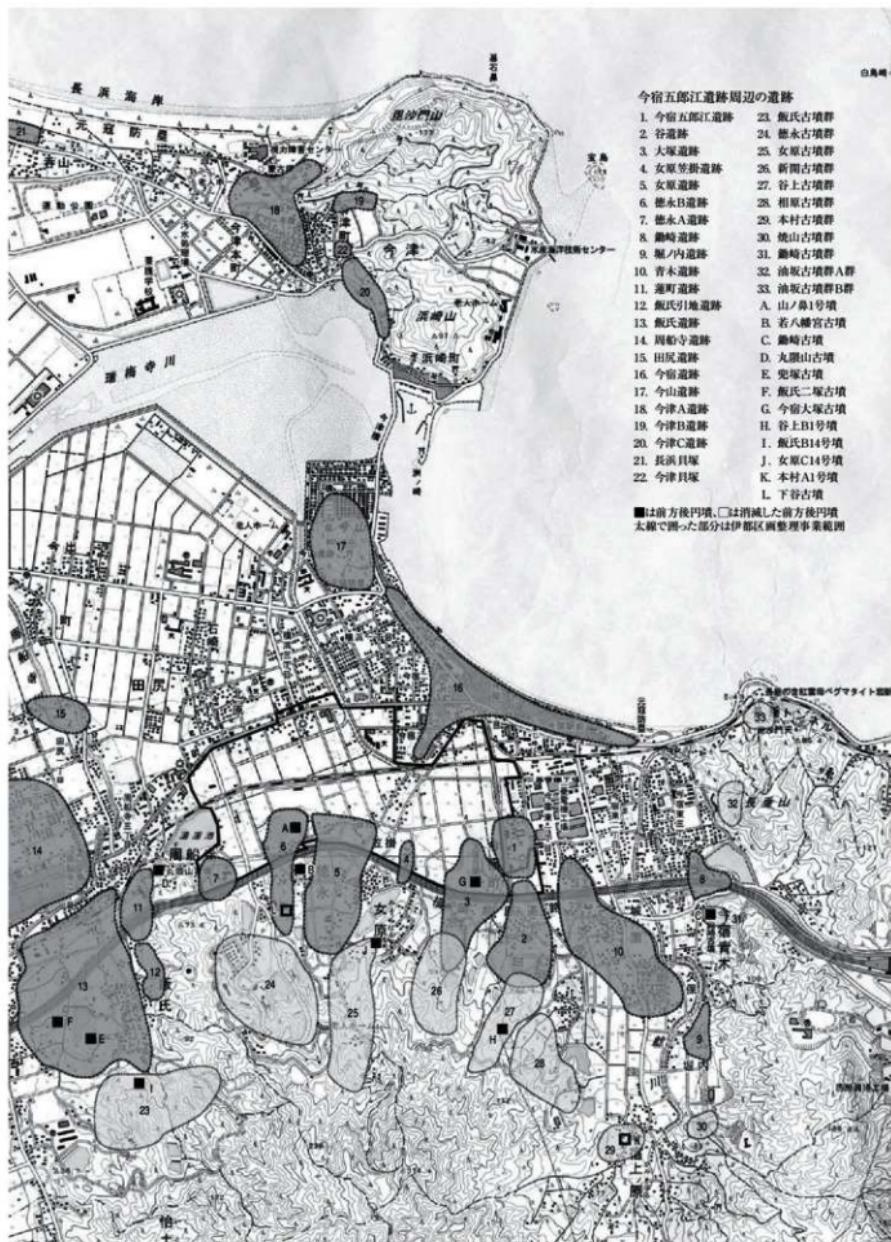


Fig. 1 今宿五郎江遺跡位置図 (1/25,000)

## 伊都区画整理事業地内埋蔵文化財発掘調査地点一覧

番号	調査番号	遺跡名(調査)	次数(調査)	遺跡略号(調査)	区	所在地	地図番号	遺跡番号	対象面積(m <sup>2</sup> )	調査面積(m <sup>2</sup> )	古墳	調査開始	調査終了	報告書(集)
1	0254	今宿五郎江遺跡	8	IZG	西	今宿町108-1他	120	626	297.0	297.0		H14.12.19	H15.1.8	872
2	0255	今宿五郎江遺跡	9	IZG	西	今宿町79-1他	120	626	5,000.0	5,080.0		H14.12.26	H16.3.31	872-924
3	0420	今宿五郎江遺跡	10	IZG	西	今宿町172-1外4筆	120	626	10,000.0	2,998.0		H16.4.4	H17.7.6	1009-1110
4	0531	今宿五郎江遺跡	11	IZG	西	今宿町地内	120	626	7,000.0	6,900.0		H17.7.8	H18.12.9	
5	0655	今宿五郎江遺跡	12	IZG	西	今宿町地内	120	626	1,393.0	1,340.0		H18.12.1	H19.3.9	1066
6	0718	今宿五郎江遺跡	13	IZG	西	今宿町地内	120	626	1,200.0	820.0		H19.6.1	H19.10.23	1109
7	0255	谷遺跡	1	TAN	西	今宿町79-1他	120	627	5,000.0	5,080.0		H14.12.26	H16.3.31	872
8	0512	谷遺跡	2	TAN	西	今宿町地内	120	627	626.0	422.0		H17.4.18	H17.7.6	1009
9	0862	谷遺跡	3	TAN	西	字今宿町地内	120	627	250.0	300.0		H21.3.2	H21.4.9	
10	0528	大塚遺跡	8	OTS	西	今宿町地内	120	625	263.0	347.3		H17.6.13	H17.6.30	1025
11	0651	大塚遺跡	9	OTS	西	今宿町地内	120	625	9,294.0	6,562.0		H18.11.7	H19.3.27	
12	0659	大塚遺跡	10	OTS	西	今宿町地内	120	625	2,853.0	2,789.0		H18.12.8	H19.3.14	1025
13	0662	大塚遺跡	11	OTS	西	今宿町字大塚	120	625	4,018.0	4,018.0		H19.1.23	H19.9.10	
14	0702	大塚遺跡	12	OTS	西	今宿町342-1外	120	625	800.0	800.0		H19.4.9	H19.5.7	1025
15	0715	大塚遺跡	13	OTS	西	今宿町地内	120	625	1,276.0	1,276.0		H19.5.16	H19.7.6	1025
16	0726	大塚遺跡	14	OTS	西	今宿字大塚	120	625	6,340.0	6,200.0		H19.7.12	H20.2.1	1111
17	0769	大塚遺跡	15	OTS	西	今宿字大塚	120	625	1,600.0	1,830.0		H20.2.28	H20.5.8	1111
18	0806	大塚遺跡	16	OTS	西	今宿字大塚	120	625	2,000.0	2,095.0		H20.4.1	H20.8.18	
19	0855	大塚遺跡	17	OTS	西	今宿字大塚	120	625	5,200.0	5,200.0		H21.1.13	H21.8.19	
20	1035	女原笠掛遺跡	2	MRK	西	大字女原字向原	112	624	1,000	調査中		H23.1.13	調査中	
21	0625	女原遺跡	6	MBR	西	大字女原	120	688	8,000.0	2,580.0		H18.6.14	H18.11.1	1010
22	0920	女原遺跡	7	MBR	西	大字女原	120	688	2,400.0	2,400.0		H21.8.21	H21.11.9	
23	0932	徳永A遺跡	5	TOA	西	徳永地内	120	2584	2,500.0	調査中		H22.1.5	調査中	
24	0750	徳永B遺跡	2	TOB	西	徳永地内	120	2585	943.0	682.6		H19.11.5	H20.1.25	
25	0922	徳永B遺跡	3	TOB	西	徳永地内	120	2585	2,500.0	2,500.0	2基	H21.9.7	H22.11	



Fig. 2 今宿五郎江遺跡航空写真合成図

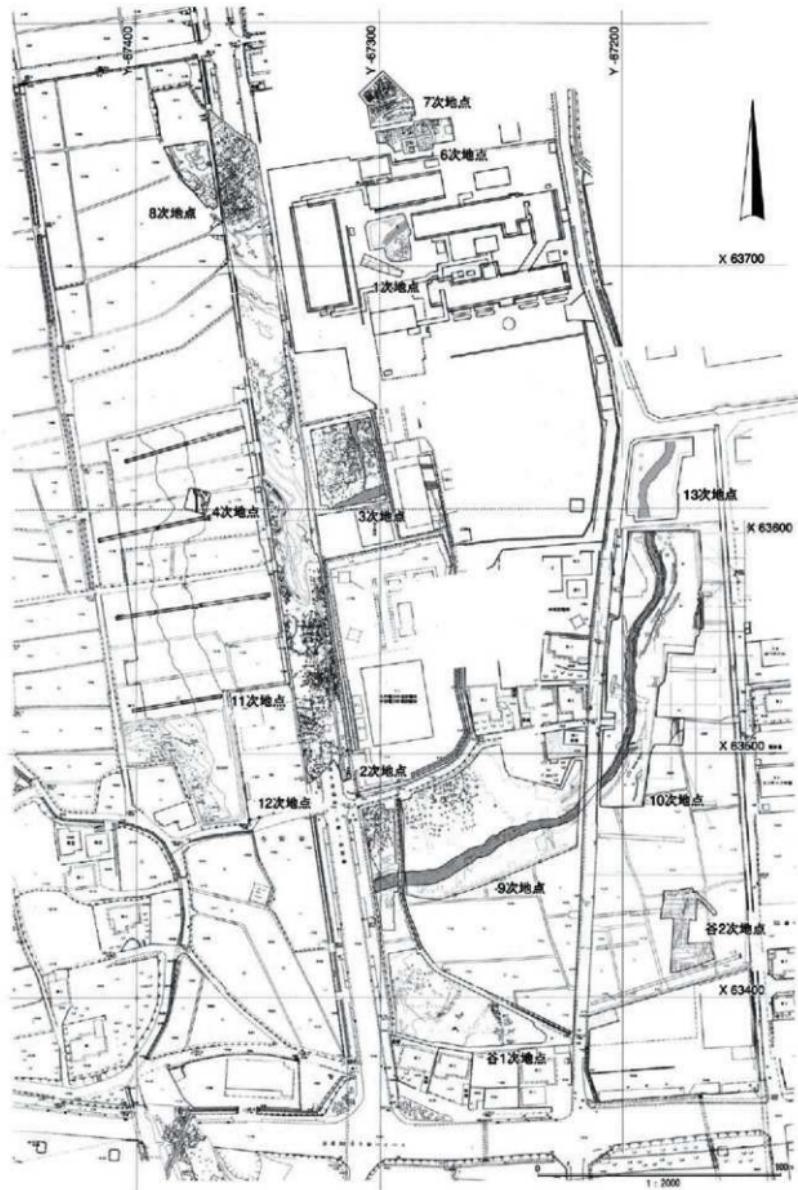


Fig. 3 今宿五郎江遺跡調査地点位置図 (1/2000)

## II 調査の記録

### 1. 調査の概要

本調査地点は今宿五郎江遺跡の東端にある。南側隣接地は第10次調査地点となる。現況は水田を造成した宅地である。現況の標高は約5.0mを測る。本調査地点はこれまでの調査で東側が谷部となる台地の縁辺にあたることから、台地上の遺構と谷部の包含層の状況を見ながら調査範囲を設定した。

調査は宅地の造成土、旧水田耕作土を除去した地表下約1.5mの淡橙色粘質土を遺構面として行った。調査区は国土座標を基準に10m×10mで区割りし、東西方向に1～4、南北方向にA～Dとした。遺物の取り上げはこの区割りごとで行った（区割りの名称はA1区、A2区…D3区）。

遺構は弥生時代中期～後期初頭に掘削された溝1条、土坑2基を検出した。また、谷部では杭列を検出した。遺構面の上面には厚さ約20cmの古代の包含層を検出したが、この時期の遺構は検出できなかった。検出した溝は本遺跡を巡る環濠の一部である。本調査地点は環濠の東端部分にあたり、幅約3m、深さ約1～1.2mを測る。また、本調査地点では環濠の陸橋を検出した。陸橋は地山を掘り残したもので、幅約2mを測る。

遺物は環濠の中から弥生土器、木製品、金属製品等が出土した（コンテナケース約600箱）。木製品には農具、工具、容器類が、金属製品には銅鏡、青銅製鎌先、鋳造鉄斧等がある。この他、古代の包含層から瓦類、越州窯系青磁、縁袖陶器、銅製印章等が出土した。印章は平安時代のものと考えられ、「寶」と記している。

今回の調査では本遺跡を巡る環濠の一部を検出し、陸橋を確認できたことは集落構造を考える上で重要な成果と考えられる。環濠以外の遺構は検出できなかったが、古代の包含層が上面を覆っている状況から、後世の搅乱による削平が及んだと考えられる。古代の遺物には瓦や輸入陶磁器、印章等があり、一般集落のものとは考えにくいものが出土しており、古代の時期の遺跡についても注目される。

### 2. 検出遺構

今回検出した遺構は溝1条、土坑2基、杭列等である。

#### 1) 溝 (Fig.6)

SD003は第9次調査、第10次調査から北側に延びてくる環濠の一部である。上面には厚さ約20cmの古代の包含層が覆う。この包含層は10次調査で基本土層の5層に対応する。この包含層を除去したところでSD003を検出した。SD003は本調査区で逆S字形に屈曲しながら、北側に延びていく。幅約3mを測り、延長で約35mを検出した。断面形は逆台形を呈する。深さは約1～1.2mを測る。溝底は北側に向かって傾斜していき、南端と北端との比高差は約40cmを測る。溝の西側は黄褐色粘質土の地山に掘りこまれているが、東側は谷の堆積層に掘りこまれている。溝の上端から東側約3m離れた位置に溝に沿って杭列を検出した。杭列と溝の間には土層観察から盛土がなされていると考えられる。おそらく地盤が弱い谷側に盛土を行い、溝の方の強度を保ったと考えられる。A3～B3区の境に当たる位置で陸橋を検出した。陸橋は地山を掘り残したもので、幅約5mを測る。陸橋は溝の肩から約40cm下がった位置で、溝底から約60cmの比高差がつく。陸橋の南側は東側の肩に向かって溝状に掘りくぼめてあり、その場所に杭が打ち込まれる。北側は直線的に立ち上がるが、そこにも杭が打ち込まれる。南から流れてくる水に対して補強のためのものと考えられる。

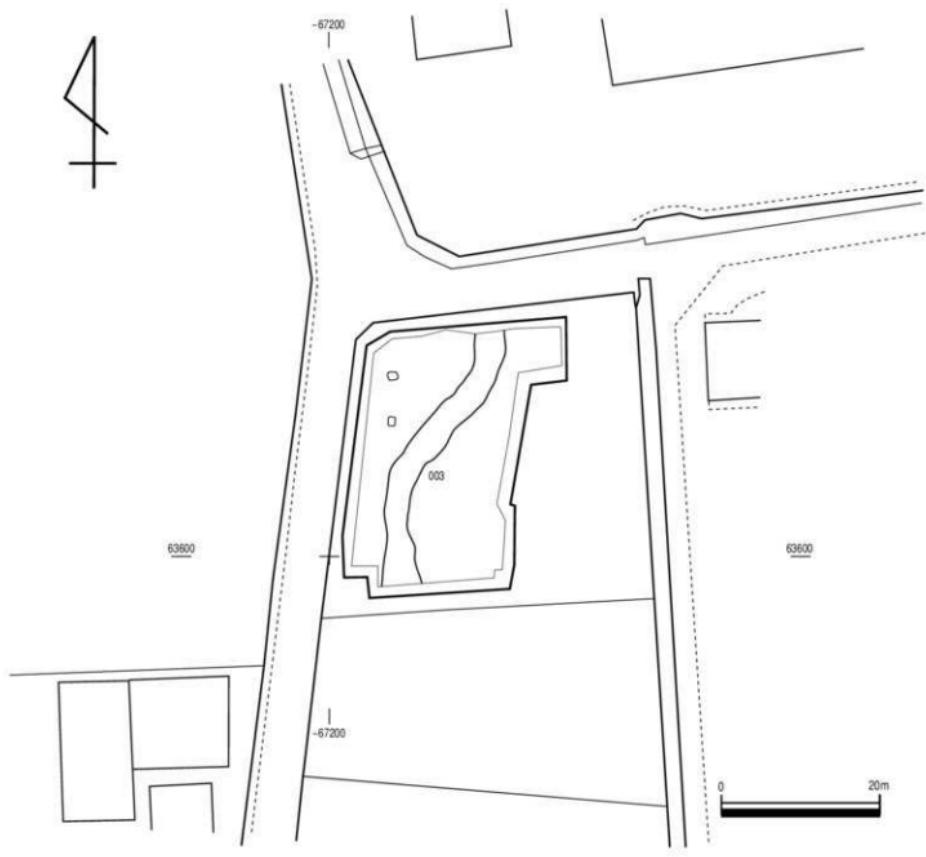


Fig. 4 今宿五郎江遺跡第13次調査地点周辺遺構配置図（1/600）

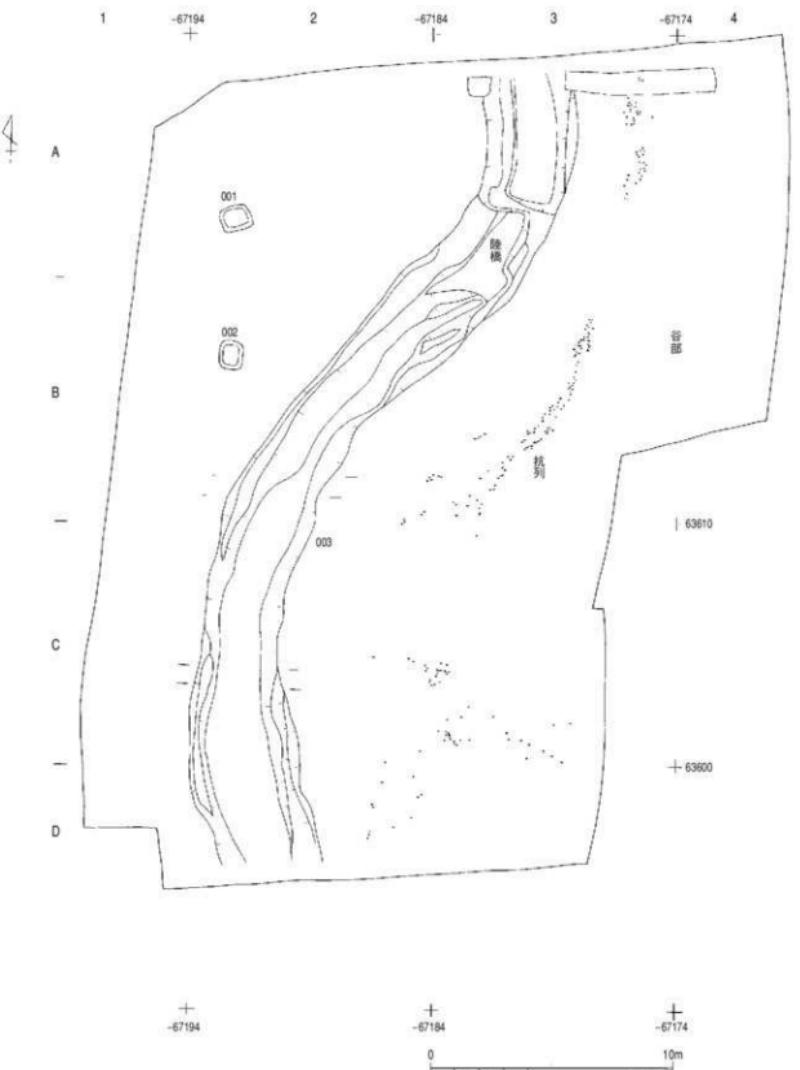


Fig. 5 今宿五郎江遺跡第13次調査遺構配置図 (1/200)

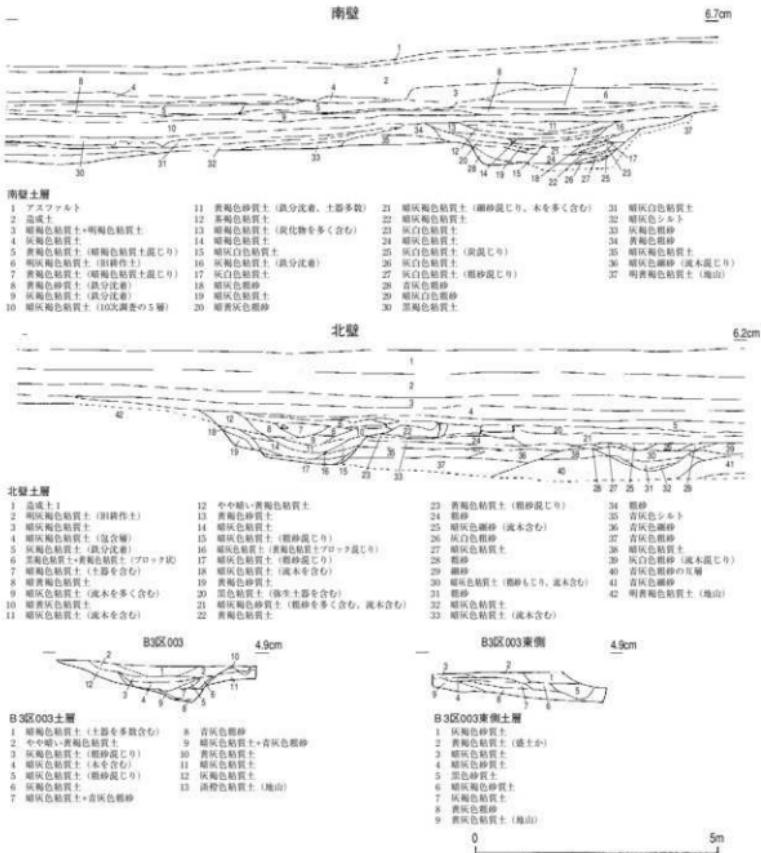


Fig. 6 SD003 土層実測図 (1/40)

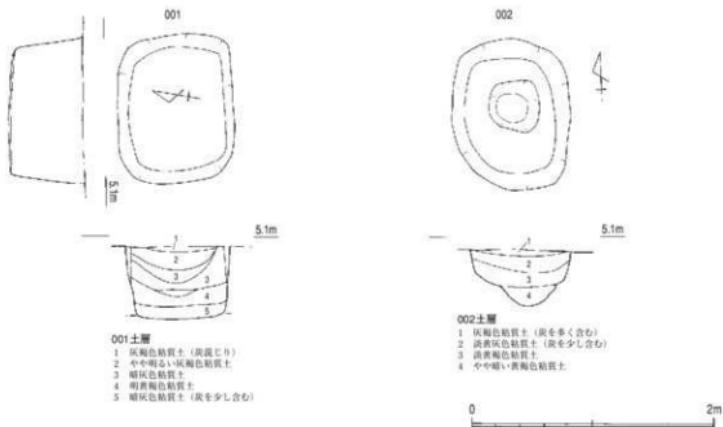


Fig. 7 SK001、002 実測図 (1/40)

溝からは多くの遺物が出土した。遺物は全域で出土しているが、層位的には上面から深さ約40cm（調査時はSD003の1層下層として取り上げ）のところで多量の弥生土器の廃棄が見られた。それを除去した2層では流木に混じって多量の木製品が出土した。木製品には農具、工具、狩猟具、容器類等が出土した。また、流木に交じって多くの割り材も出土している。この他、2層中からはイノシシやシカの骨と言った動物遺体も出土している。

溝の時期は出土土器の様相から弥生時代中期～後期初頭に掘削されたと考えられる。埋没の時期は多量の土器の廃棄があった1層下層の様相から後期後半にはかなり埋没していたと考えられる。

## 2) 土坑 (Fig.7)

土坑はSD003の西側で検出した。

SK001の平面形は隅丸長方形を呈する。床面は平坦である。長軸長1.2m、短軸長0.9m、深さ0.6mを測る。埋土には炭化物が混じる。遺物は弥生土器片が少量出土した。

SK002の平面形は不整梢円形を呈する。床面は中央に径20～30cmのくぼみがある。長軸長1.2m、短軸長0.95m、深さ0.5mを測る。遺物は弥生土器片が少量出土した。

### 3. 出土遺物

#### 1) SD003 出土土器 (Fig.8 ~ 49)

今回出土した遺物の大半は弥生土器で、SD003 から出土した。ここでは区ごとで概要を述べていく。1 ~ 68 は A 区から出土したもので、1 ~ 17 は 1 層上面から出土した。1 ~ 9 は壺、3 は外面に丹塗り。10, 11 は壺、11 は下半を打ち欠く。外面に丹塗り。12 ~ 14 は器台、15 ~ 17 は高坏である。18 ~ 52 は 1 層中で出土。18 ~ 29 は壺、30 ~ 39 は壺、39 は胴部下半に焼成後の穿孔。40 は無頸壺の蓋。2 個の孔がつく。41 は鉢。42 ~ 46 は器台。器台には上下がほぼ対称になるもの、上端が斜めになるものがある。47 ~ 51 は高坏である。50 は脚部が欠損したのか。52 は手づくねによる高坏形のミニチュア土器。53 ~ 56 は 1 層下層で出土。53, 54 は壺である。55 は壺で、口縁・底部は欠損している。56 は高坏で、口縁はくの字に屈曲。57 ~ 68 は 2 層で出土。57 ~ 60 は壺、57 は底部に焼成後の穿孔。61 ~ 64 は壺。61 ~ 63 は外面に丹塗り。65, 66 は小型の鉢。65 は器面に指頭痕。67 は蓋か。68 は器台。上下がほぼ対称となる。

69 ~ 247 は B 区から出土した。69 ~ 65 は 1 層上面から出土した。69 ~ 74 は壺。70 は口縁と底部を打ち欠く。75, 76 は壺。75 は口縁端部に凹線文。瀬戸内系の搬入品か。76 は上下に拡張する口縁、端部に鋸歯文。79 は杓子形土製品の把手か。77, 78 は鉢。78 は土師器鉢で混入品か。80 ~ 82 は器台。82 は口縁を欠くが、大型の器台。83 は杏型の支脚、外面に平行タタキ。84, 85 は高坏。86 ~ 113 は 1 層から出土した。86 ~ 101 は壺である。88 は口縁端部に刻み目。99 ~ 101 は底部に焼成後の穿孔。102, 103 は壺。鋤先口縁。104 は蓋。孔はない。106 ~ 109 は鉢である。106 は手づくね。110 は杓子形土製品の取手部分。内面に丹塗りの痕跡。111, 112 は器台。上下対称となる。113 は高坏。114 ~ 128 は 1 層下層 a 群で出土。114 ~ 115, 122 ~ 125 は壺、116 ~ 118 は器台。上位にくびれがくるものと上下対称となるものがある。119 ~ 121 は高坏。口縁はくの字に屈曲。126 ~ 128 は壺。いずれも大型品。127 は内面に断面台形の突帯、頭部外面に断面台形の 2 条の突帯。128 は胴部下半に刻み目を施した断面方形の突帯。129, 130 は 1 層下層 b 群で出土。129 は器台、130 は高坏。鋤先口縁。131 ~ 145 は 1 層下層・2 層上層で出土。131 ~ 135 は壺。132 は口縁端部の両縁に刻み目。135 は底部内面に焼成前の円形のくぼみ、底部に穿孔するためか。136 は壺。口縁端部は上下に肥厚し、外面に鋸歯文を施す。西部瀬戸内系の搬入品か。137 ~ 140 は鉢。139 は底部に焼成後の穿孔。140 は器面に指頭痕。141, 142 は器台。141 は底面に指押えによるくぼみ。143 ~ 204 は 1 層下層で出土。143 ~ 163 は壺。144 ~ 147, 149 は胴部上位に隅丸方形～楕円形の焼成前の窓がつく。本遺跡ではこのタイプの窓付き土器が一定量存在する。160 は底部に穿孔あり。内側は焼成前に、外側は焼成後に穿孔を行っている。底部穿孔の土器は一定量見られる。穿孔の大半は焼成後の打ち欠きであるが、焼成前に穿孔するものも若干見られる。160 は焼成前に内側をくぼませて、焼成後に外から打ち欠いて穿孔するタイプ。前述の 135 は内側のくぼみで止まっているが、同様のタイプか。制作時に底部の穿孔を意図したものと考えられる。164 ~ 175 は壺。164 は完形の袋状口縁壺。頭部の付け根に断面三角形の突帯が 2 条、胴部中位に断面台形の突帯。胴部に 1 ケ所焼成後の穿孔。外面に丹塗り。169 は壺もしくは器台か。内面に櫛搔き波状文。西部瀬戸内系の搬入品か。176 ~ 178 は蓋。176 は無頸壺の蓋で、2 個の穿孔、1 つは未貫通。外面に丹塗り。179 ~ 187 は鉢。187 は手づくね。底部は隅丸方形を呈する。口縁外面に丹塗りの痕跡。188 ~ 192 はミニチュア土器。191 は脚付鉢。192 は杓子形土製品。把手は欠損。194 ~ 201 は器台。上位にくびれがくるものと上下対称となるものがある。202 は杏型の支脚。203, 204 は高坏。205 ~ 232 は 2 層上層で出土。205 ~ 216 は壺。205 は鋤先口縁。214 は胴部に焼成後の穿孔。216 は底部に焼成後の穿孔。217 ~ 223 は壺。218 は大型品。鋤先口縁、

頸部付け根と胴部下半に断面台形の2条の突帯が巡る。223は胴部に断面角形の突帯。外面に丹塗り。内面に部分的に顔料が付着。顔料が垂れたものか。224、225は鉢。224は端部に打ち欠き。226は蓋。227～231は器台。上下対称となる。232～235は高坏。232は坏部が深い。裾部の一部に丹塗りの痕跡。236～247は2層で出土。236～241は甕。237、240、241は胴部上位に隅丸方形～梢円形の焼成前の窓がつく。242～244は壺。242は袋状口縁壺。口縁からやや下ったところに断面台形の突帯。外面に丹塗り。245は鉢。246は器台。247は高坏。

248～463はC区から出土した。248～277は003の遺構検出面で出土した。248～259は甕。甕はくの字形口縁。253、254は端部を跳ね上げる256、257は大型品。256は口縁端部に刷毛目原体で刻み目。口縁の屈曲部に断面台形の2条の突帯。257は胴部下半。断面台形の2条の突帯。260～268は壺。263、265～267は大型品。263は口縁端部に刻み目、頭部の付け根に刻み目を施した断面台形の突帯が1条巡る。265は口縁端部にX字形文、外面に縱方向の暗文。267はややとがり気味の丸底。中位に刻み目を施した断面台形の突帯が巡る。264は、口縁が垂下し、口縁外面に斜線文。269～271は器台。くびれは上位にくる。272は脚付鉢。273～277は鉢。273は口縁をくぼめて注ぎ口状にする。277は内面に漆付着。278～300は1層で出土した。278～280は甕。281～289は壺。282～287は大型の広口壺で、口縁端部に刻み目。287は内側に断面三角形の突帯。289はあ袋状口縁壺の胴部。頭部に2条の突帯。突帯部分に丹塗りが残る。290は器形が不明で壺の一種か。胴部に突帯が巡る。突帯の下に円形の孔。291、292は器台。291は上位にくびれがつく。292は円形の穿孔。上面はタタキ。293は無頸壺の蓋。2個単位の孔が2ヶ所につく。294～296は鉢。297、298はミニチュア土器。297は壺形。299、300は高坏。300は裾部付近か。3個の円形の孔がつく。301～308は1層下層a群で出土した。301～306、308は甕。304～306は底部に焼成後の穿孔。307は鋤先口縁の広口壺。309～315はb群出土。309～241はくの字形の口縁。315は壺。316～323はc群出土。316～320は甕。。321～323は壺。324は蓋。325は高坏。326～337はd群出土。326～328は甕。329～331は壺。329、330は袋状口縁壺。外面に丹塗り。331は頭部に断面台形の突帯。口縁の内側に丹塗りの痕跡。332、333は鉢。332は底部に焼成後の穿孔。334～336は器台。上下対称になるものと上位にくびれがつくものがある。337は鋤先口縁の高坏。内外面に丹塗り。338～350は1層下層出土。338は内湾するくの字口縁の甕。339、342、343は壺。339は大型の広口壺。口縁外面にハケメ原体による刻み目。内側に断面三角形の突帯。340、341、344～347は鉢。347は尖底。348は脚付鉢。349は蓋。天井部に円形の低い撮み。350は高坏。鋤先口縁。内外面に丹塗り。351～437は2層上層で出土。351～373は甕。355は胴部中位に焼成後の穿孔。356は外面に断面三角形の突帯。胴部上半に隅丸方形の窓。外面の一部に丹塗りの痕跡。366～369は胴部下半に焼成後の穿孔。371～373は底部に穿孔。371は焼成前、372、373は焼成後。374～397は壺。374～379は鋤先口縁の広口壺。375、379は丹塗りの痕跡。380～389は袋状口縁壺。386、388は袋部に稜がつく。380、381は口縁下位に断面台形の突帯。外面に丹塗り。390、391は広口壺。頭部に突帯。398は裾部に半円形の縁りこみをもつ器台。399は支脚。400～407は器台で、上下対称となる。408～417は高坏。408、410は鋤先口縁で、丹塗り。418は坏部と脚部の接合部。419～431は鉢。419、420はくの字形口縁。底部に穿孔。419は焼成後穿孔。420は外側から焼成後穿孔。内側は焼成前にくぼめている。429は輪積みの痕跡が明瞭。432～435はミニチュア土器の鉢。436は脚付鉢。脚部の内側以外に丹塗り。437は杓子形土製品の取手部分。438～463は2層出土。438～442は甕。くの字形口縁。442は内面と口縁外面に丹塗り。443～451は壺。443、444、446は袋状口縁壺。443、446は丹塗りの痕跡。444はやや稜がつく。445は鋤先口縁。外面に断面台形の突帯。内面と口縁に丹塗りの痕跡。

450、451は無頸壺。451は外面に丹塗り。452、453は器台。452は外面に指押の痕跡。454～460は鉢。454は底部に焼成前の穿孔。外面に丹塗り。456はほぼ完形。外面に丹塗り。461～463はミニチュア土器。

464～516はD区で出土。464～473は遺構検出面で出土。464～466、468は壺。466は山陰系の複合口縁壺。467は複合口縁壺。外面に丹塗り。469、470は器台。471、472は注口土器の注口。473は鉢。474～478は1層で出土した。474～476は壺。477は器台。478は高坏で、坏部の中位で反転。479～501は1層下層で出土。479～486は壺。479～486はくの字形口縁。481は口縁端部に刻み目。487～490は壺。487は袋状口縁壺。頸部に断面三角形の突帯。488は大型の広口壺の口縁片。口縁端部に刻み目。491～497は器台。498、499は高坏。500は鉢。501は壺。502～516は2層上層出土。502～506は壺。

502は口縁の屈曲部にハケメの止めの痕跡。506は左縁に焼成前の窓の痕跡。507～510は壺。507～509は丹塗り。511～513は器台。512は指頭跡が明晰。514、515は鉢。514は内外面に丹塗り。516は高坏。鋸先口縁。外面と口縁の内側に丹塗りの痕跡。

517～560はCからD区1層下層から出土したもので、番号を付して取り上げた。517～521は壺。521は側面に焼成後の穿孔。522～532は壺。522は大型品。頭部付け根と胴部下半に断面台形の突帯が2条づつ巡る。523～525は複合口縁壺。頸部に断面三角形の突帯。528は小型の袋状口縁壺。530は内面に断面台形の突帯。533～545は器台。上下対称となるものが大半である。546～555は高坏。546、547、553は丹塗り。556～560は鉢。556、557は底部に焼成前の穿孔。

## 2) 包含層出土土器 (Fig.50～54)

包含層はSD003の上面から谷部にかけて検出した。包含層の遺物は下層の溝の遺物を含むが、大半は古代の遺物である。古代の遺物には越州窯系青磁等の輸入陶磁器、綠釉陶器や灰釉陶器等の国産陶器、土師器、瓦類がある。また、量は少ないが、古式土師器や須恵器等の古墳時代の遺物も含まれる。この他、鉄滓、炉壁、羽口等の製鉄関連遺物も出土した。

561～568はA区から出土した。561は弥生土器壺。端部に鋸歯文。562は弥生土器壺。受け口口縁。東海系の搬入品か。564は土師器瓶か。底面に5個の円形の孔。565は弥生土器のミニチュア土器。手づくね。566は杓子形土製品の把手部分。567は円盤状土製品。568は楽浪系土器の鉢。回転横ナデの痕跡。色調は灰白色。

569～608はB区から出土した。569は施釉陶器の壺。耳の部分。釉色は黒褐色。570は白磁碗。571～575、577、579は越州窯系青磁碗。574、575は見込みと底部に目跡。576は綠釉陶器碗。蛇の目高台。釉がはげている。胎土は灰色。578は綠釉陶器碗。平底。釉色はオリーブ色。胎土は灰白色。580は綠釉陶器碗。581は綠釉陶器皿。蓋の可能性あり。釉色はオリーブ色。胎土は灰白色。582～585は土師器碗。582は内墨。586は土師器杯。切り離し不明。587は土師器壺。外面タタキ。588は須恵器蓋。天井部に扁平な宝珠掘みがつく。589は須恵器壺。高台付。590は須恵器壺。複合口縁。591は須恵器壺。頸部片。592は須恵器壺。外面に横方向の平行タタキ。593は須恵器壺。外面に格子タタキ。内面に当て具痕。594は須恵器壺蓋。天井部のほぼ全面に回転ヘラケズリ。口縁との境に後。595は須恵器高坏。外面に櫛書き波状文。596は弥生土器壺。597は弥生土器瓶か。中央に1個孔。598は弥生土器鉢。底面に木の葉の圧痕。602は弥生土器。ジョッキ型土器などの把手か。603は杓子形土製品。604は弥生土器注口部分。605は円盤状土製品。土器片の周囲を打ち欠き成形。

609～656はC区から出土した。609は龍泉窯系青磁碗。高台内側は釉を搔きとる。釉色はオリーブ黄色。610は白磁碗。玉縁口縁。I類か。釉色は灰白色。611～614、616～620は越州窯系青磁碗。

611は蛇の目高台。612、613は輪状高台。616は上げ底気味の底部。見込みと底部に目跡。618～620は平底。底部と見込みに目跡。618の釉ははげている。615は白磁碗。621は青磁皿。釉色は灰オリーブ色。622は綠釉陶器碗。回転糸切り。内面に若干釉がのこる。色調は灰白色。623～625は土師器碗。623は内黒。626、627は土師器杯。627の底部はヘラ切り。628は須恵器坏蓋。天井部に扁平の掘み。629、631～634は須恵器坏。高台付。634は底部に「三太」の墨書。630は土師器碗。高台付。635は須恵器壺。肩部に扁平な把手。636は須恵器甕。内面がすり減っている。転用硯か。637は土師器甕。外面にタタキ。638は土師器壺。調整不明。色調は浅黄橙色。639、640は須恵器坏身。641は須恵器ハソウ。外面に櫛描き波状文。642は羽口。先端部が溶融している。643、644は楽浪系土器鉢。663は底部片。器面がかなり風化しているが、底面に糸切りの痕跡。色調は灰白色。本遺跡では楽浪系土器は9～12次の各地点で数点から十数点出土している。また、大塚遺跡12次でも出土しており、環濠を中心とした地点での集中が見られる。器形は鉢形のものが大半で、他の機種はほとんどないという傾向にある。645は三韓系土器甕。外面に平行タタキ。内面は無文。色調は灰色。本遺跡では三韓系土器についても一定量出土するが、量的には楽浪系土器が優位と言える。646は土師器直口壺。647は土師器壺。痕跡的な平底。650は径15cm程の注口付の弥生土器。外面に丹塗りの痕跡。651、652は弥生土器、脊型の支脚。653は半円形の繩りこみをもつ土器。色調は橙色。器形は不明。656は土師器甕の把手部分か。

657～700はD区から出土した。657は白磁碗。658、659は越州窯系青磁碗。660は灰釉陶器碗か。661～663、665は綠釉陶器碗。661は底部の切り離しは回転糸切り。釉色はオリーブ色。胎土は灰白色。663は輪状高台。底部は回転ヘラケズリ。釉色はオリーブ色。胎土は浅黄色。665は輪状高台。見込みはミガキ。釉はほとんどはげている。胎土は灰白色。664は綠釉陶器皿。釉色はオリーブ色。胎土は灰白色。666～676は土師器碗。高台付。677は土師器坏。底部の切り離し不明。678～680は須恵器坏。高台付。681は羽口。両端を欠く。682は須恵器甕。平底。683～686は須恵器坏身。684は赤焼。687、688は須恵器壺。外面に櫛描き波状文。689は陶質土器か。高坏もしくは鉢の把手。690、691は三韓系土器甕。外面に細かい平行タタキとカキメ。内面は無文。色調は灰色。692は土師器の移動式の竈片か。外面はタタキ後ハケメ。693は土師器甕。外面は縦方向の平行タタキ。内面はヘラケズリ。694～696は土師器甕の把手。697は土師器甕。布留式。698は土師器甕。複合口縁。山陰系。699は土師器高坏。裾部に円形の透かし孔。700は脊型の支脚。

### 3) 包含層出土瓦 (Fig.55～60)

今回出土した瓦はコンテナケースで3箱程である。瓦には軒瓦ではなく、平瓦、丸瓦で占められる。平瓦は桶巻き作りで、凸面にタタキ、凹面に布目が残る。焼成はやや硬質で、灰白色～灰色を呈する。包含層出土のため、時期は特定しがたいが、タタキの特徴等に類似点が多く、時期幅はあまりないと考えられる。瓦の大半は破片であるため、詳細な分類はできないが、凸面のタタキの特徴から大きく2種類（A類、B類）に分けられる。A類は長軸方向に幅約1cm間隔の縦線、それに斜めに両方向から交わる線からなり、部分的に横方向の線が加わることで扇状もしくは鳥足状を呈するものである。このタイプのタタキは西区元岡・桑原遺跡群第42次調査で検出された瓦窯跡（元岡1号瓦窯跡）出土の平瓦に見られる。B類は菱形の格子目のものである。このタイプのものもやはり元岡1号瓦窯跡で見られるものである。これまでに遺跡ではこれらのタイプの瓦が出土することが指摘されていたが、今回の調査でもそのことを追認できた。また、このタイプの瓦は鴻臚館跡でも確認されていることから、これらの関係と共に本遺跡での瓦の出土が生産もしくは消費（官衙、寺院等）にどのように関連するかが注目される。

701～768は平瓦、丸瓦である。701～713はA類タタキの平瓦（元岡A1類）。側面は破面が残るものが多い。707は端面付近ナデ。714～723は縦方向の線の間隔が広いものである（元岡A2類）。724～736はB類タタキの平瓦。格子の大きさは1辺5mm程のものから2cm程のものがある。737～749はA類もしくはB類タタキを一部ナデ消すもの。細片であり、A、B類の端部付近のあたるものへの可能性あり。750～760は凸面のタタキをナデ消したもの。761は凸面に網目状のタタキをもつもので、今回の出土瓦の中では唯一のものである。762～768は丸瓦である。丸瓦は762、763のように玉縁式。タタキはB類の菱形の格子タタキである。

#### 4) 出土石製品 (Fig.61～71)

石製品はSD003を中心に包含層からも出土した。ここで掲載したものは弥生時代のものを中心としている。769～859は石製品である。769～794は滑石製石錘。石錘には小型と中型品があり、小型品では両端に切り込みをいれるもの（769）、楕円形を呈し、縦方向のみ溝を入れるもの（770）、十字に溝を入れるもの（772、773）がある。中型品では楕円形で中位に1個の穿孔があり、それに巡る溝が入るもの（774）、紡錘形で下端は丸みを持ち、中位に1個穿孔。穿孔より上方に長軸方向に溝が入るもの（775～777）、紡錘形で下端は平坦で、中位に1個穿孔。穿孔より上方に長軸方向に溝が入るもの（778～787）がある。788～790は溝の巡らせた状態の未製品である。791～794は紡錘形の成形した未製品である。これらの未製品の存在から本遺跡では石錘の加工も行っていたことが推測される。795～805は石包丁である。いずれも欠損しているが、外湾刃。石材は粘板岩、凝灰岩等がある。806、807は石包丁の未製品か。808～830は滑石製の紡錘車。821、822は穿孔途中のもの。823～829は成形後研磨した状態のもの。穿孔は行っていない。830は成形途中のものか。831～836は玄武岩製の磨製石斧の未製品。831は敲打成形の欠損品。832、833は粗成形の欠損品か。834、835は敲打成形の未製品。836は刃部のみ研磨。837は石斧か。刃部、基部を欠く。838は粗成形の欠損品か。839は磨製石斧。刃部一部欠損。840～845は棒状の敲き石。石材は玄武岩。843は滑石。845は擦痕あり。846、847は球形の敲き石。玄武岩。848、849は円盤状の敲き石。玄武岩。850は大型の敲き石。表面に擦痕あり。玄武岩。851は砥石。砂岩。852は碧玉。玉の素材か。853は凹石。凝灰岩。854～856は打製石斧。玄武岩。855は擾形。未製品か。856は二次使用削片。周縁調整剥離。857は加工削片。安山岩。858は打製石斧か。玄武岩。

#### 5) その他の遺物 (Fig.72～74)

859～865は土玉。866は投弾。867、868は土鍤。867は丸みを帯びた管状、弥生時代のものか。869は勾玉。硬玉製。870は管玉。碧玉製。871は管玉。ガラス製。872～874はガラス製小玉。875～878は有茎柳葉式銅鏡。879は磨製石鏡。銅鏡を模したものか。880は青銅製勧先。刃部片。881～883は不明鉄製品。鉄斧片か。884は鋳造鉄斧。ほぼ完形。袋部付近に2条の突帯。885は銅製印章。縁は苔形を呈する。印面には「寶」銘。

#### 6) 出土木製品 (Fig.75～80)

木製品は主にSD003の2層から出土した。一部東側の谷部から出土したものもある。木製品には農具（平鋤、三又鋤、エブリ等）、工具（斧柄）、狩猟具（鉛、弓）、紡織具（絹打具）、容器（槽、コップ形容器、組合せ式容器、漆器等）、案（脚）、椅子等が出土した。また、流木に交じって多くの割り材も出土している。割り材は長さ約1.0～1.5m程のもので、住居の壁材等に使用されたと考えられる。これまでの調査でも多数の木製品が出土おり、本調査地点の様相もそれらに類似するものである。

A3区 1層上

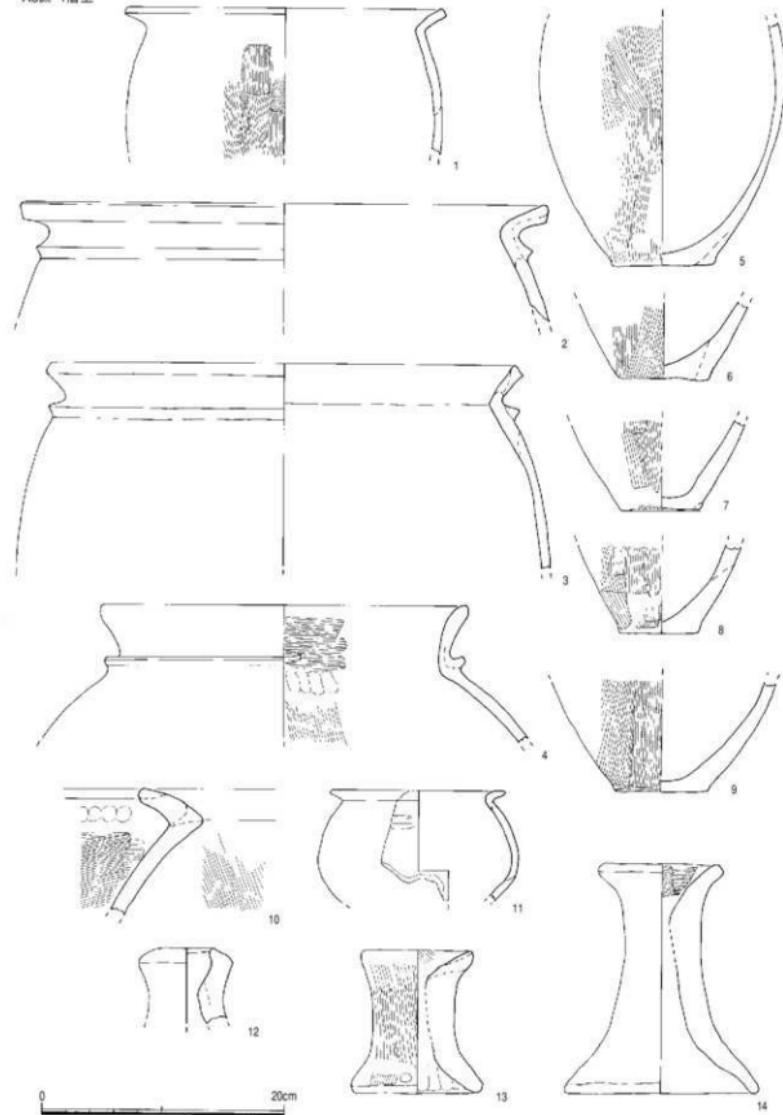
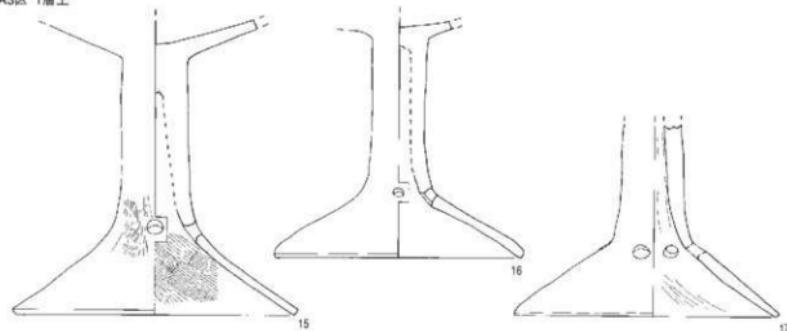


Fig. 8 SD003 出土土器実測図 1 (1/4)

A3区 1層上



A3区 1層

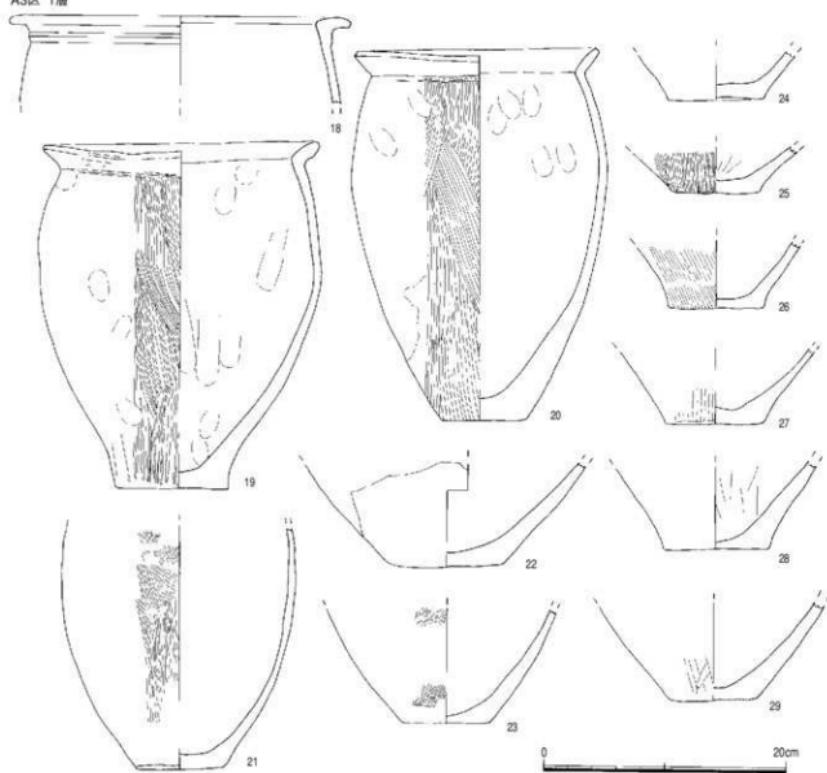


Fig. 9 SD003 出土土器実測図 2 (1/4)

A3区 1層

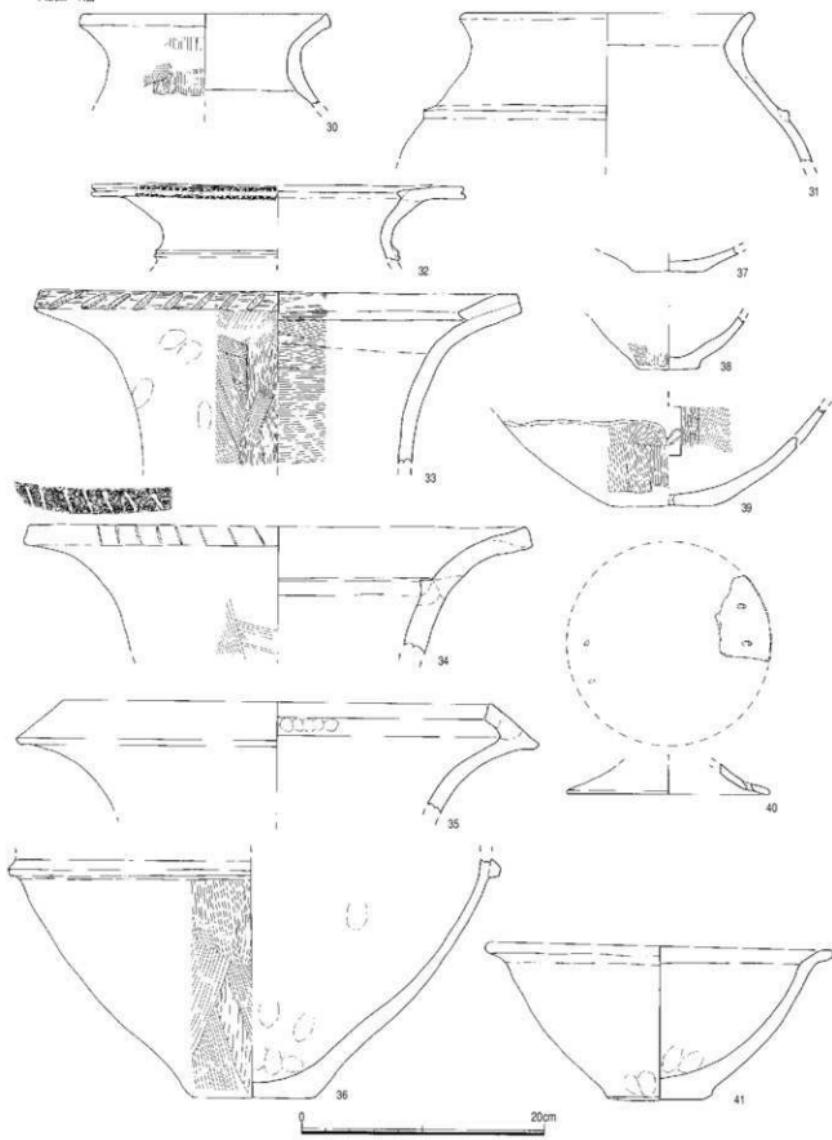
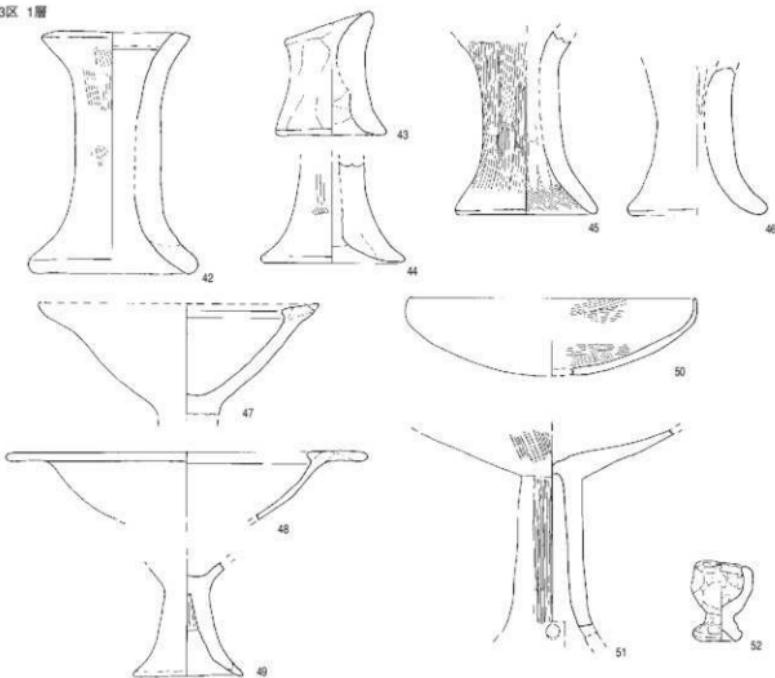
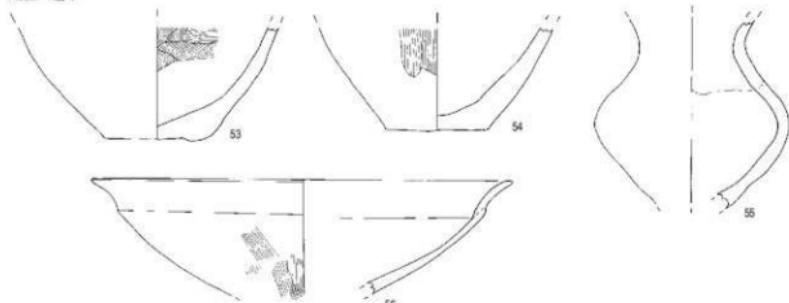


Fig. 10 SD003 出土土器実測図 3 (1/4)

A3区 1層



A3区 1層下



0 20cm

Fig. 11 SD003 出土土器実測図 4 (1/4)

A3区 2層

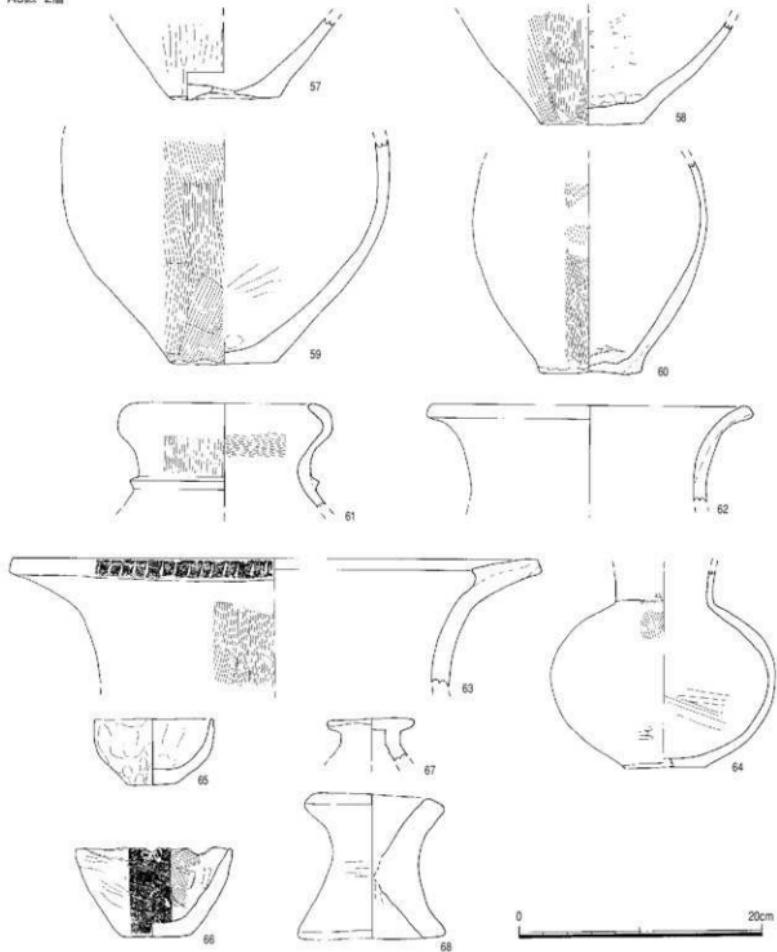


Fig. 12 SD003 出土土器実測図 5 (1/4)

B3区 1層上

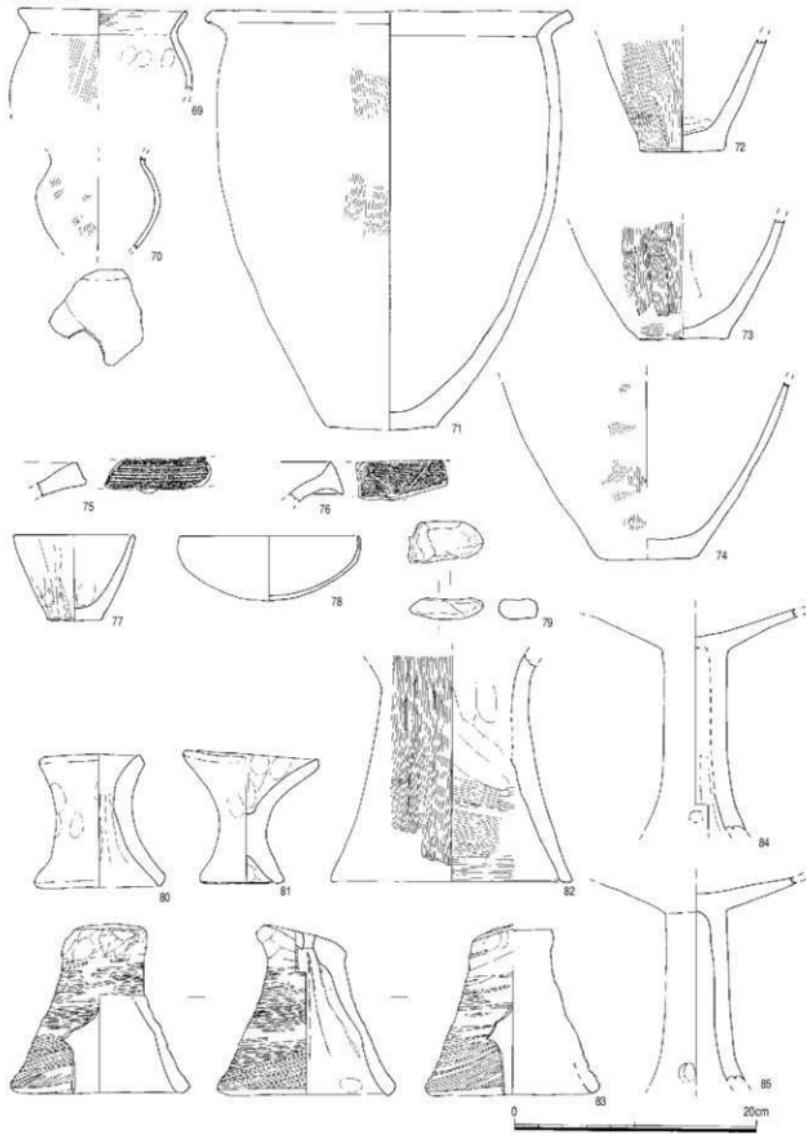


Fig. 13 SD003 出土土器実測図 6 (1/4)

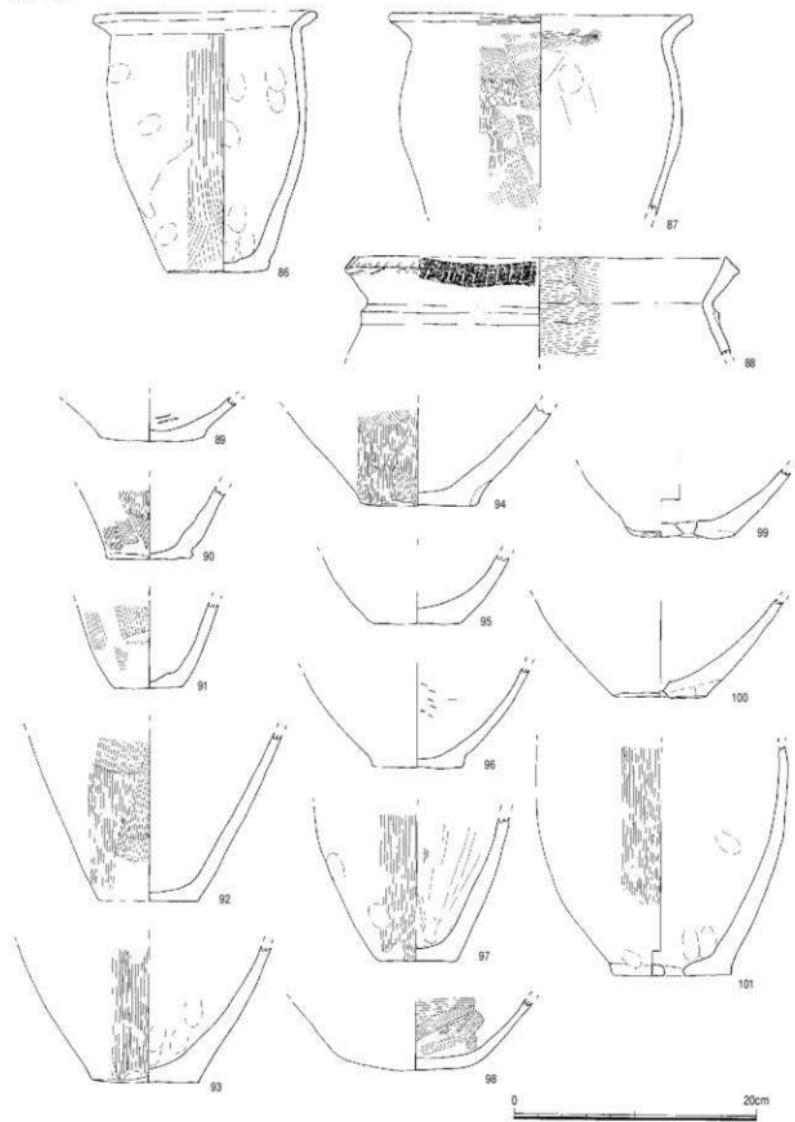
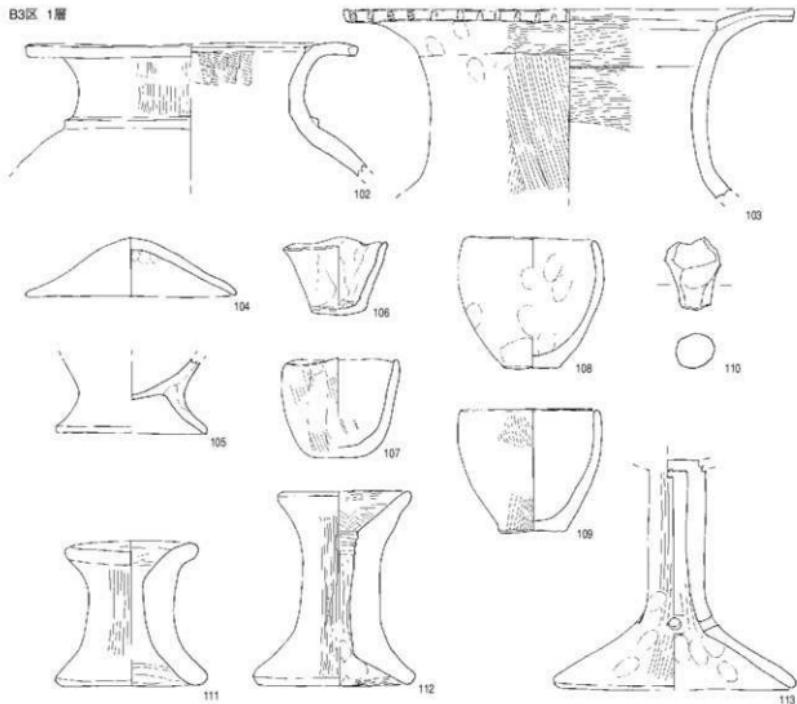


Fig. 14 SD003 出土土器実測図 7 (1/4)

B3区 1層



B2区 1層下a群

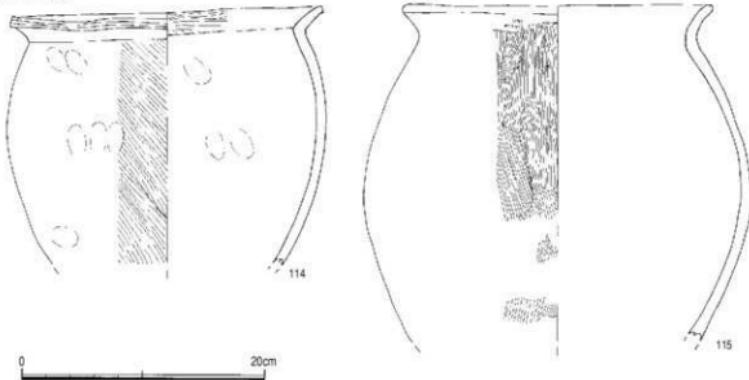


Fig. 15 SD003 出土土器実測図 8 (1/4)

B2区 1層下a群

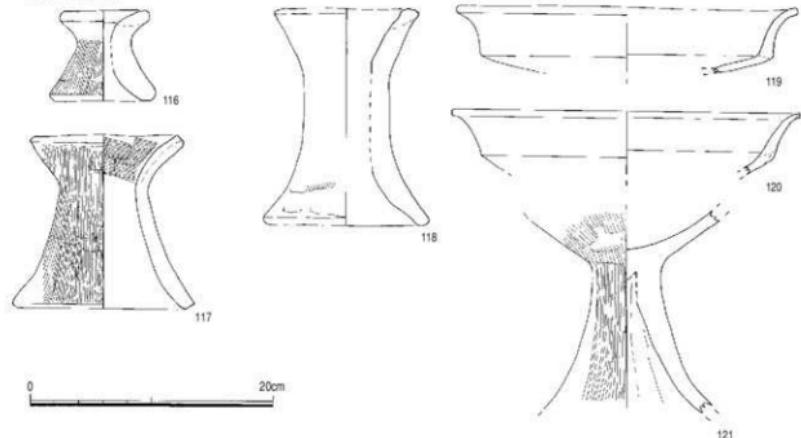
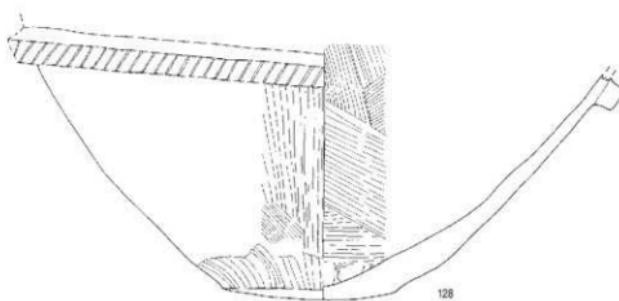
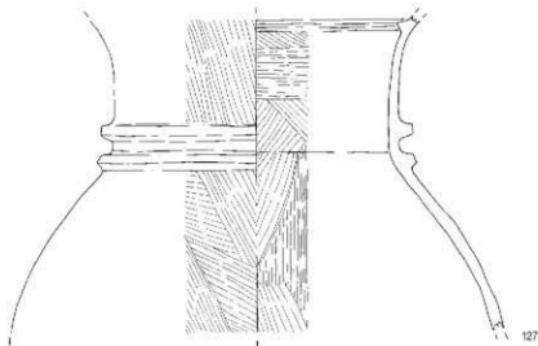
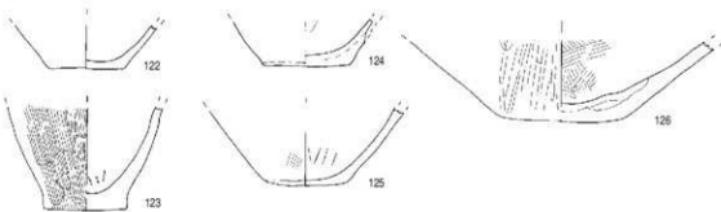


Fig. 16 SD003 出土土器実測図 9 (1/4)

B2区 1層下a群

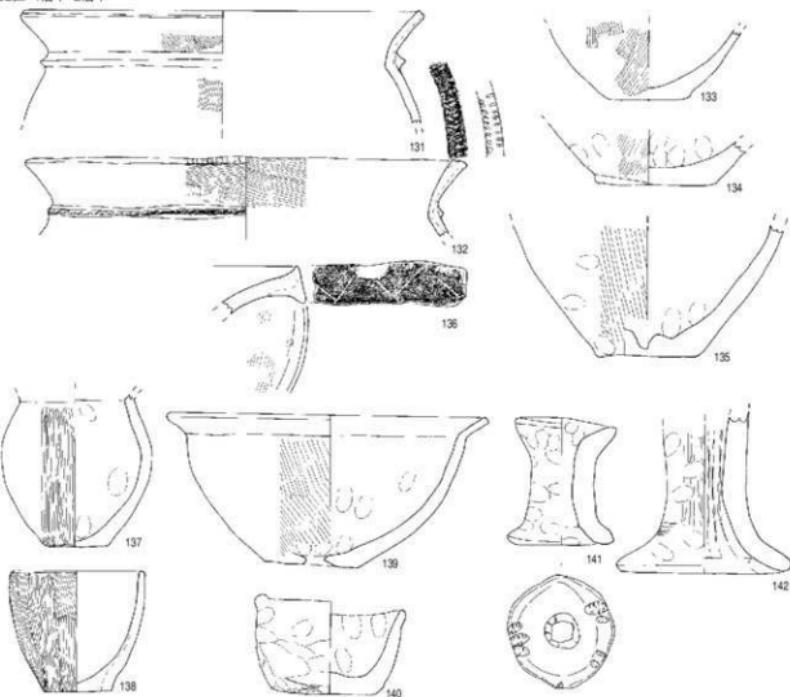


B2区 1層下b群



Fig. 17 SD003 出土土器実測図 10 (1/4)

B2区 1層下・2層下



B2区 1層下

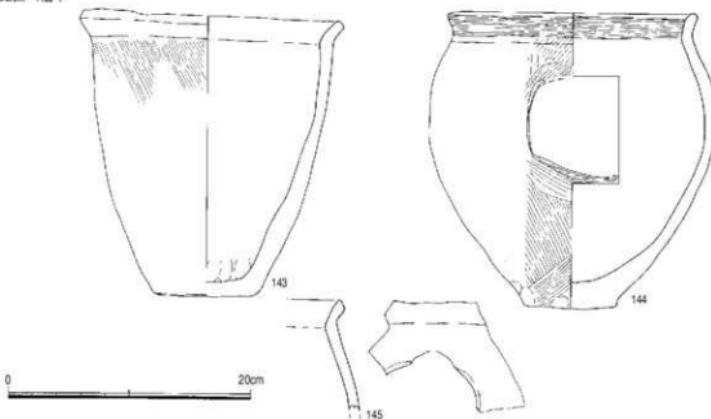


Fig. 18 SD003 出土土器実測図 11 (1/4)

B2区 1層下

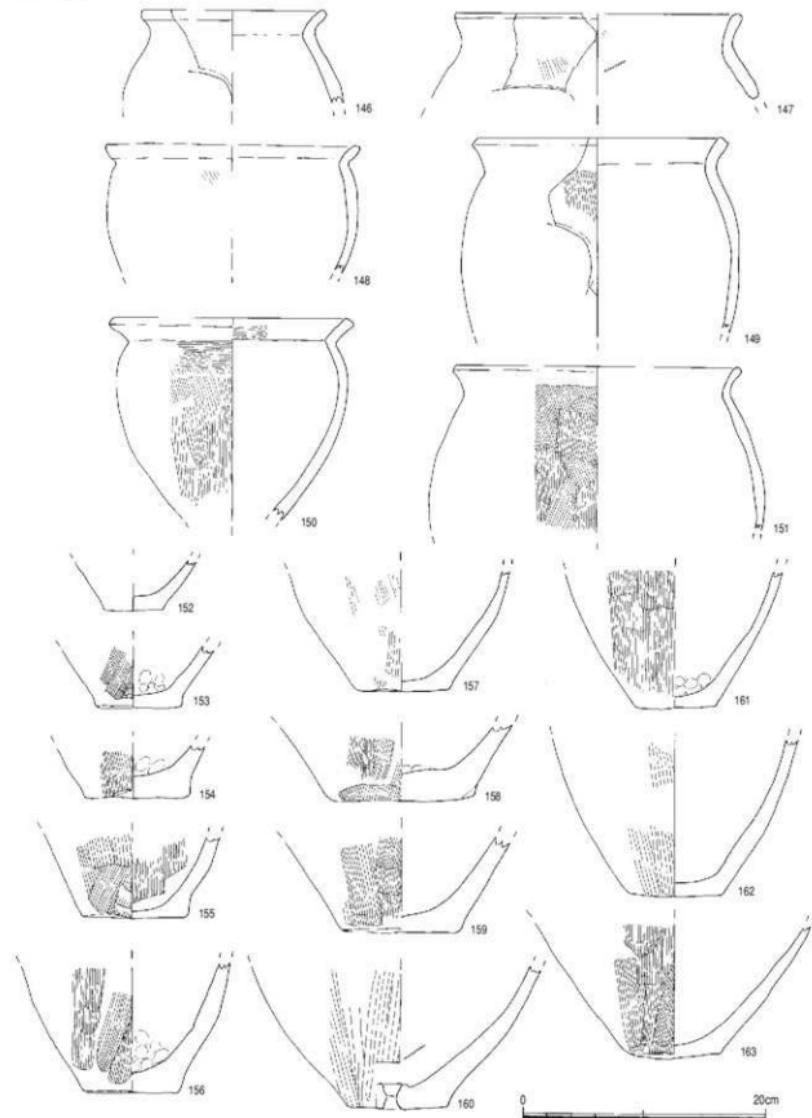


Fig. 19 SD003 出土土器実測図 12 (1/4)

B2区 1層下

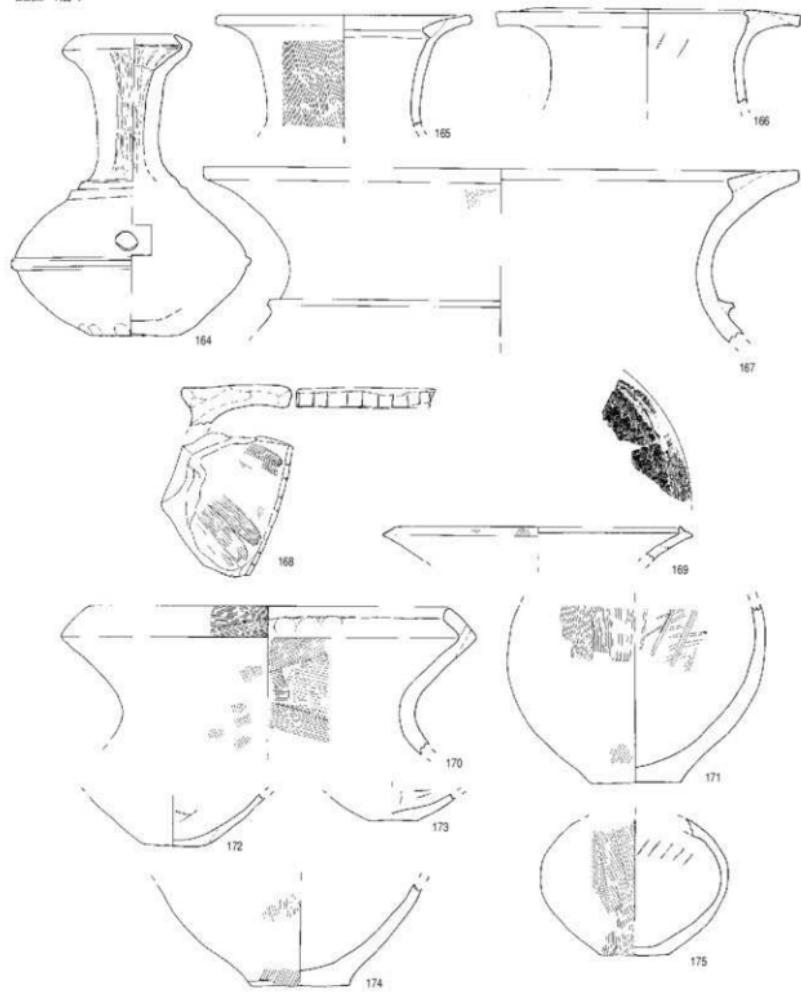


Fig. 20 SD003 出土土器実測図 13 (1/4)

B2区 1層下

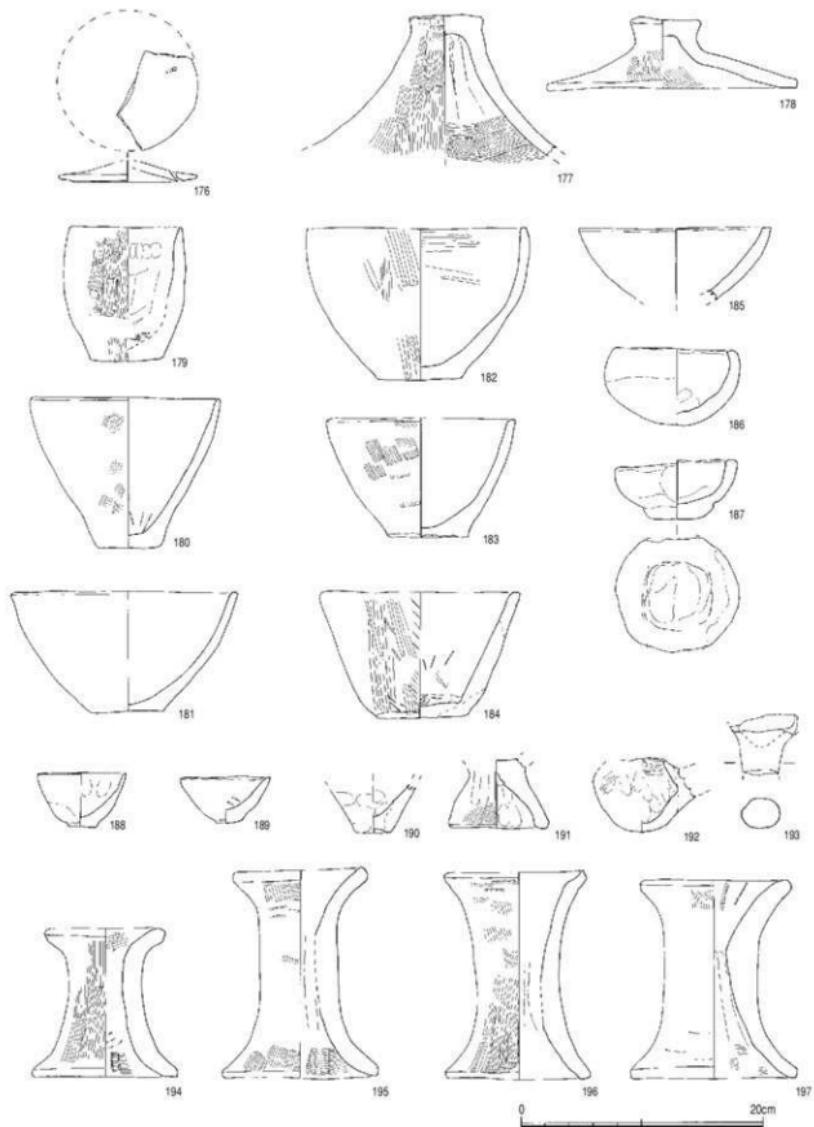
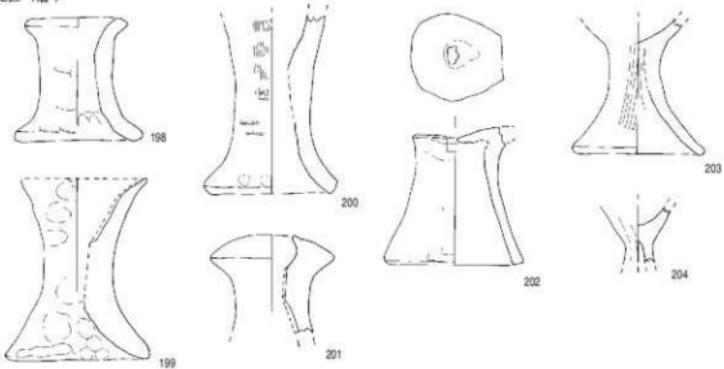


Fig. 21 SD003 出土土器実測図 14 (1/4)

B2区 1層下



B2区 2層上

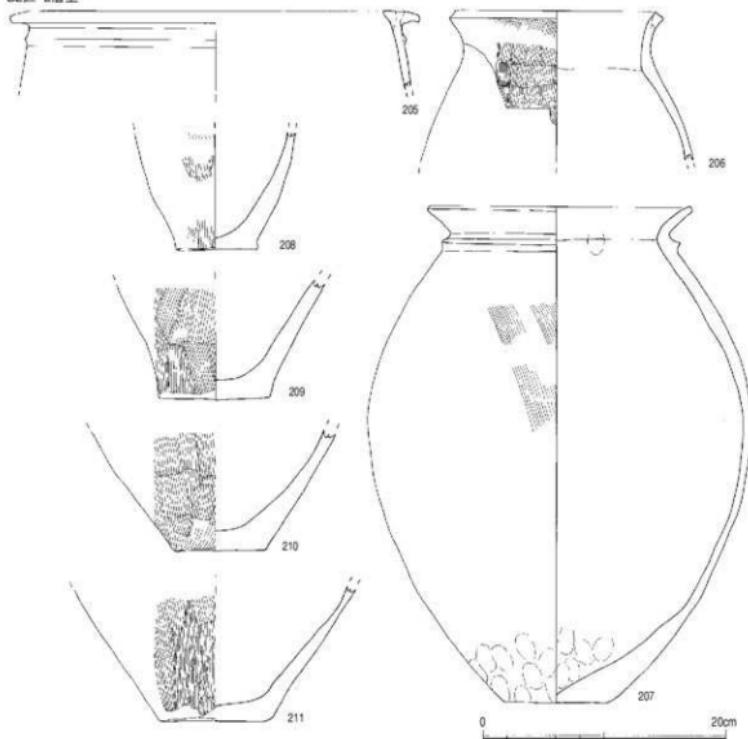


Fig. 22 SD003 出土土器実測図 15 (1/4)

B2区 2層上

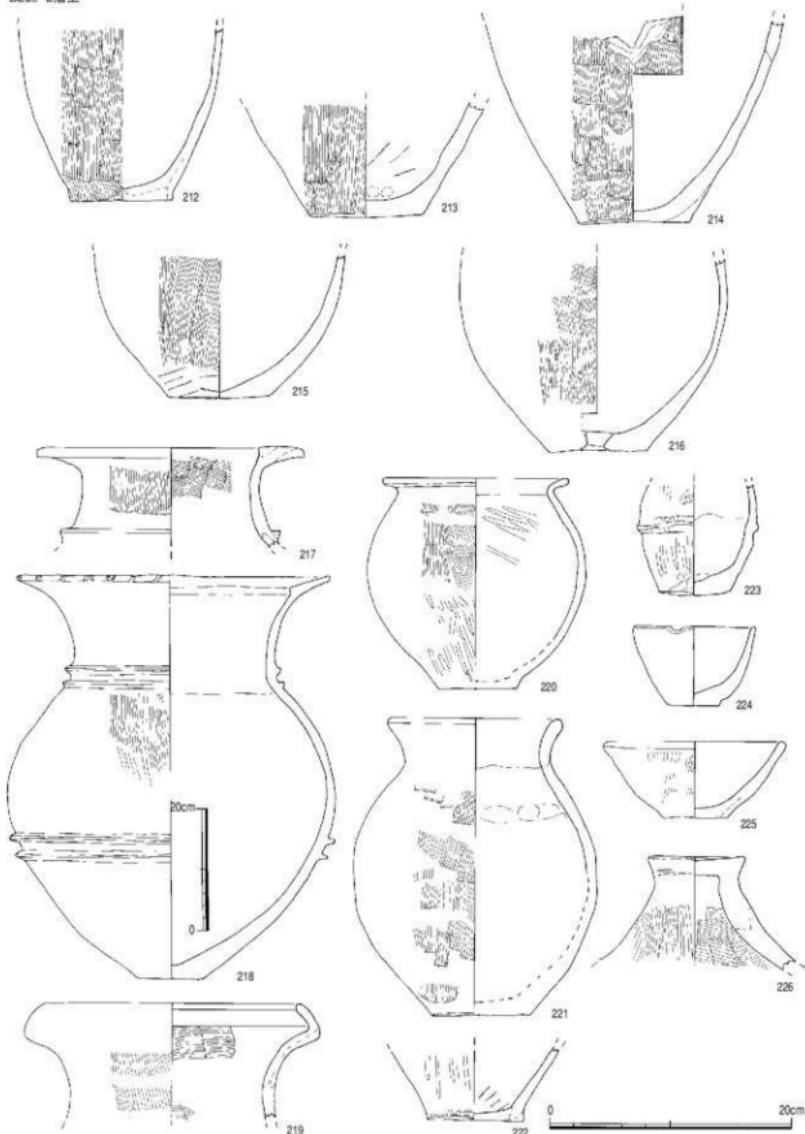
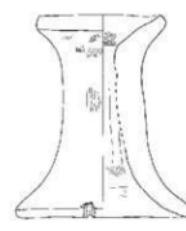
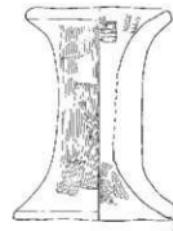
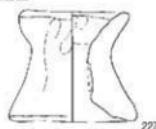


Fig. 23 SD003 出土土器実測図 16 (1/4、1/8)

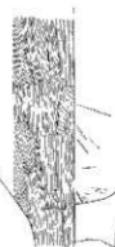
B2区 2層上



231

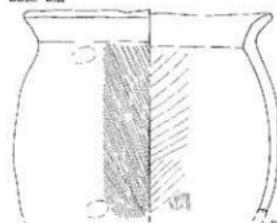


234

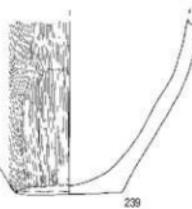
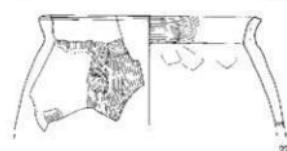


236

B2区 2層



239



239

20cm

Fig. 24 SD003 出土土器実測図 17 (1/4)

B2区 2層

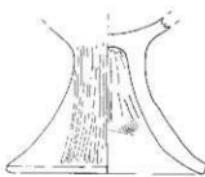
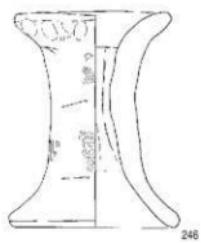
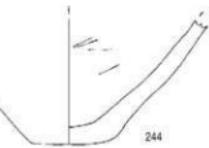
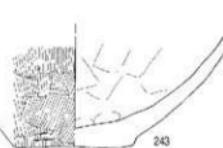
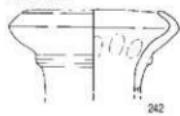


Fig. 25 SD003 出土土器実測図 18 (1/4)

C2区 透構面

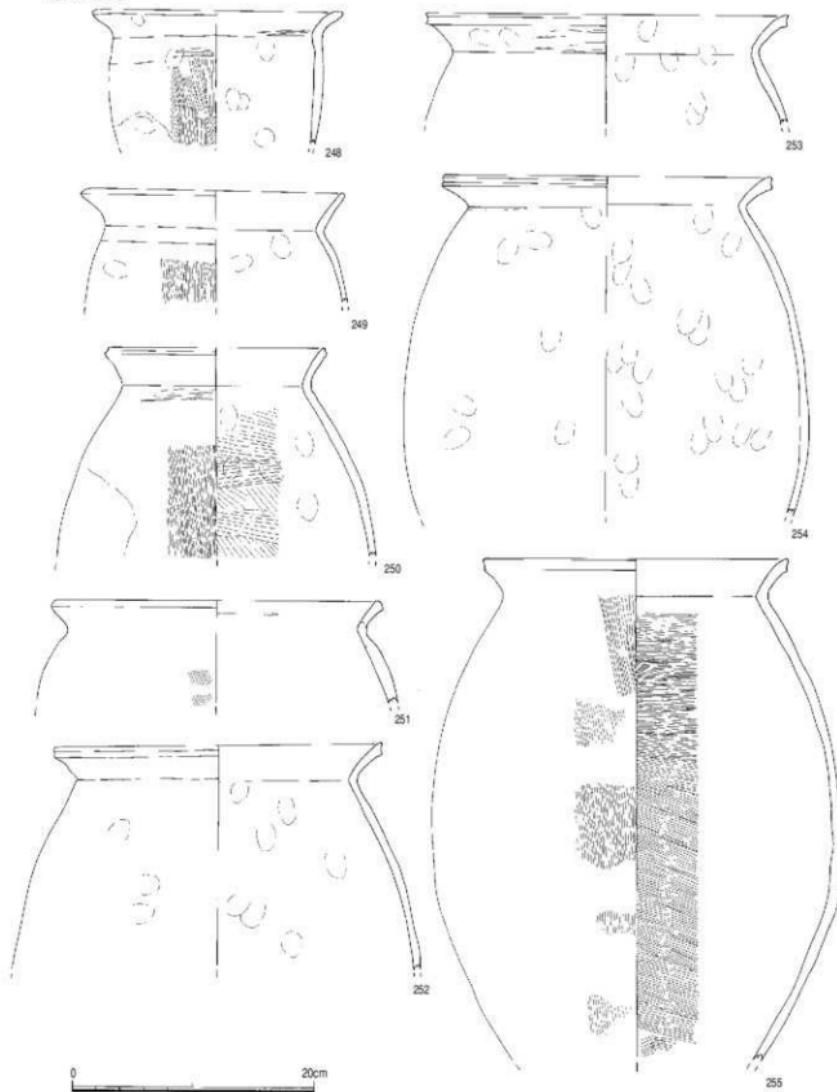
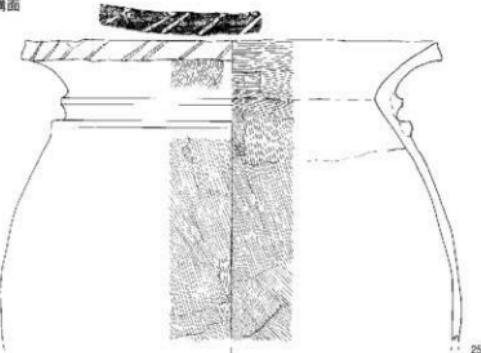
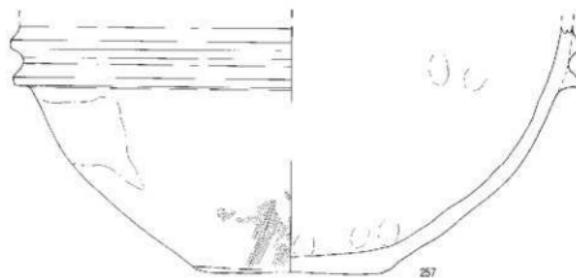


Fig. 26 SD003 出土土器実測図 19 (1/4)

C2区 連構面



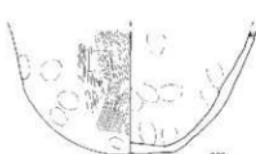
256



257



258



259

0 1 20cm

Fig. 27 SD003 出土土器実測図 20 (1/4)

C2区 横様面

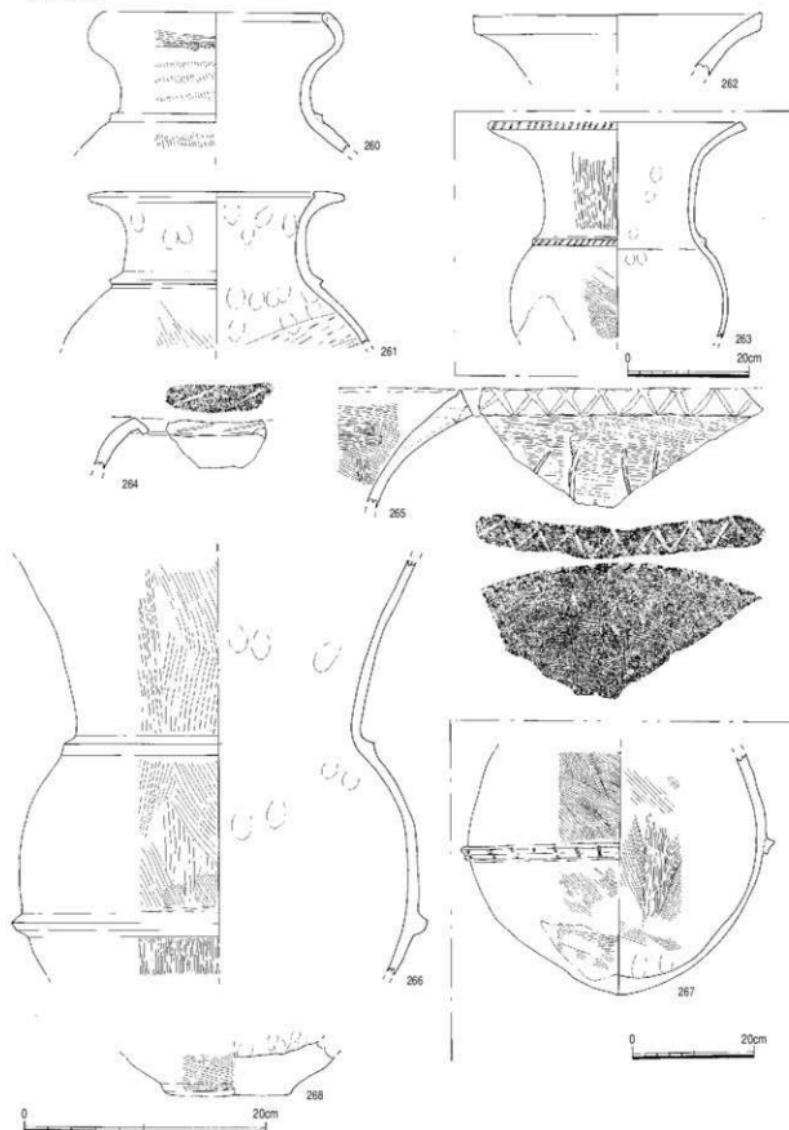
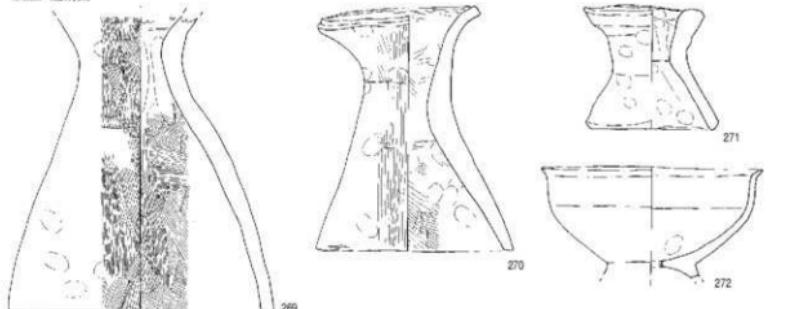
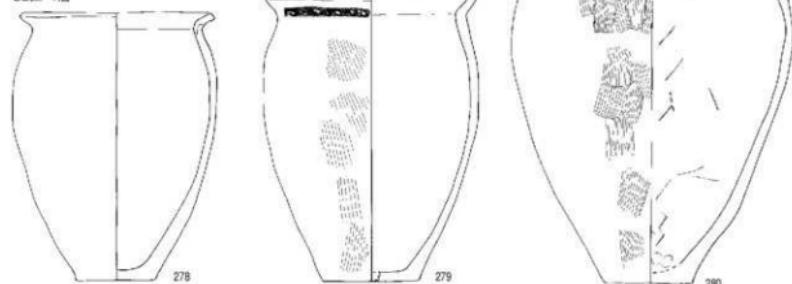


Fig. 28 SD003 出土土器実測図 21 (1/4、1/8)

C2区 造構面



C2区 1層



0 20cm

Fig. 29 SD003 出土土器実測図 22 (1/4)

C2区 1層

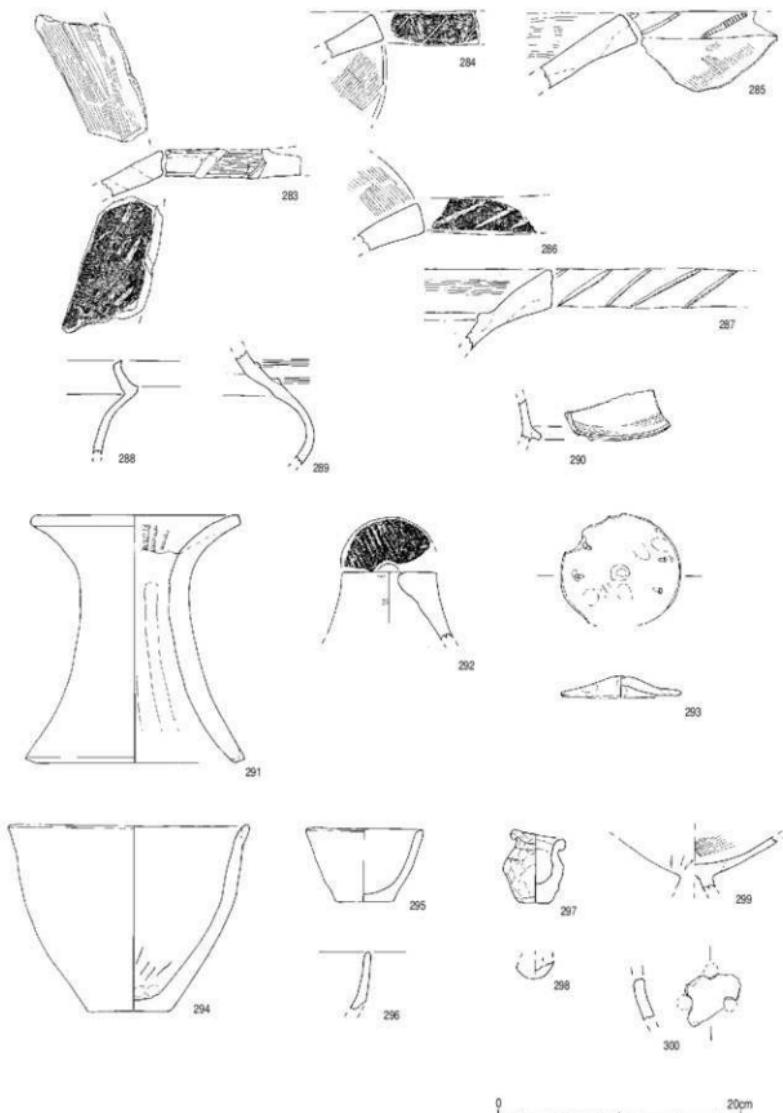


Fig. 30 SD003 出土土器実測図 23 (1/4)

C2区 1層下a群

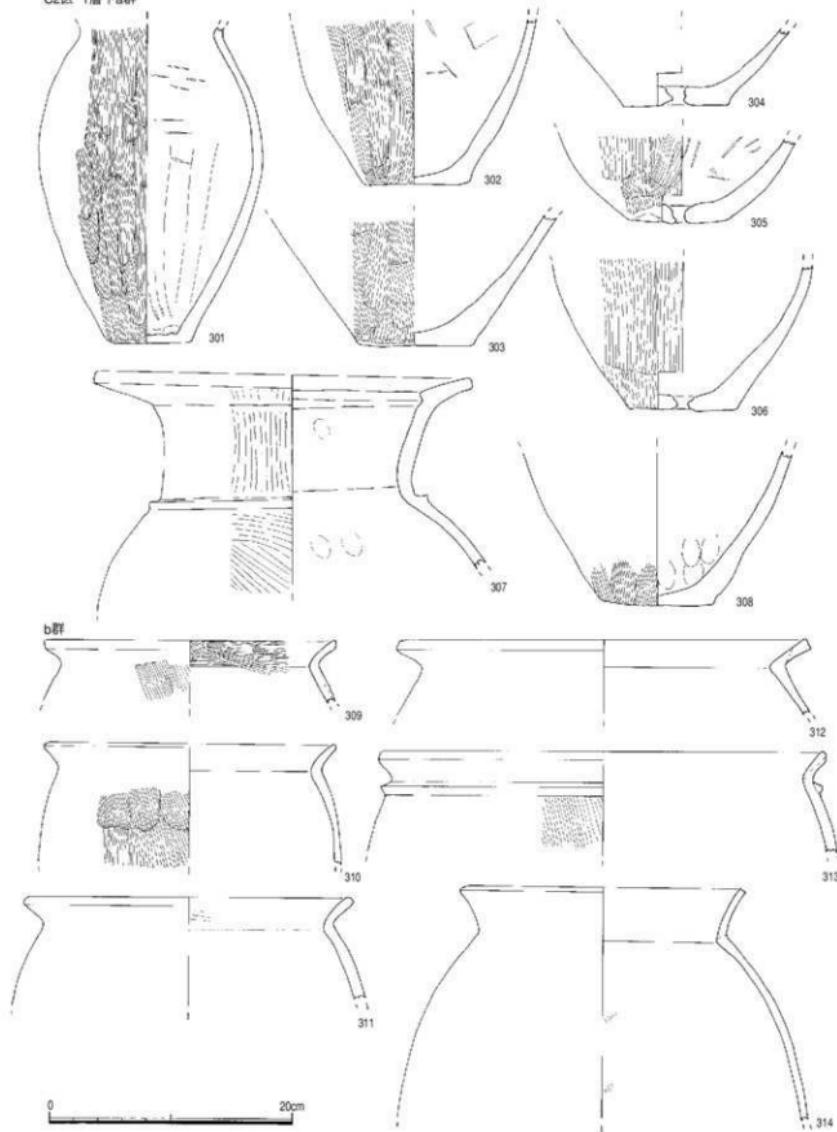


Fig. 31 SD003 出土土器実測図 24 (1/4)

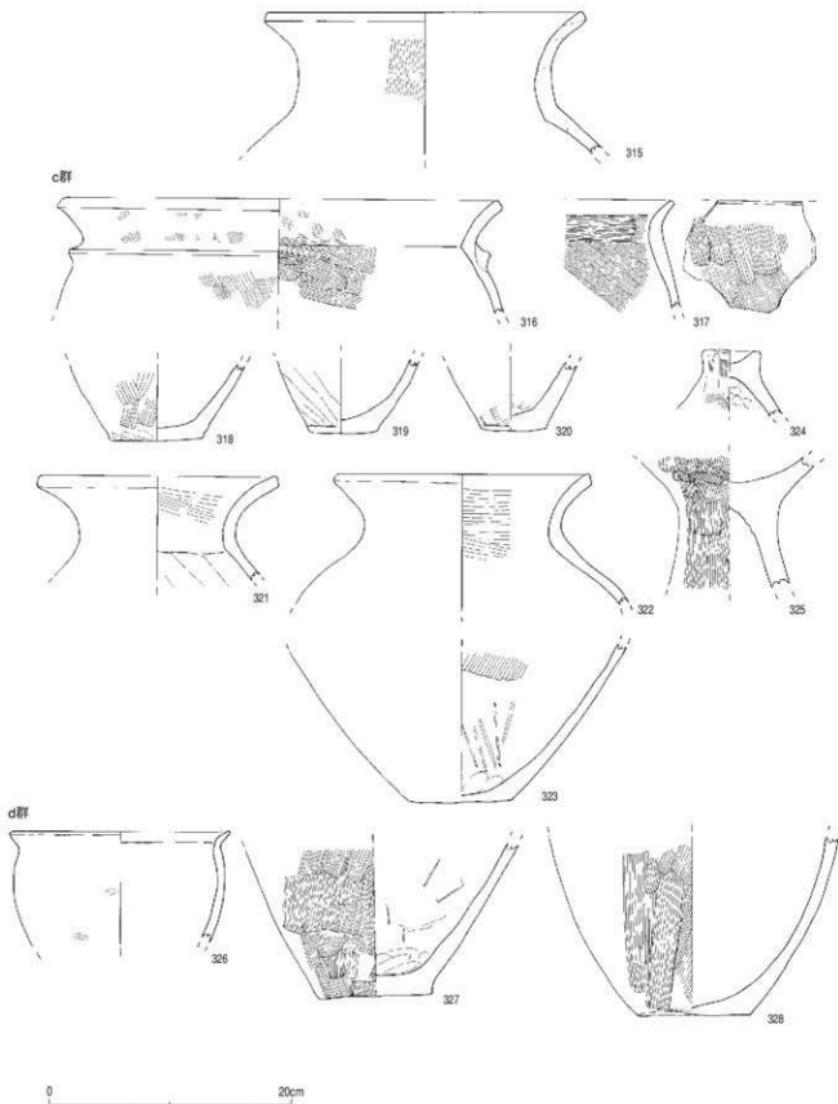
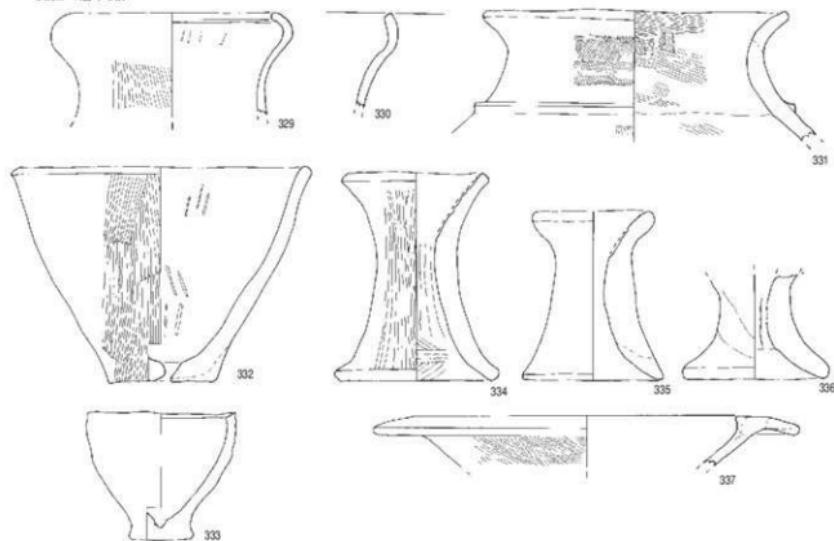


Fig. 32 SD003 出土土器実測図 25 (1/4)

C2区 1層下d群



C2区 1層下

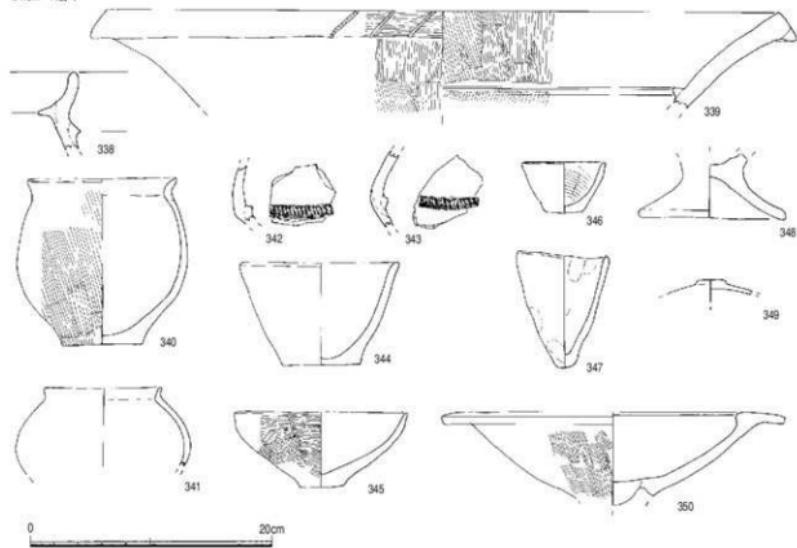


Fig. 33 SD003 出土土器実測図 26 (1/4)

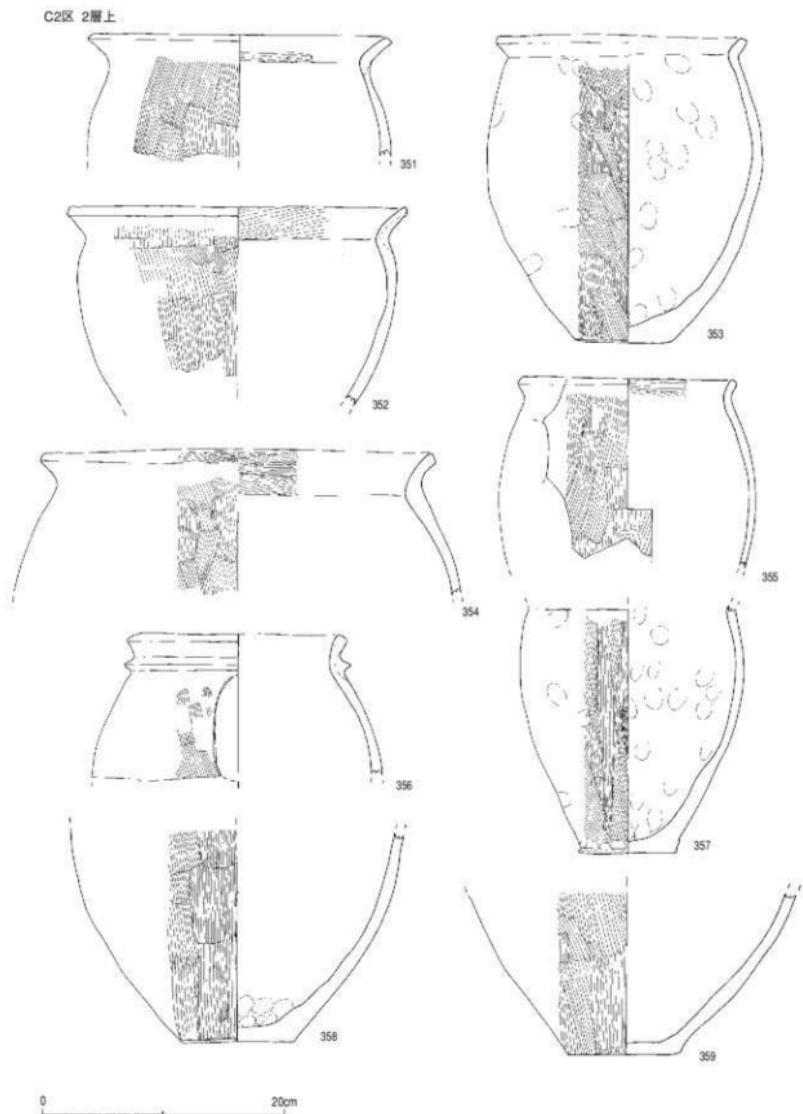


Fig. 34 SD003 出土土器実測図 27 (1/4)

C2区 2層上

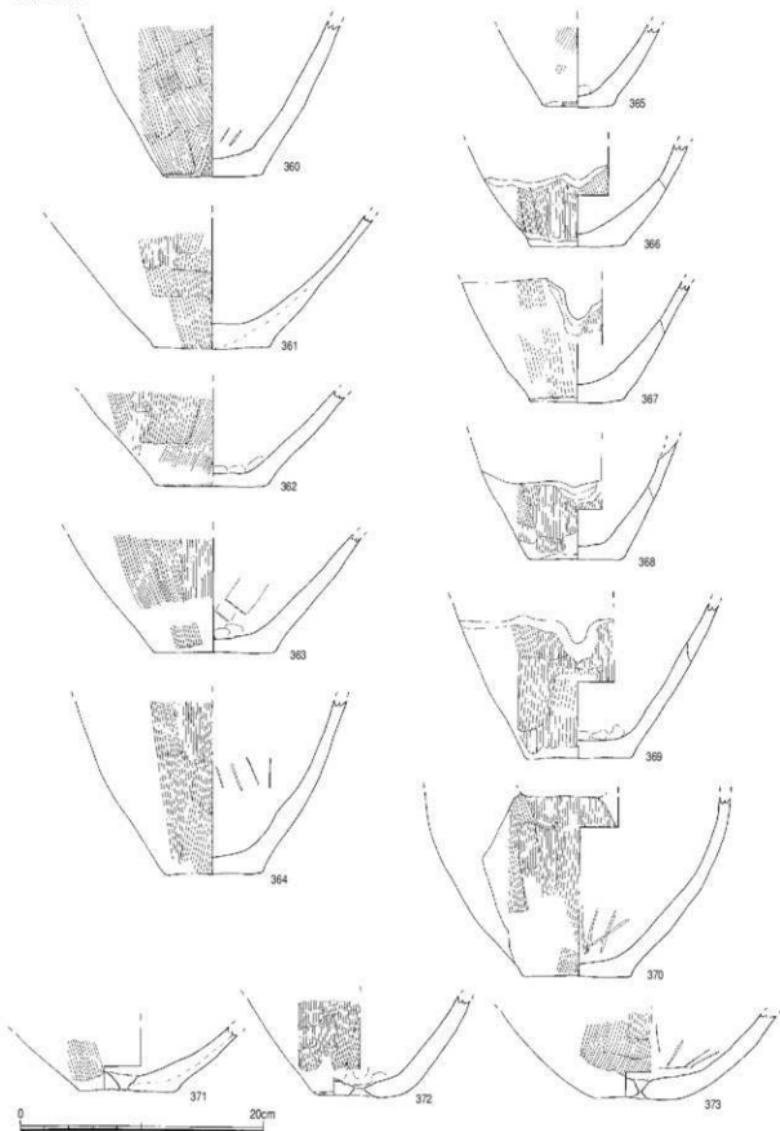


Fig. 35 SD003 出土土器実測図 28 (1/4)

C2区 2層上

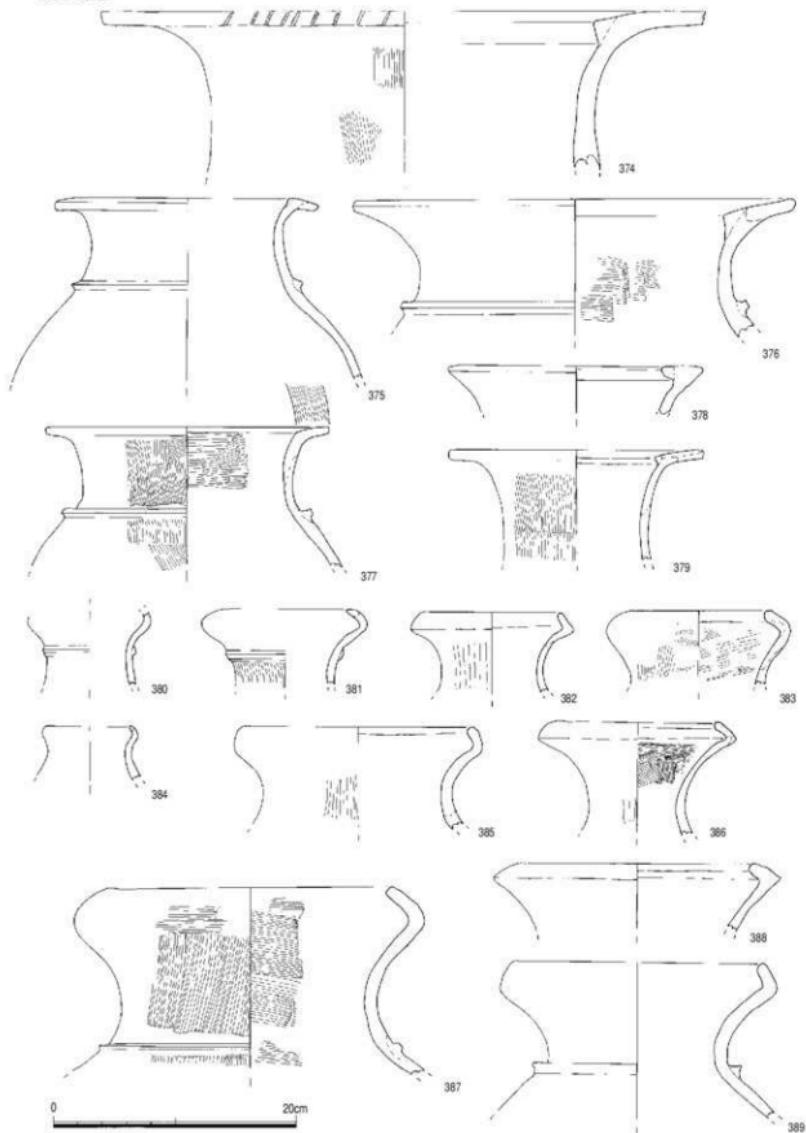


Fig. 36 SD003 出土土器実測図 29 (1/4)

C2区 2層上

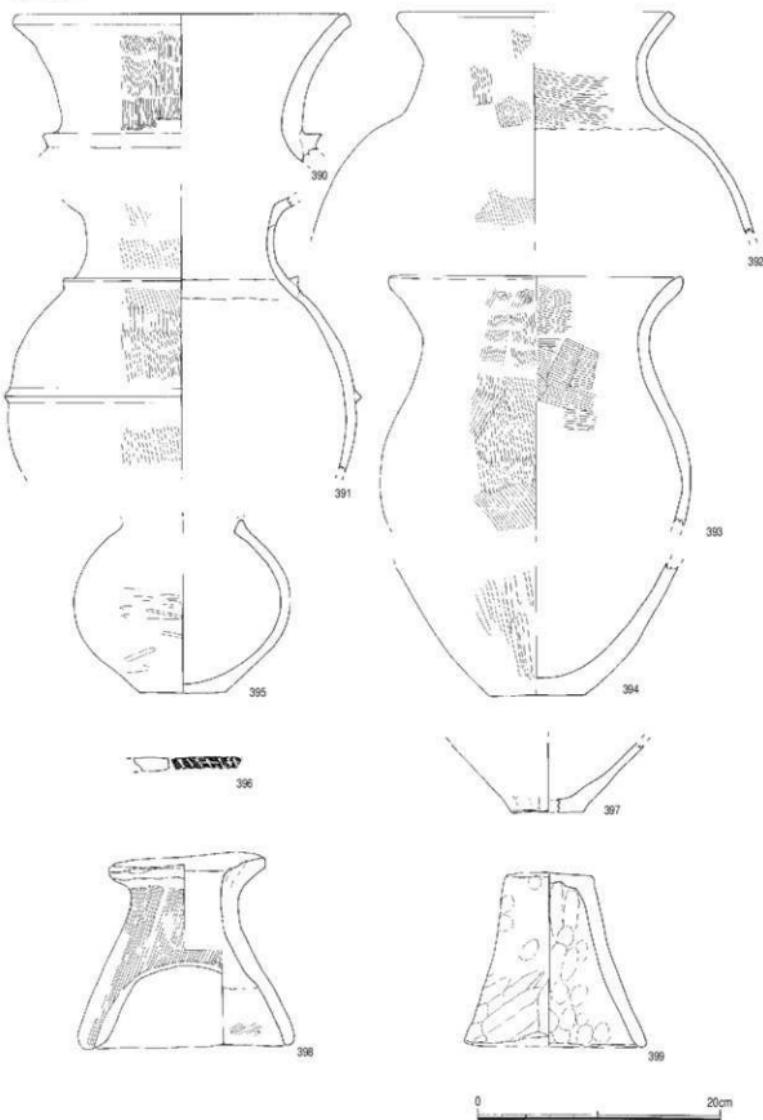


Fig. 37 SD003 出土土器実測図 30 (1/4)

C2区 2層上

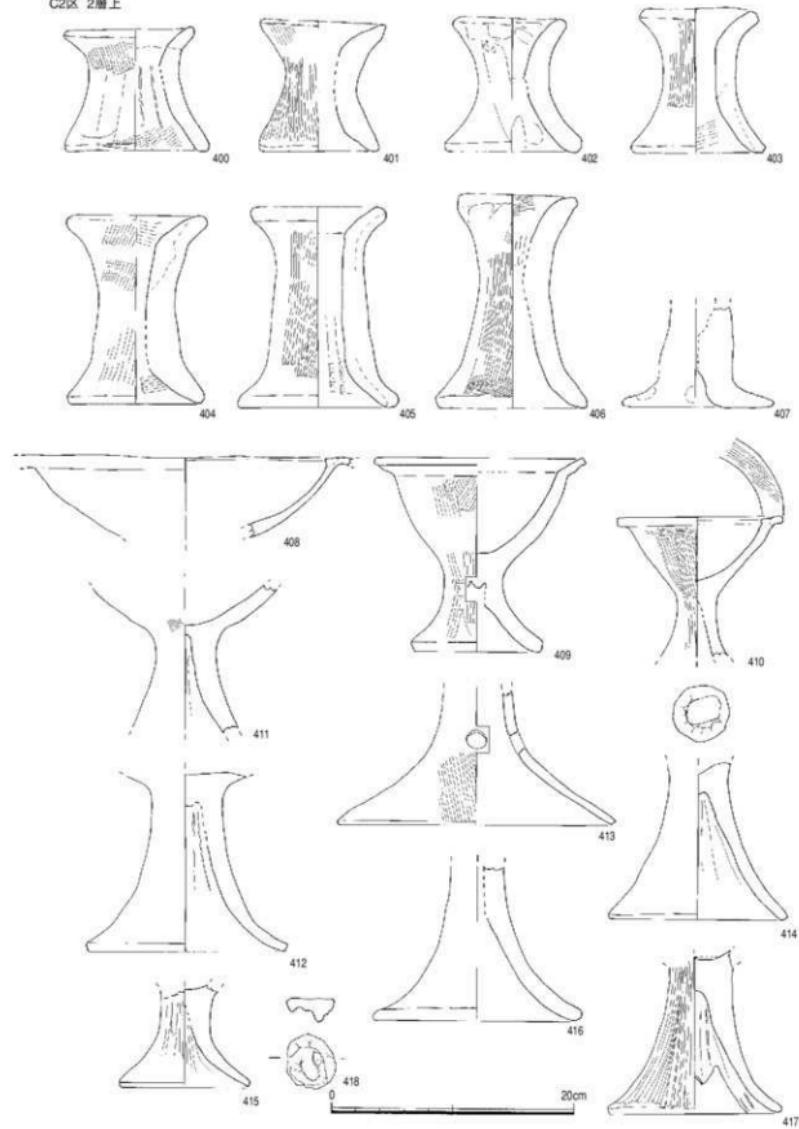


Fig. 38 SD003 出土土器実測図 31 (1/4)

C2区 2層上

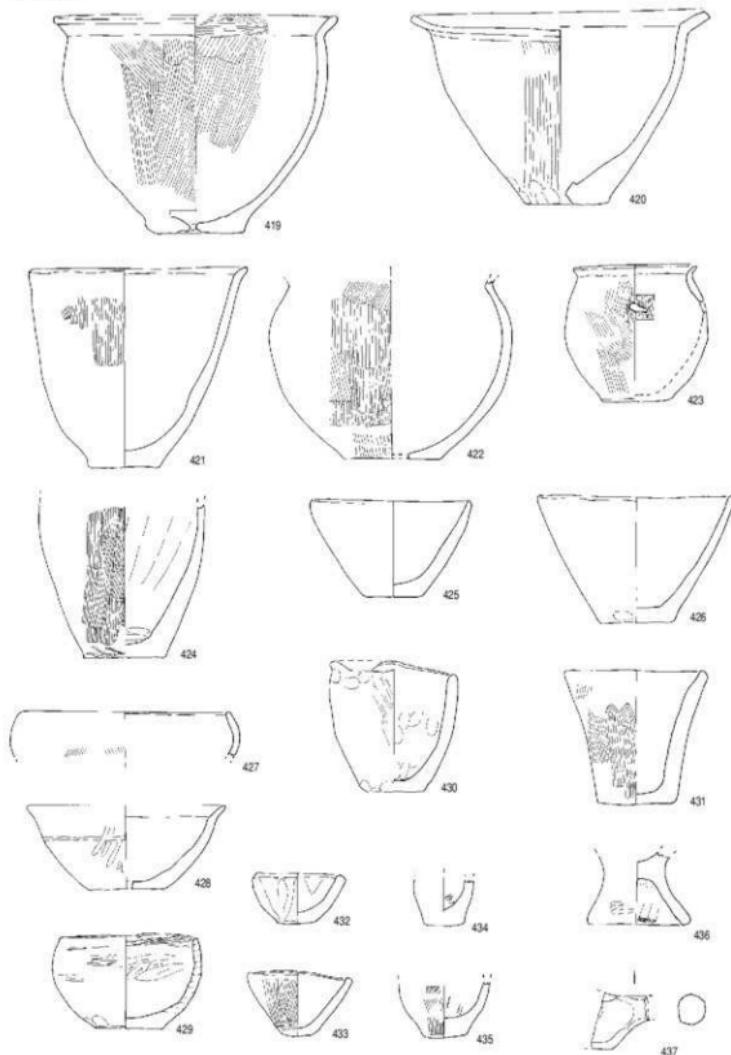


Fig. 39 SD003 出土土器実測図 32 (1/4)

C2区 2層

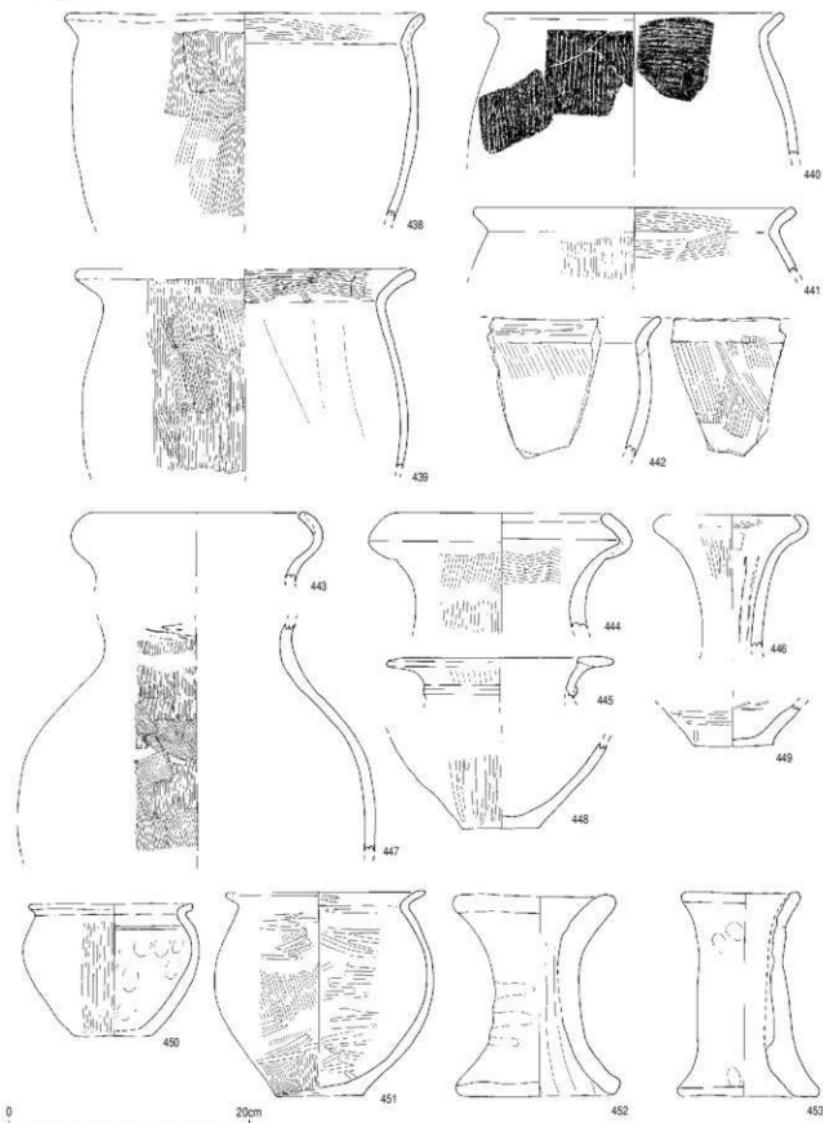


Fig. 40 SD003 出土土器実測図 33 (1/4)

C2区 2層

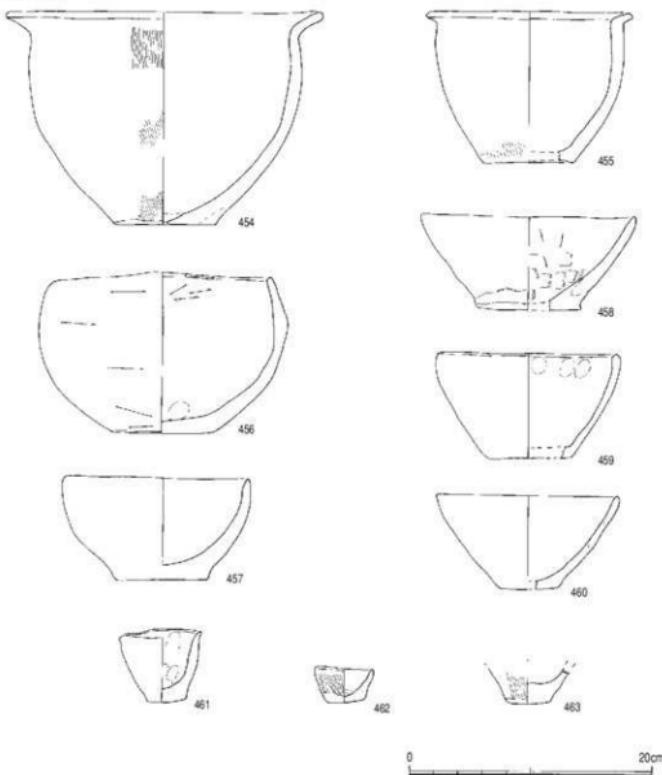
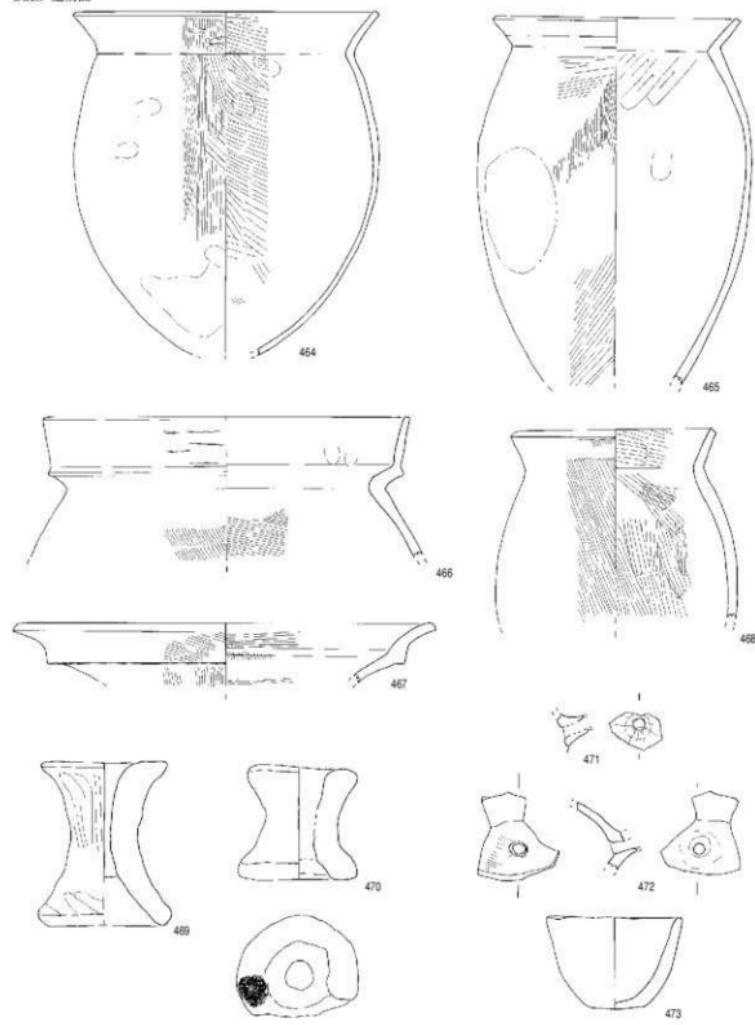


Fig. 41 SD003 出土土器実測図 34 (1/4)

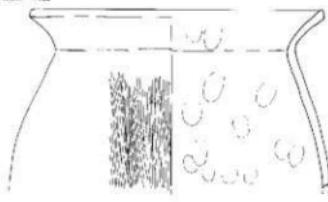
D2区 遺構面



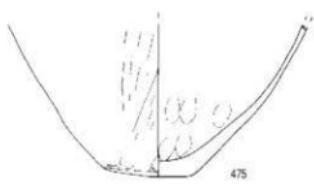
0 20cm

Fig. 42 SD003 出土土器実測図 35 (1/4)

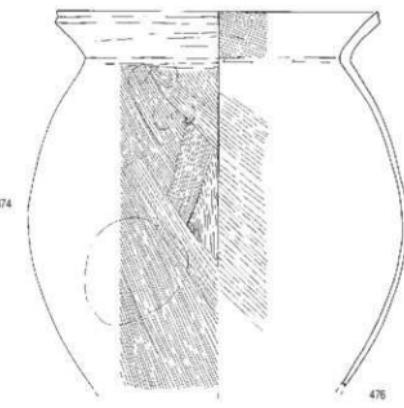
D2区 1層



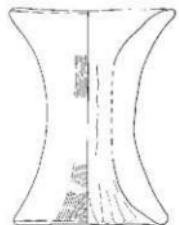
474



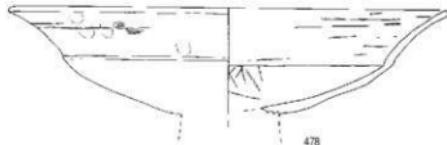
475



476



477



478

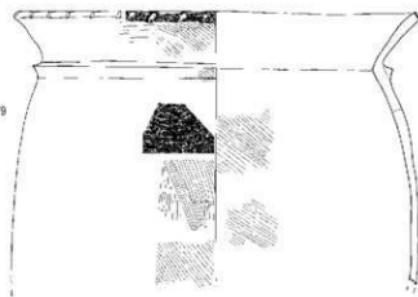
D2区 1層下



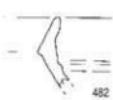
479



480



481



482

Fig. 43 SD003 出土土器実測図 36 (1/4)

D2区 1層下

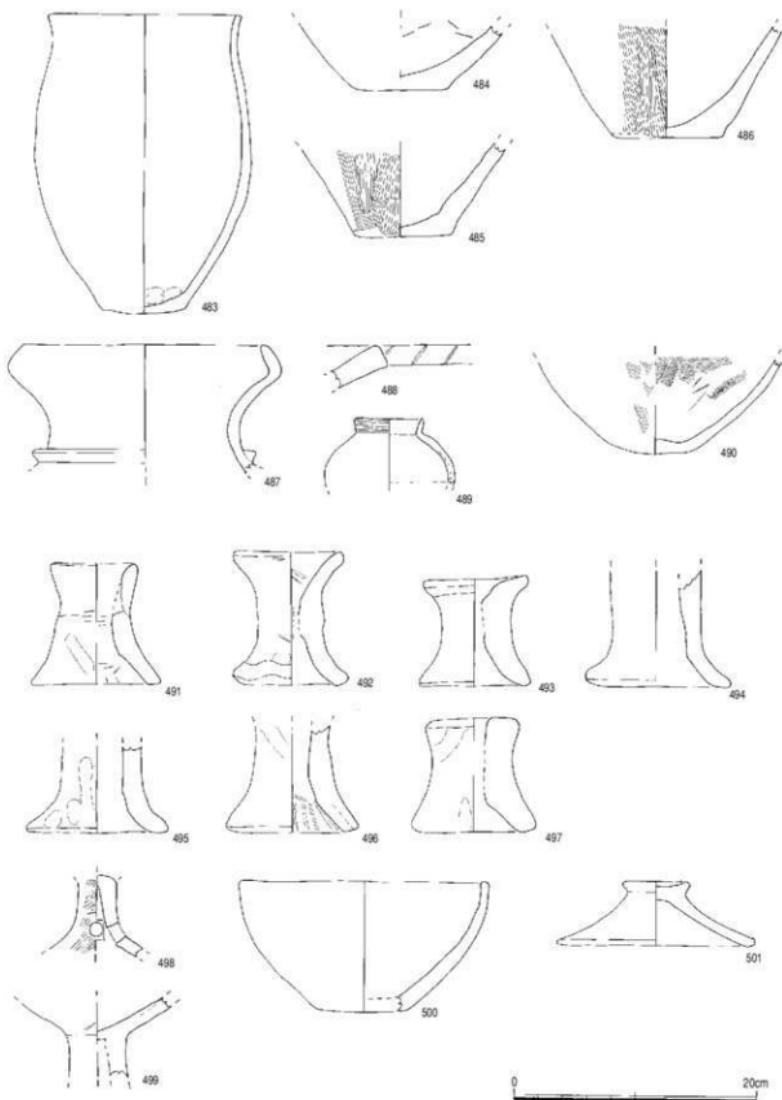


Fig. 44 SD003 出土土器実測図 37 (1/4)

D2区 2層上

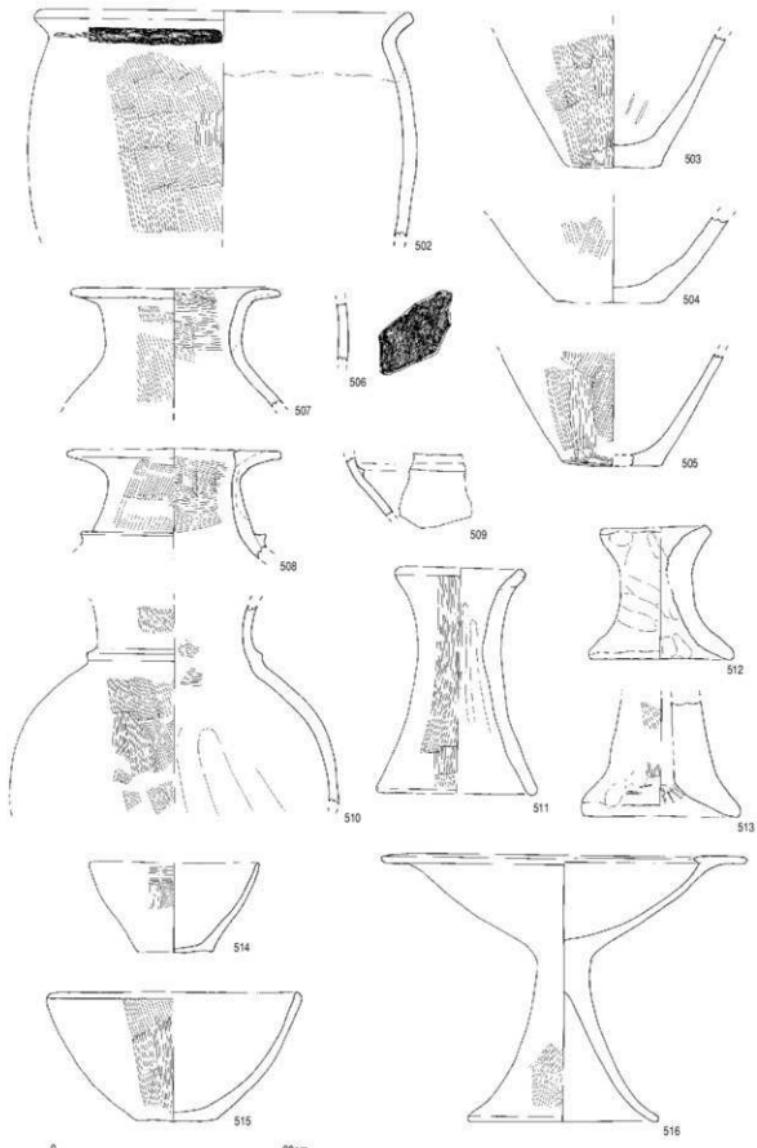


Fig. 45 SD003 出土土器実測図 38 (1/4)

C2~D2区 1層下

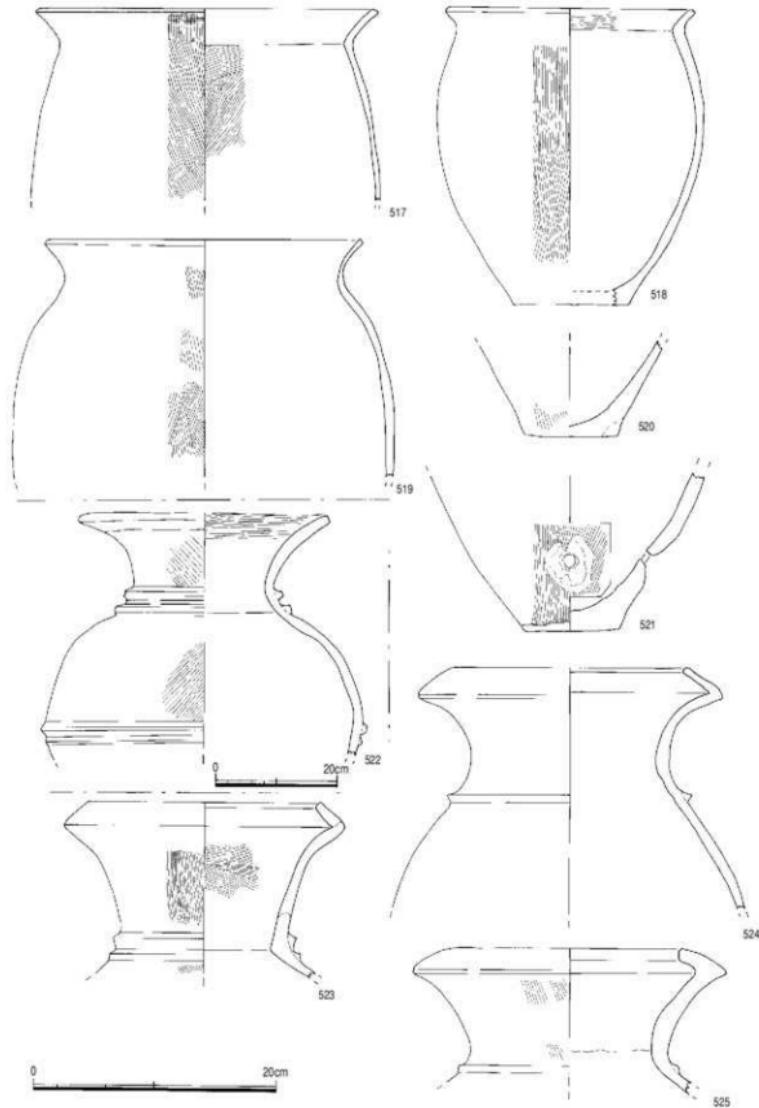


Fig. 46 SD003 出土土器実測図 39 (1/4、1/8)

C2~D2区 1層下

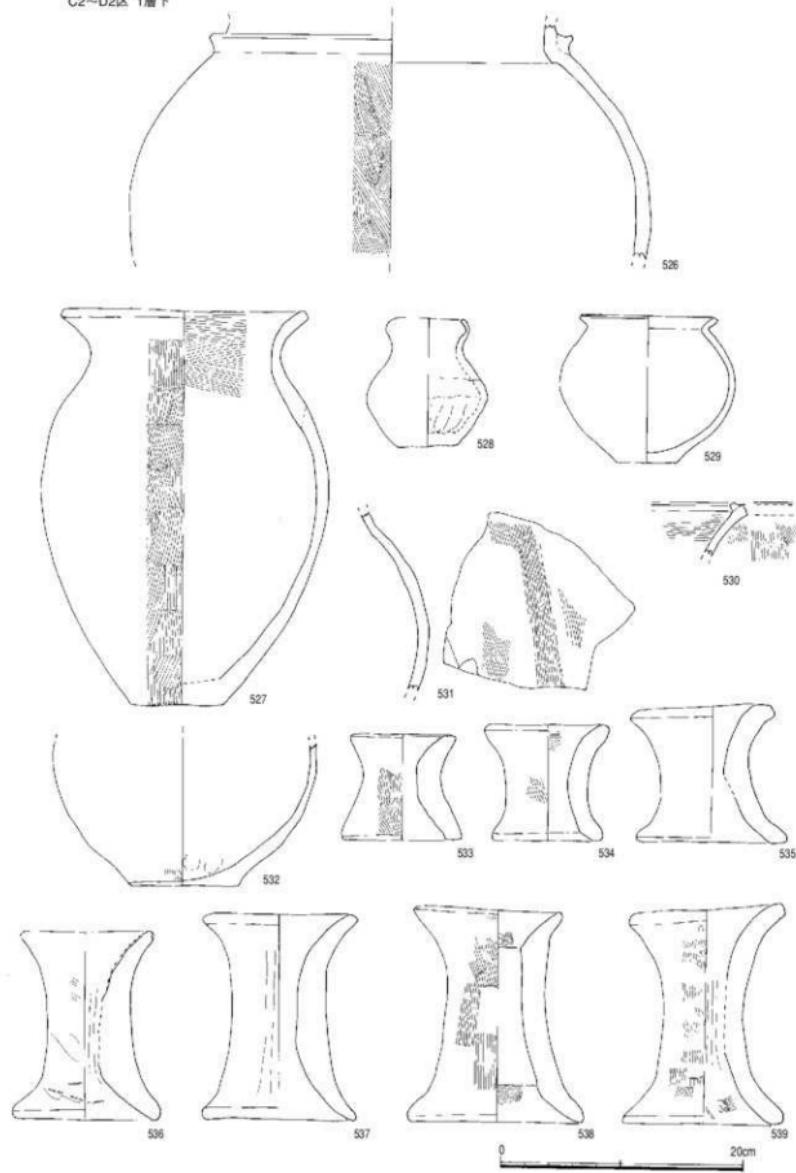


Fig. 47 SD003 出土土器実測図 40 (1/4)

C2~D2区 1層下

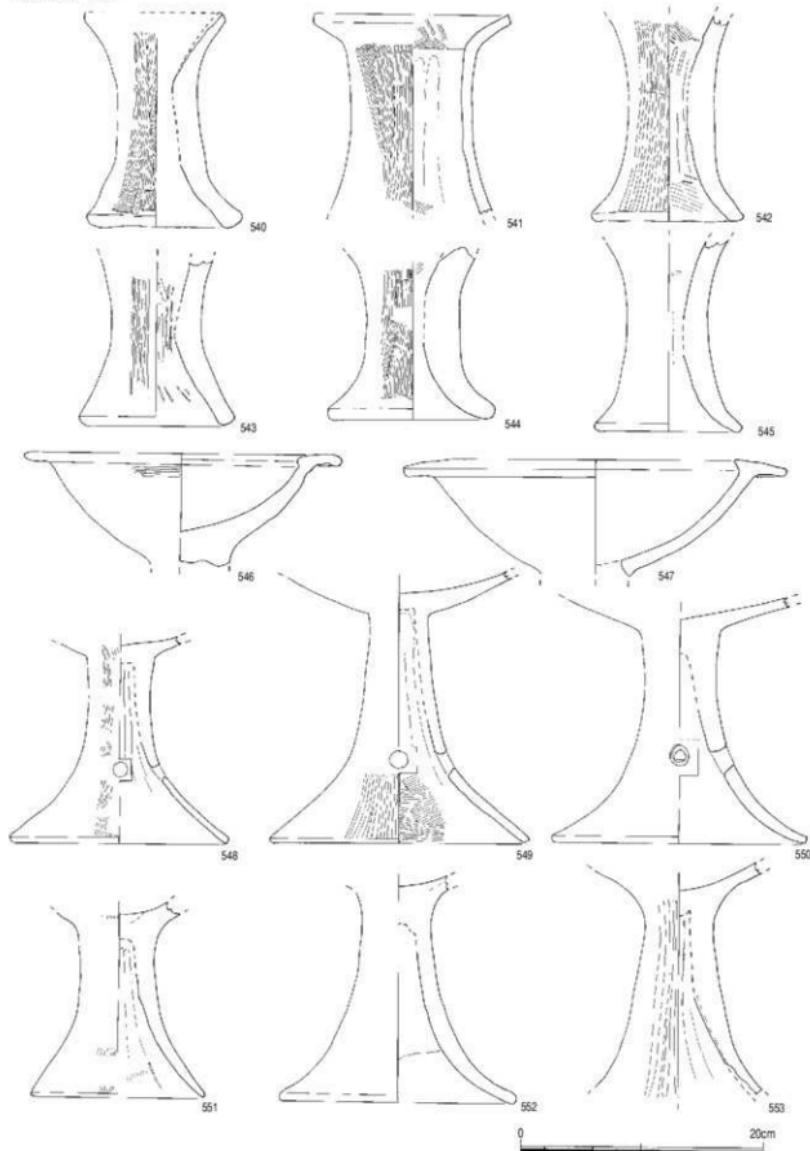


Fig. 48 SD003 出土土器実測図 41 (1/4)

C2~D2区 1層下

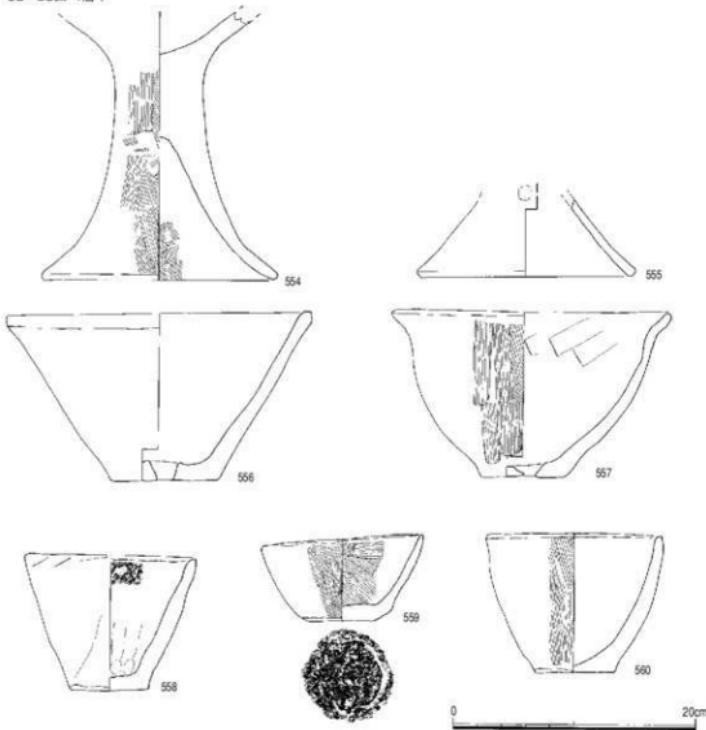


Fig. 49 SD003 出土土器実測図 42 (1/4)

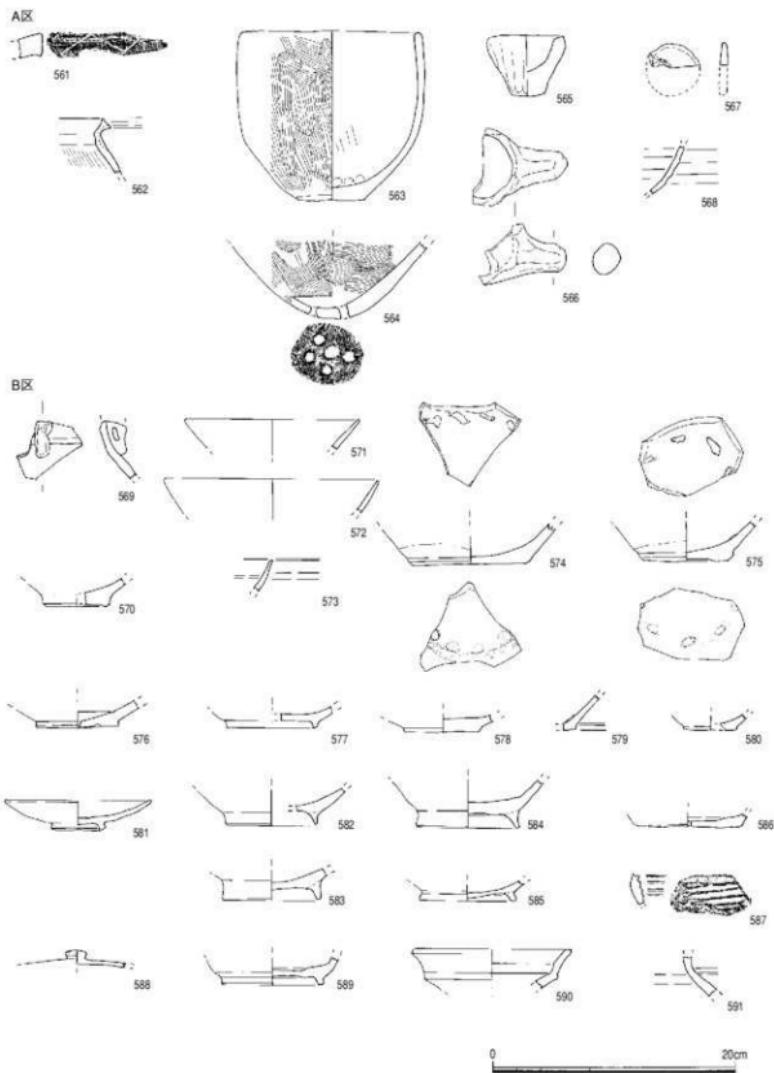


Fig. 50 包含層出土土器実測図 1 (1/4)

B区

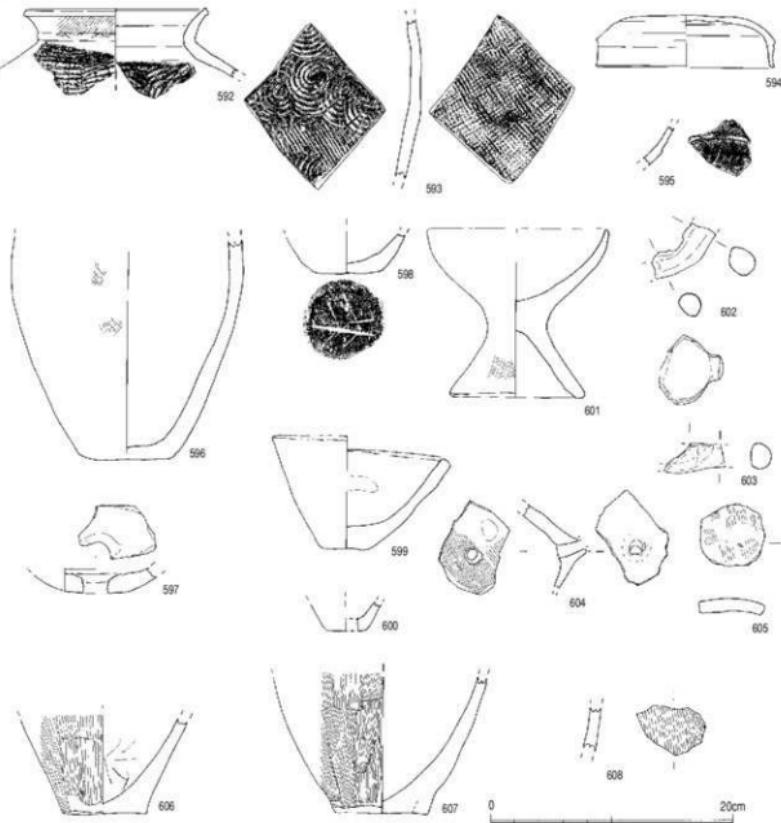


Fig. 51 包含層出土土器実測図 2 (1/4)

C区

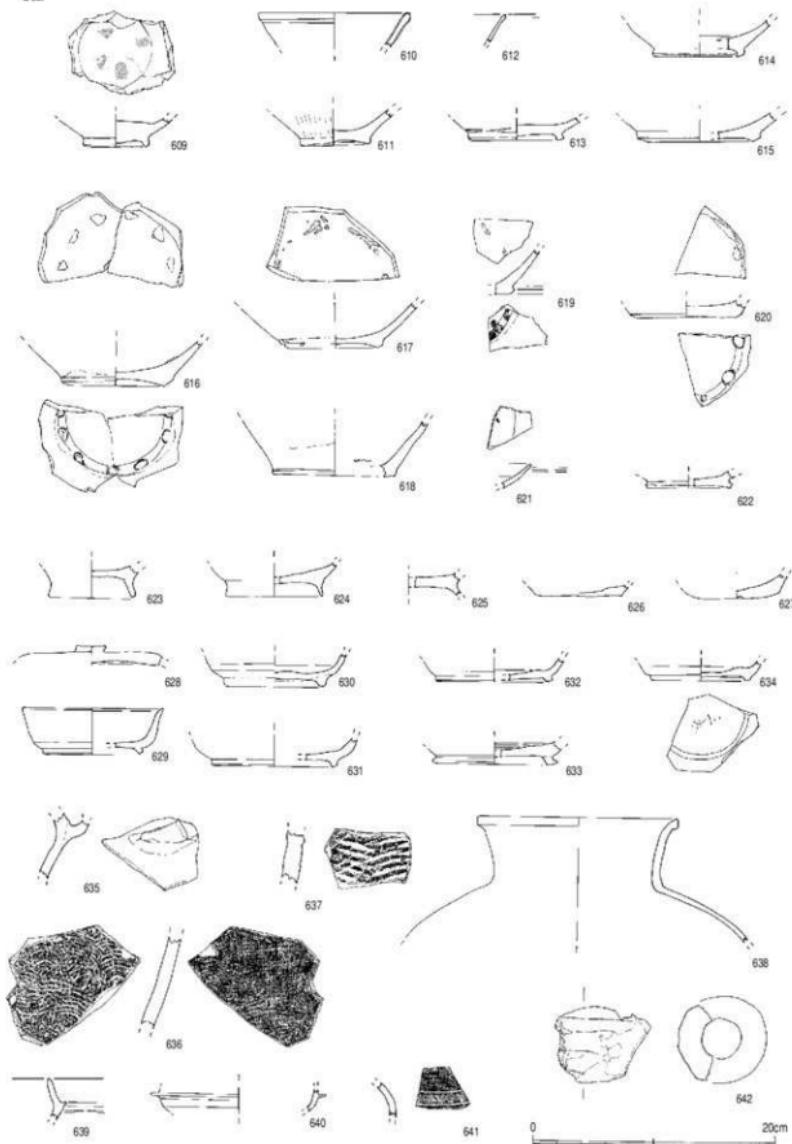
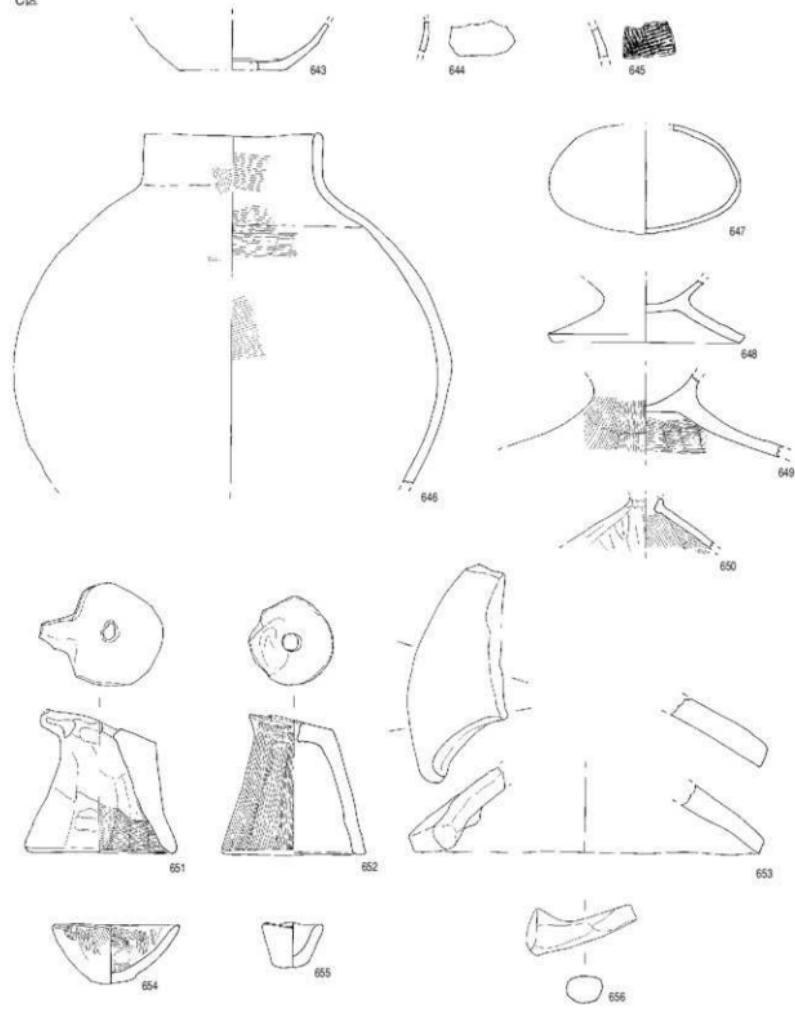


Fig. 52 包含層出土土器実測図 3 (1/4)

C区



0 20cm

Fig. 53 包含層出土土器実測図 4 (1/4)

D区

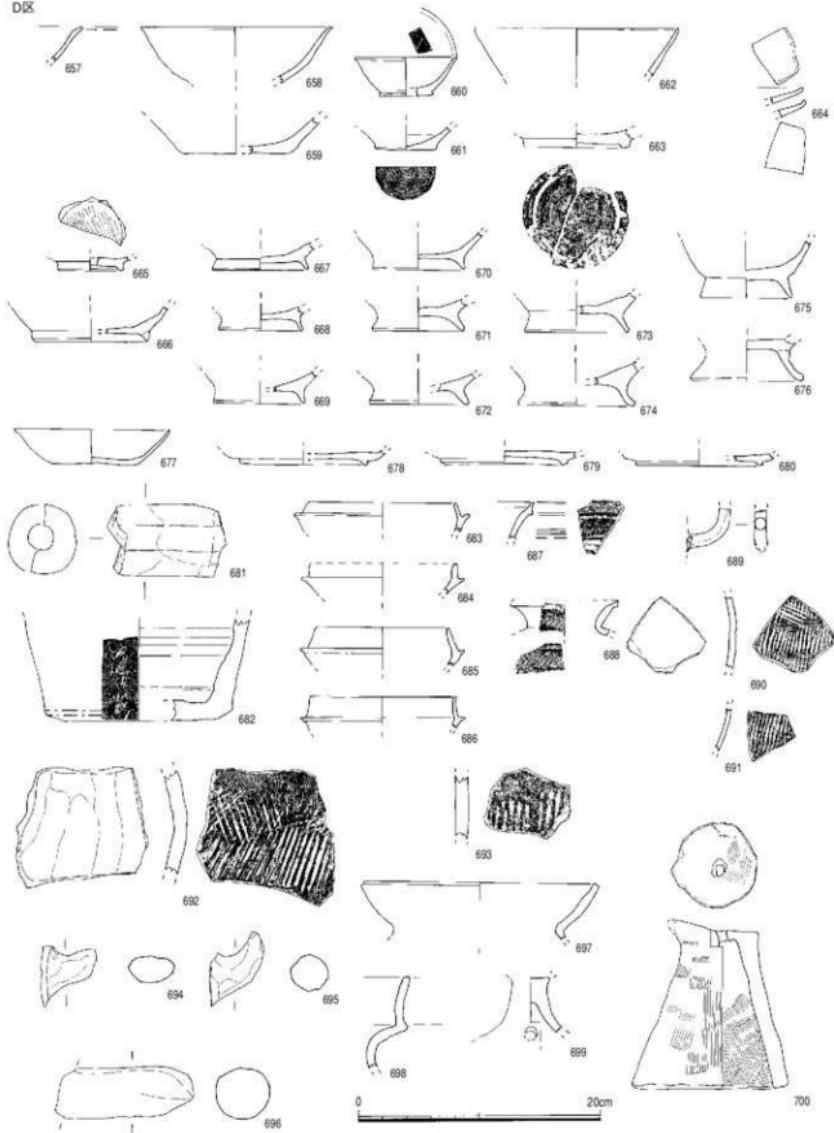


Fig. 54 包含層出土土器実測図 5 (1/4)

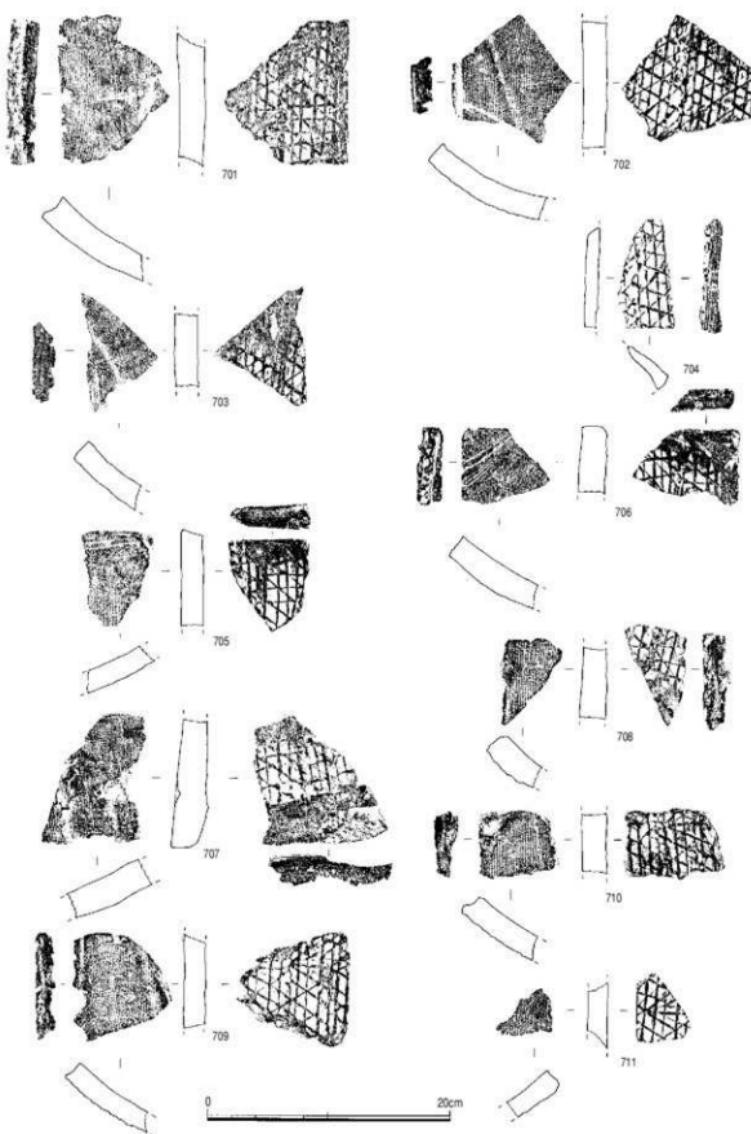


Fig. 55 包含層出土瓦実測図 1 (1/4)

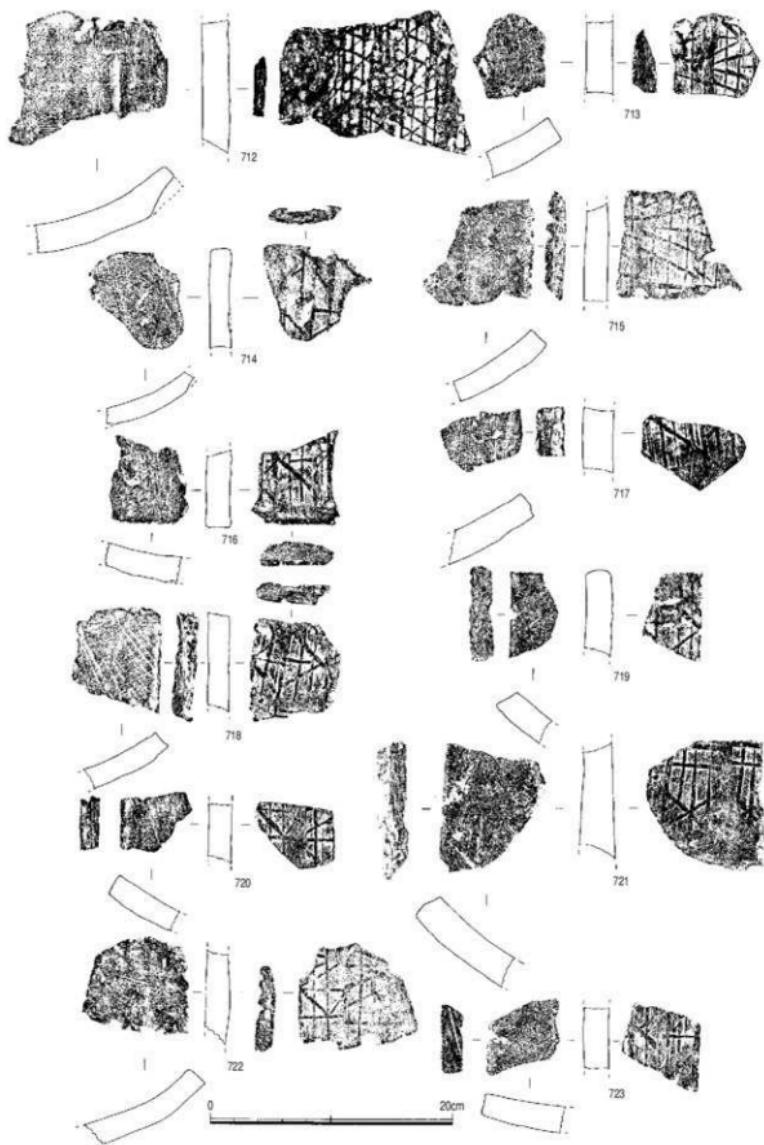


Fig. 56 包含層出土瓦実測図 2 (1/4)

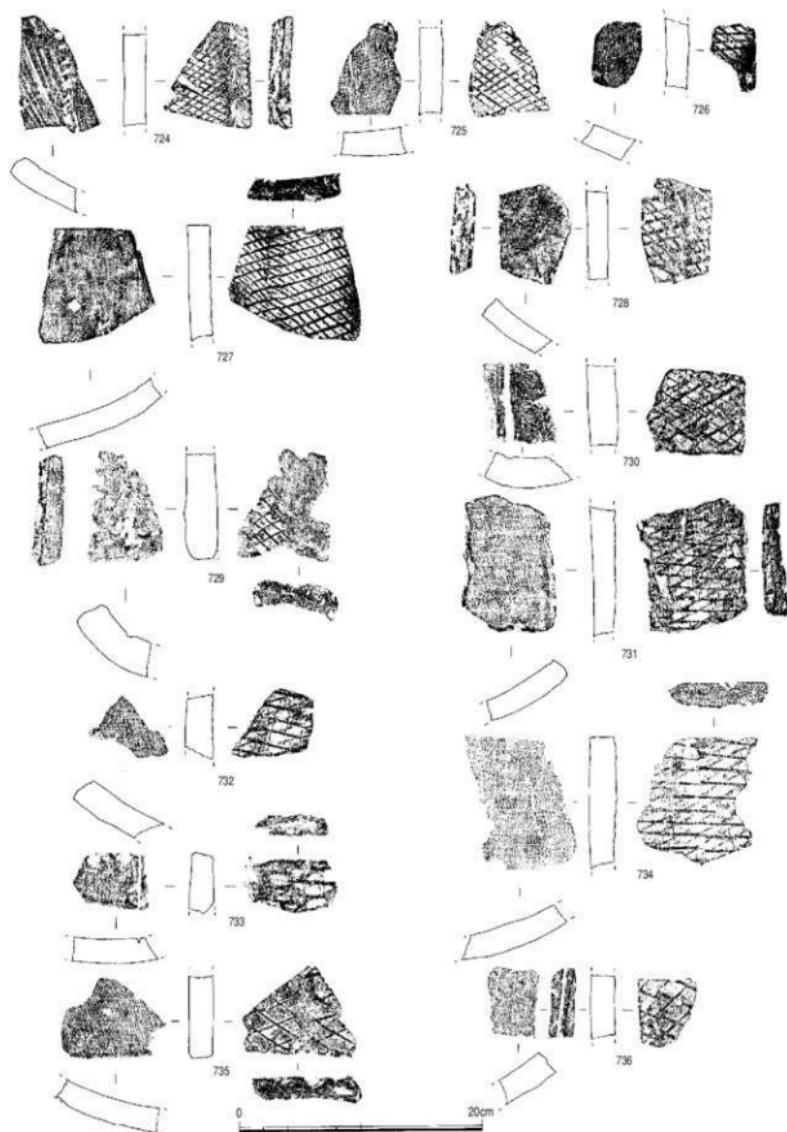


Fig. 57 包含層出土瓦実測図 3 (1/4)

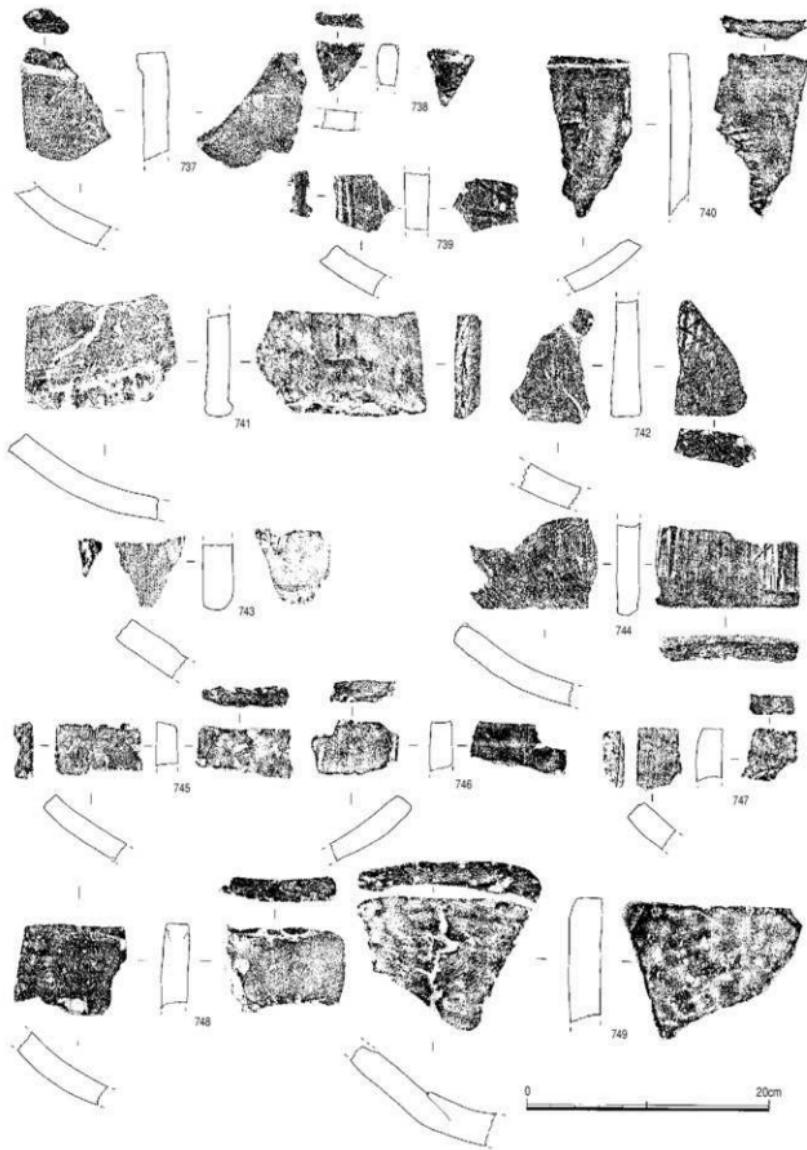


Fig. 58 包含層出土瓦実測図 4 (1/4)

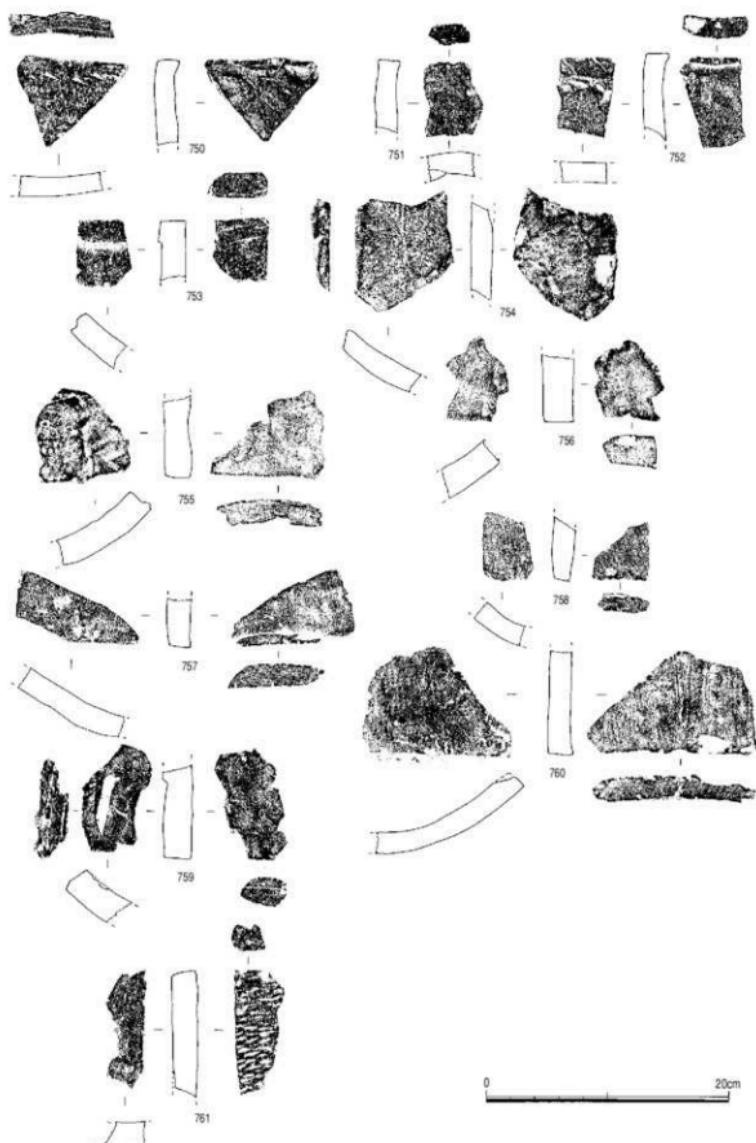


Fig. 59 包含層出土瓦実測図 5 (1/4)

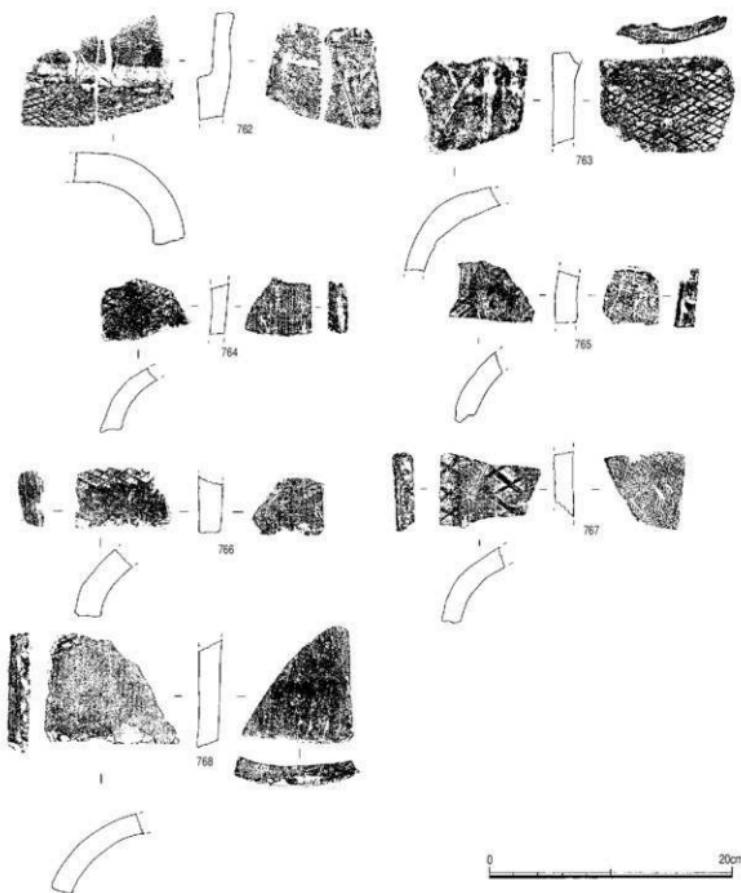


Fig. 60 包含層出土瓦実測図 6 (1/4)

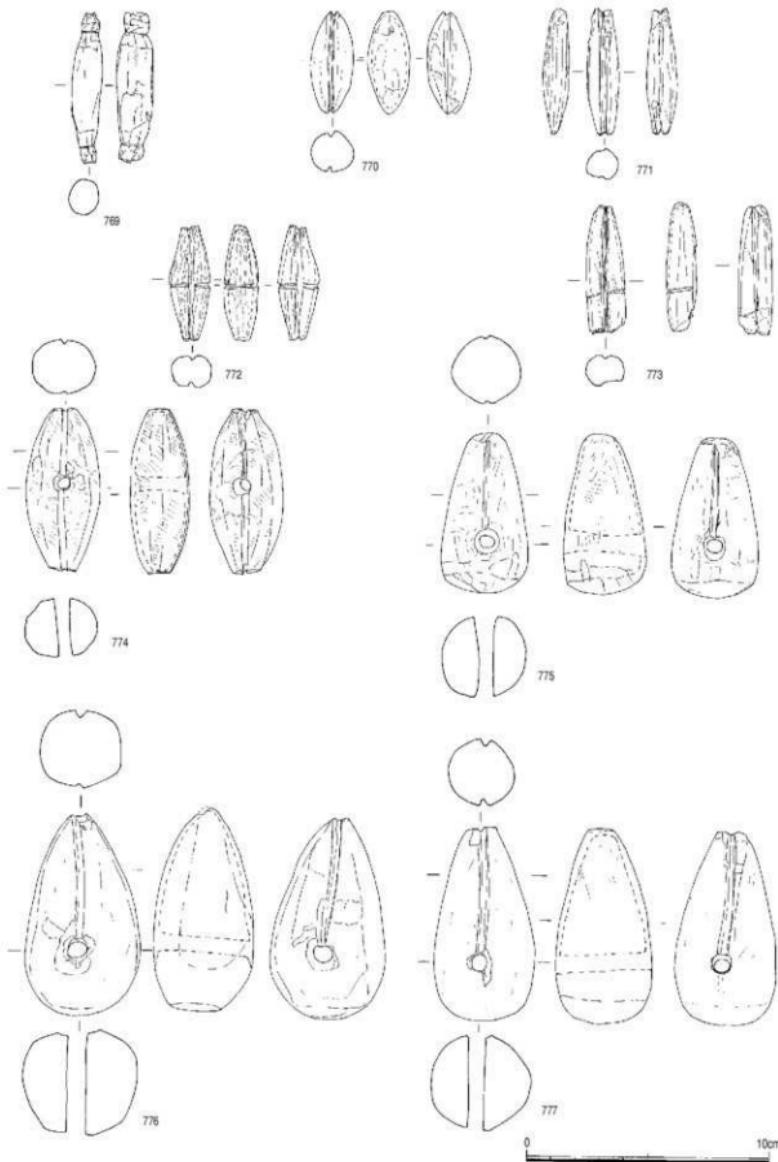


Fig. 61 SD003 及び包含層出土石器実測図 1 (1/2)

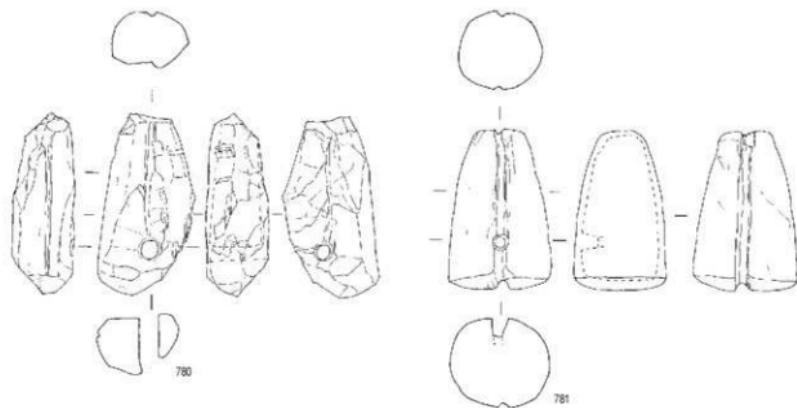
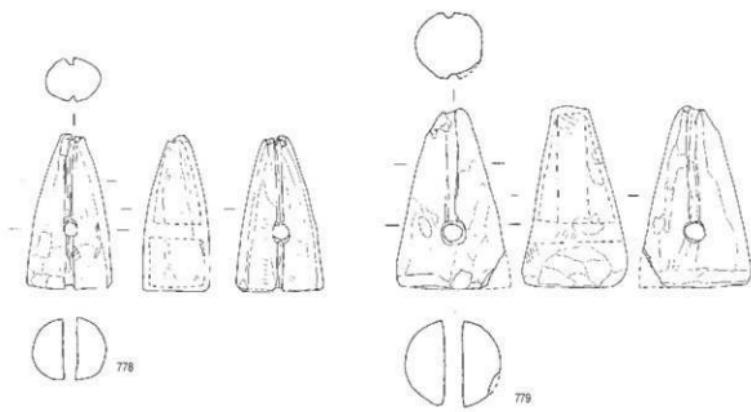


Fig. 62 SD003 及び包含層出土石器実測図 2 (1/2)

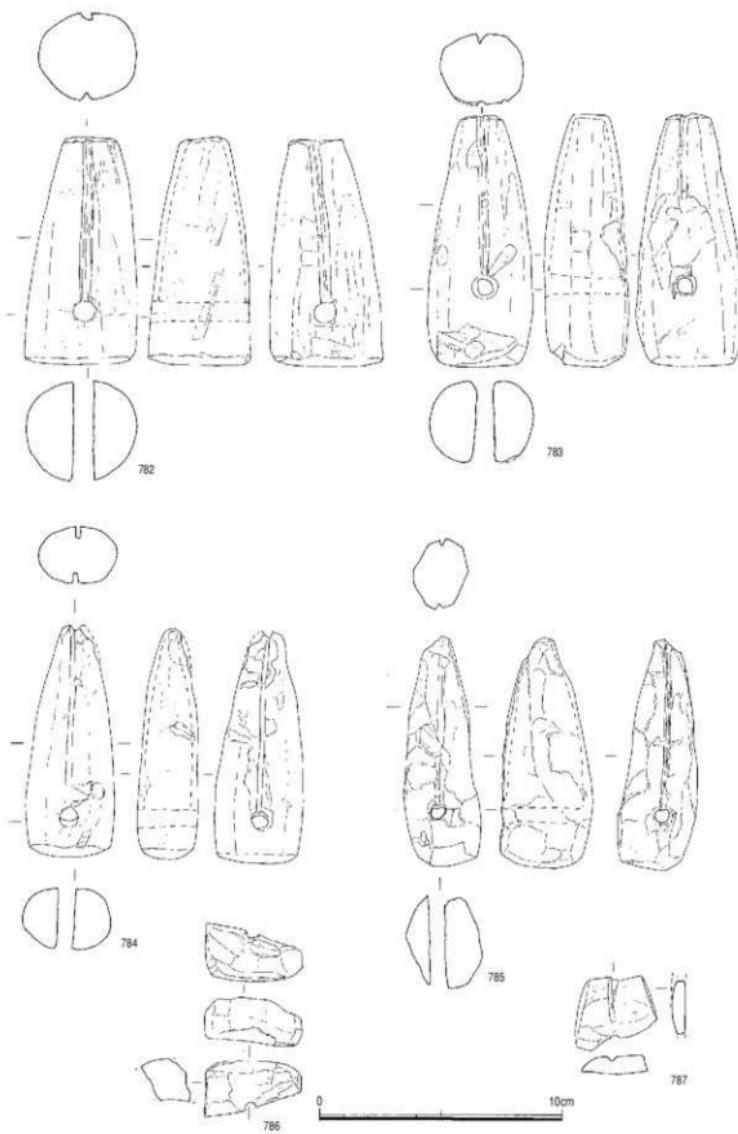


Fig. 63 SD003 及び包含層出土石器実測図 3 (1/2)

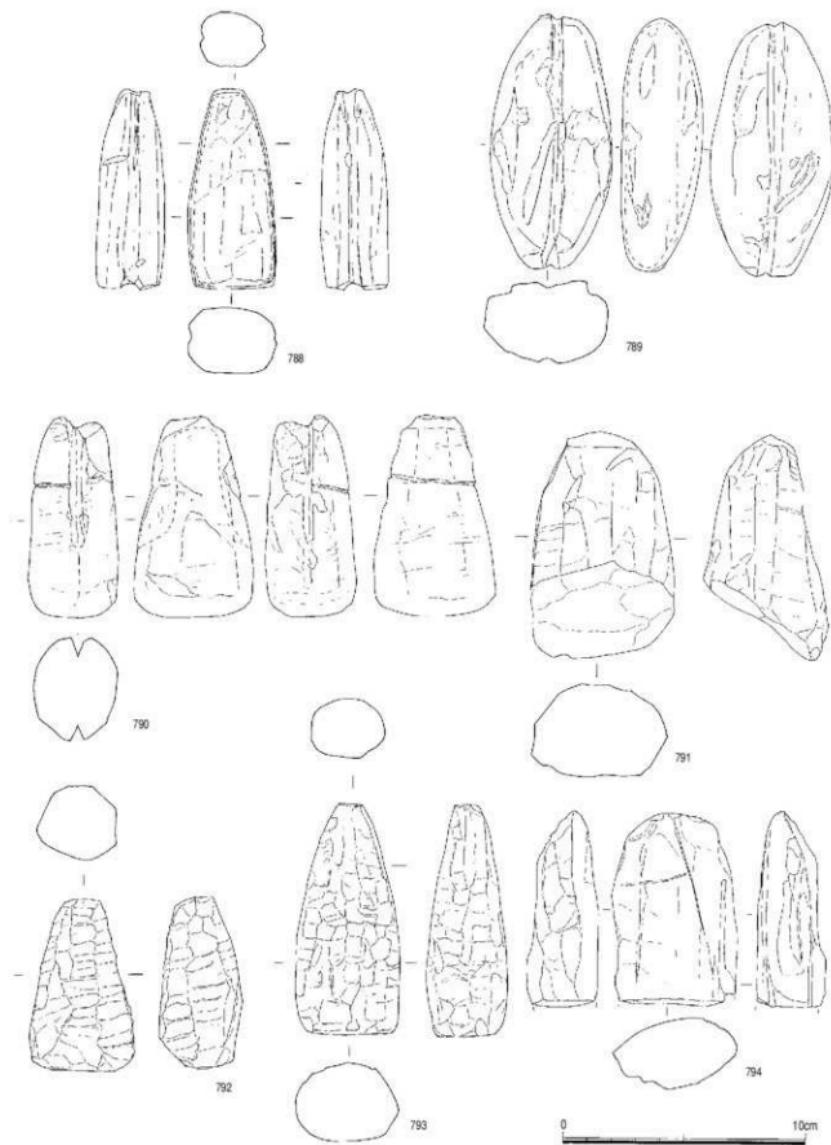


Fig. 64 SD003 及び包含層出土石器実測図 4 (1/2)

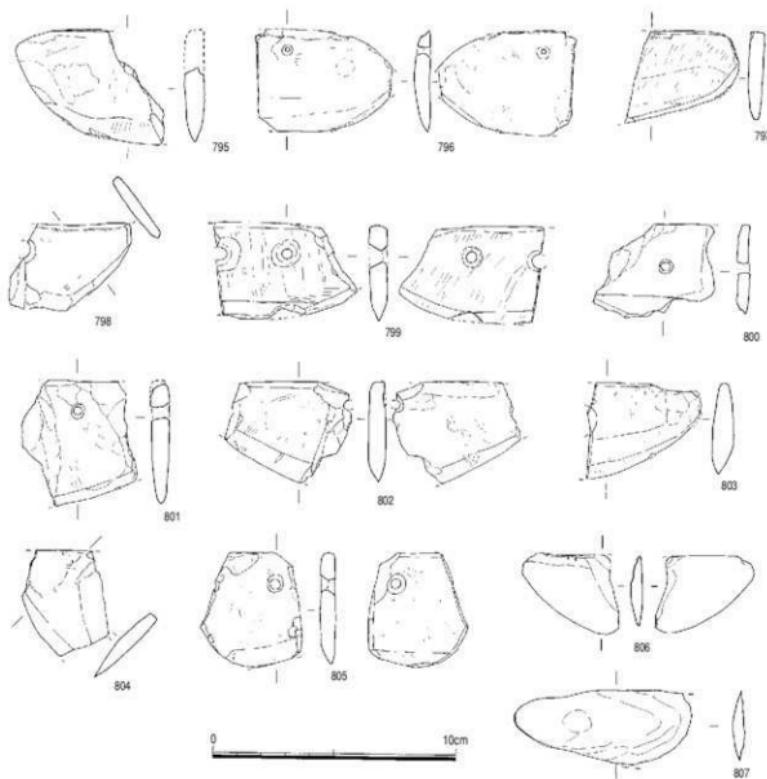


Fig. 65 SD003 及び包含層出土石器実測図 5 (1/2)

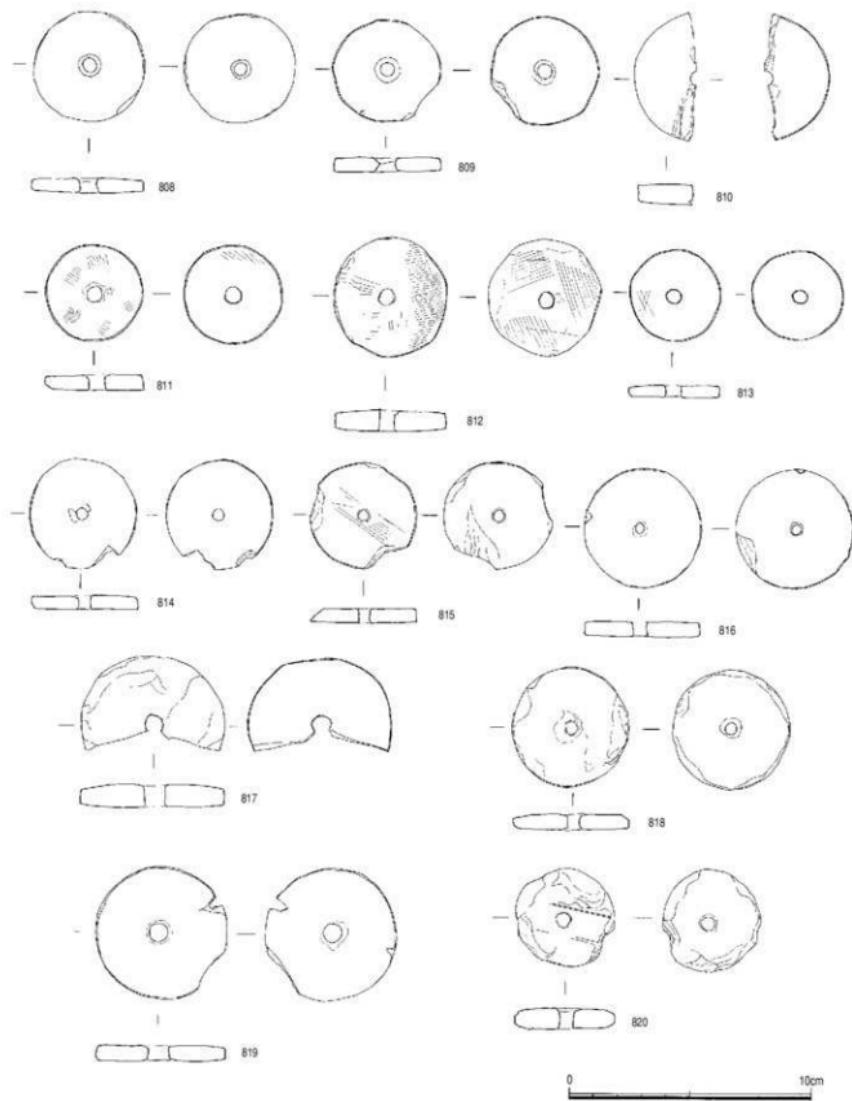


Fig. 66 SD003 及び包含層出土石器実測図 6 (1/2)

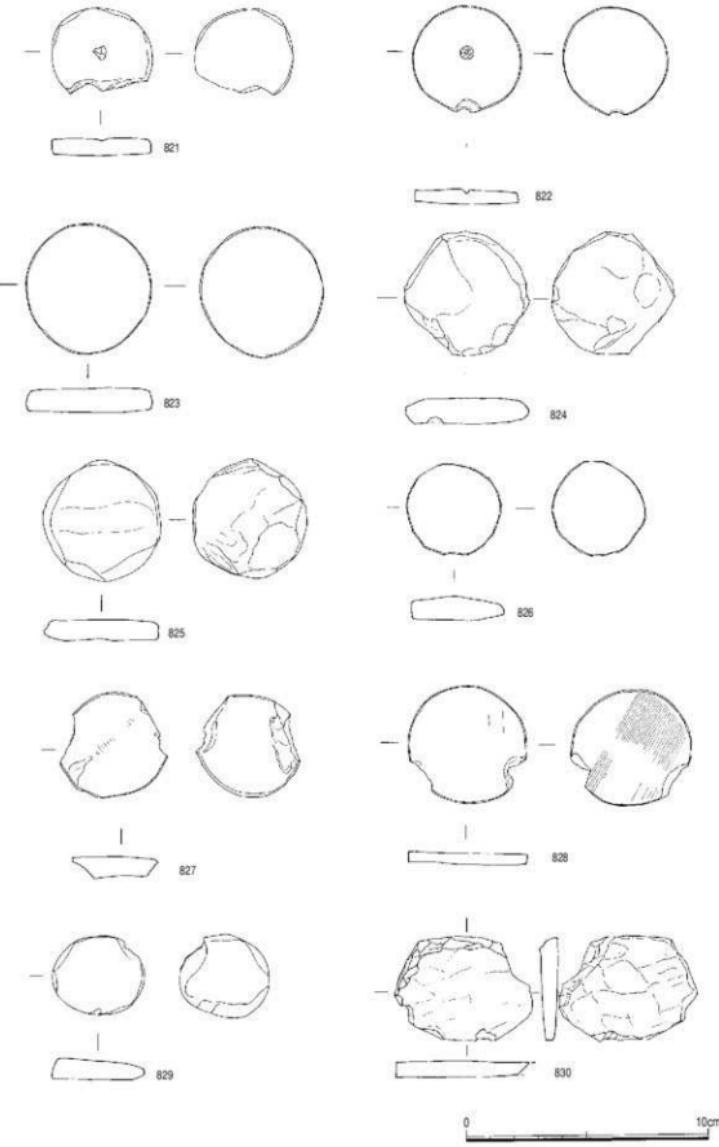


Fig. 67 SD003 及び包含層出土石器実測図 7 (1/2)

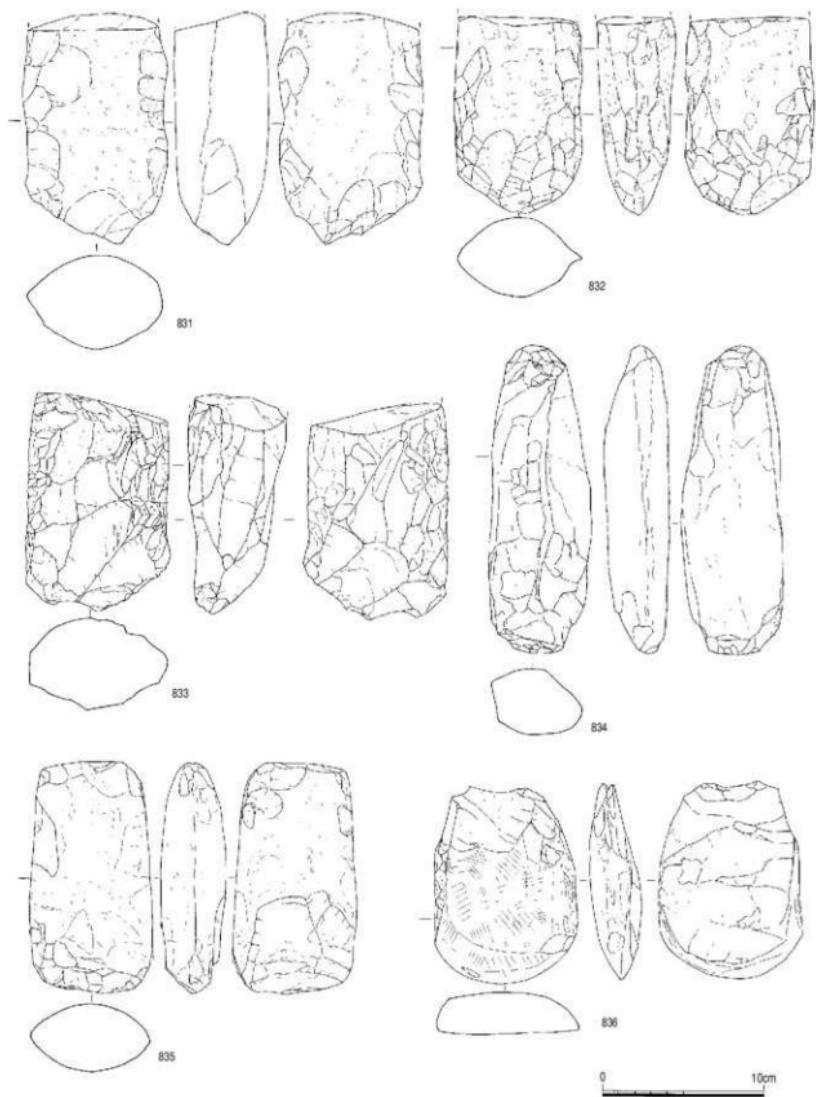


Fig. 68 SD003 及び包含層出土石器実測図 8 (1/3)

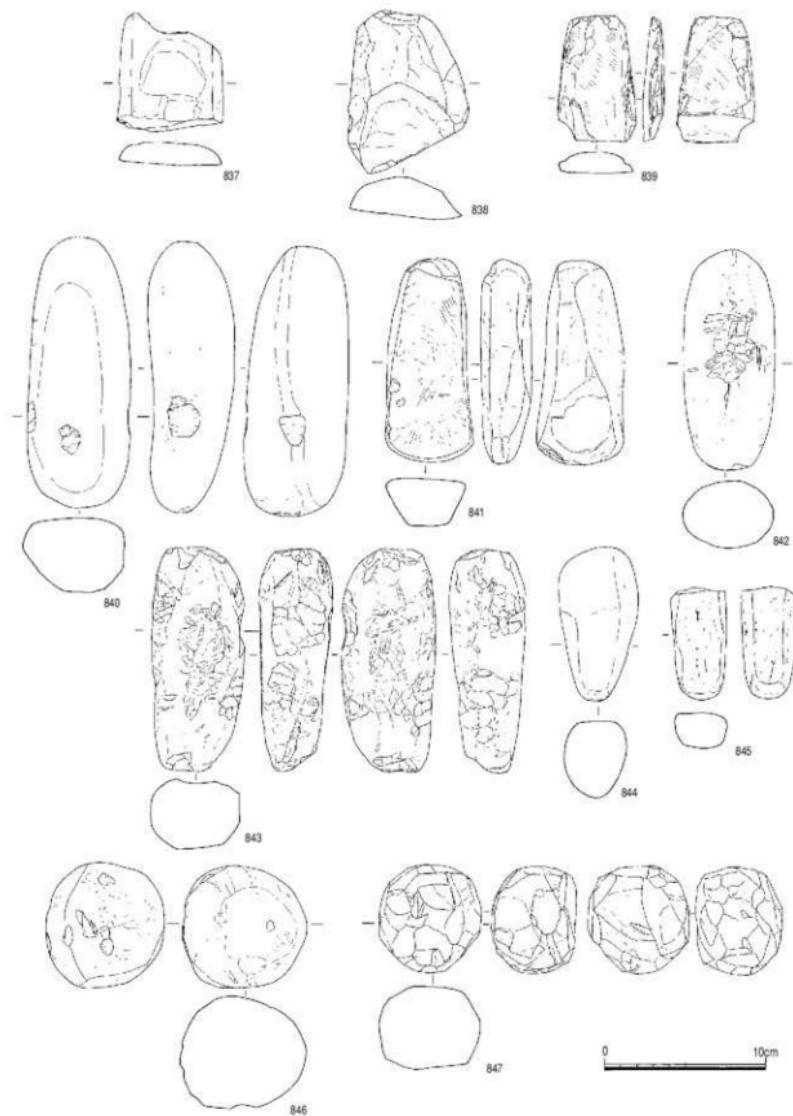


Fig. 69 SD003 及び包含層出土石器実測図 9 (1/3)

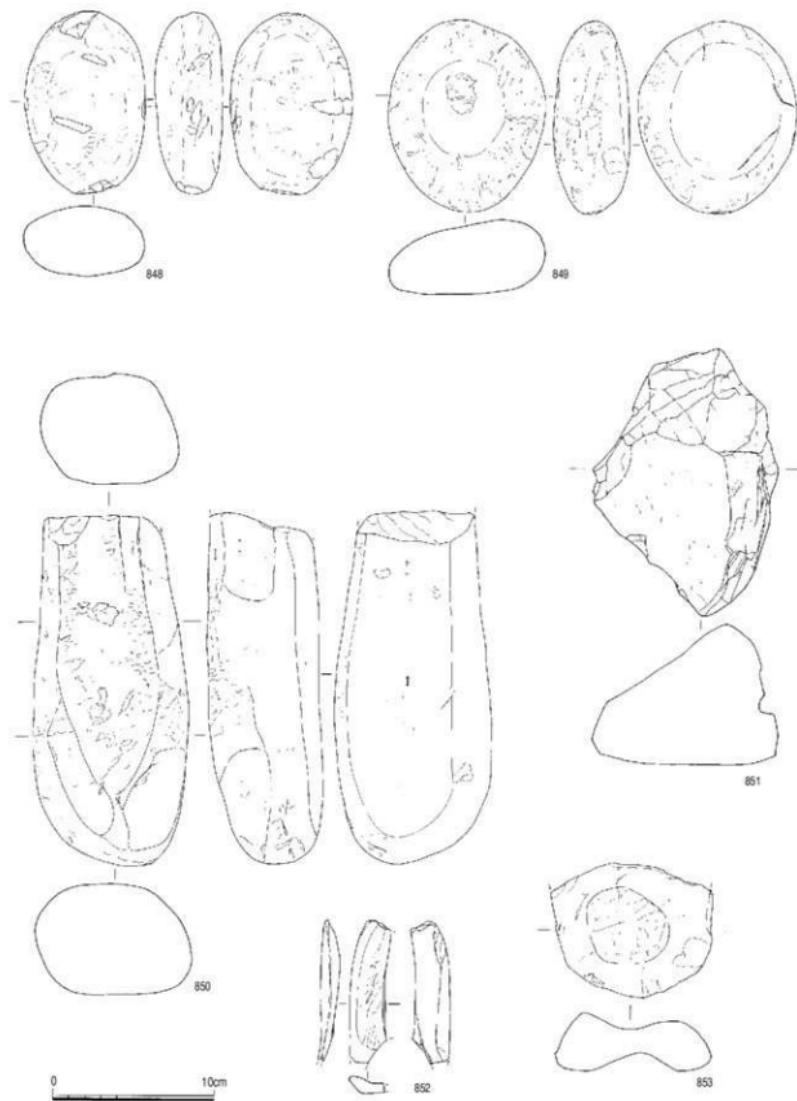


Fig. 70 SD003 及び包含層出土石器実測図 10 (1/3)

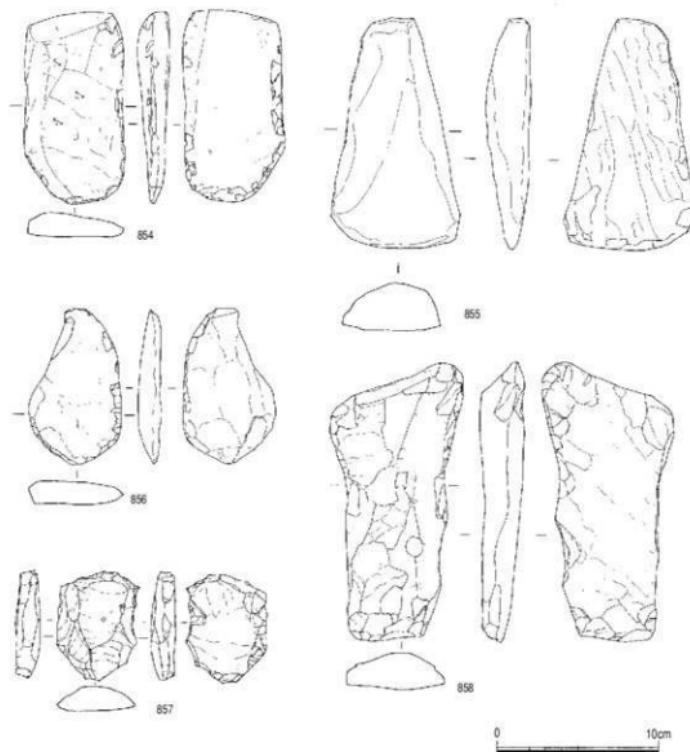


Fig. 71 SD003 及び包含層出土石器実測図 11 (1/3)

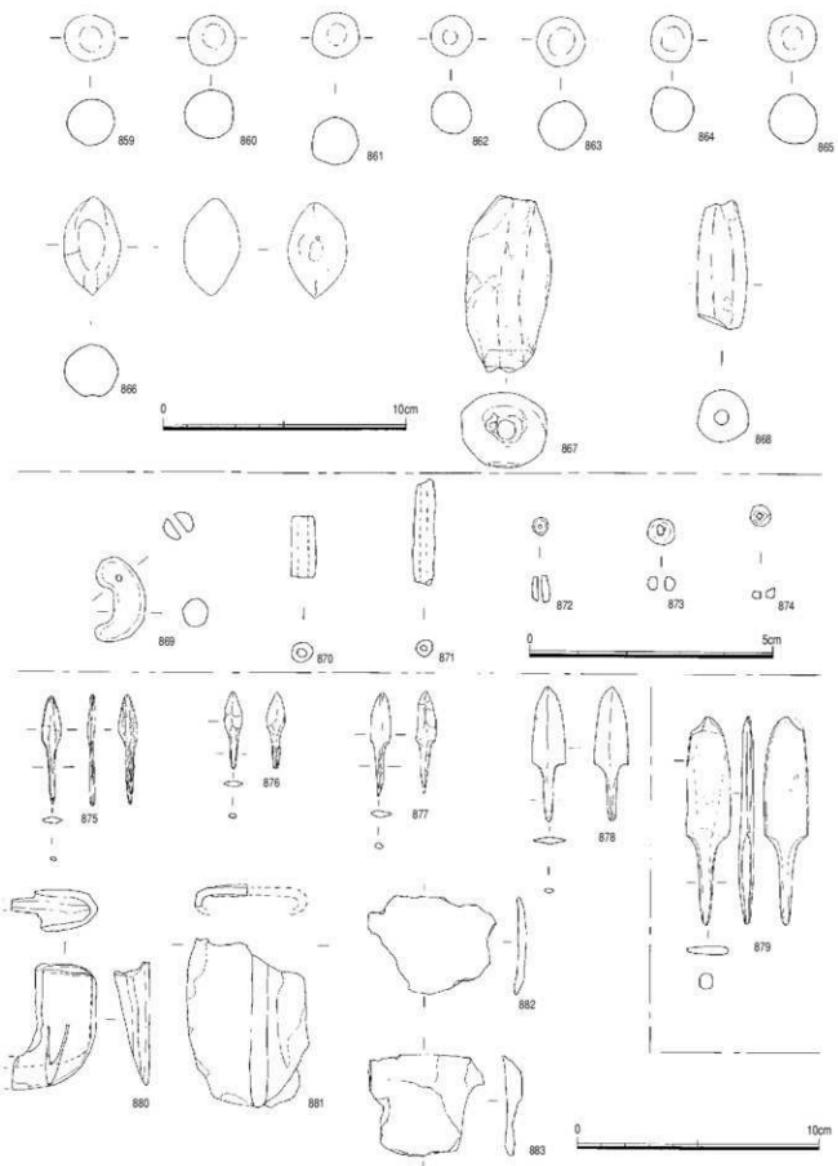


Fig. 72 SD003 及び包含層出土土製品、石製品、金属製品他実測図 (1/1, 1/2)

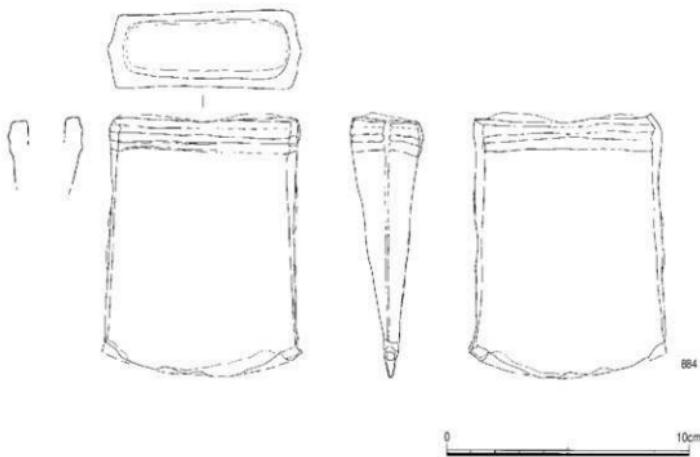
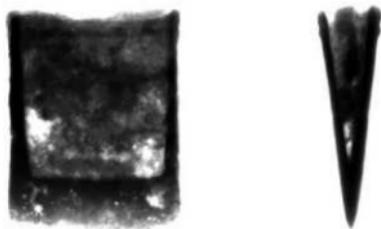


Fig. 73 SD003 出土铸造铁斧実測図 (1/2)



铸造铁斧X線写真 (左:平面、右:侧面)

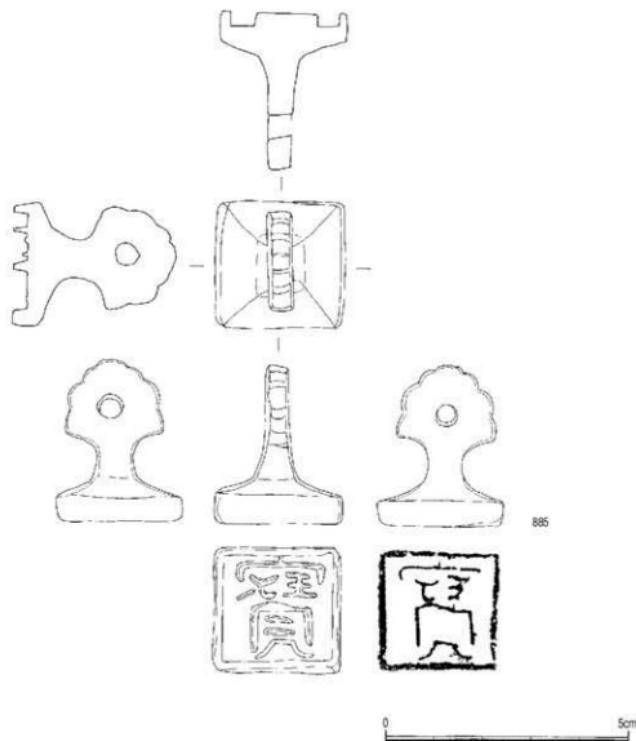
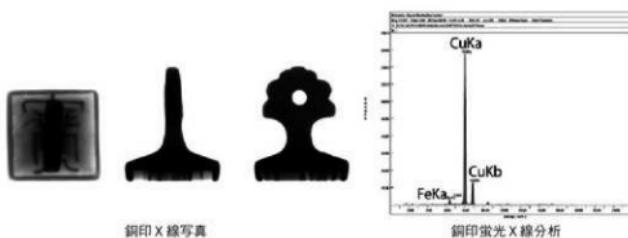


Fig. 74 包含層出土銅印実測図（1/1）



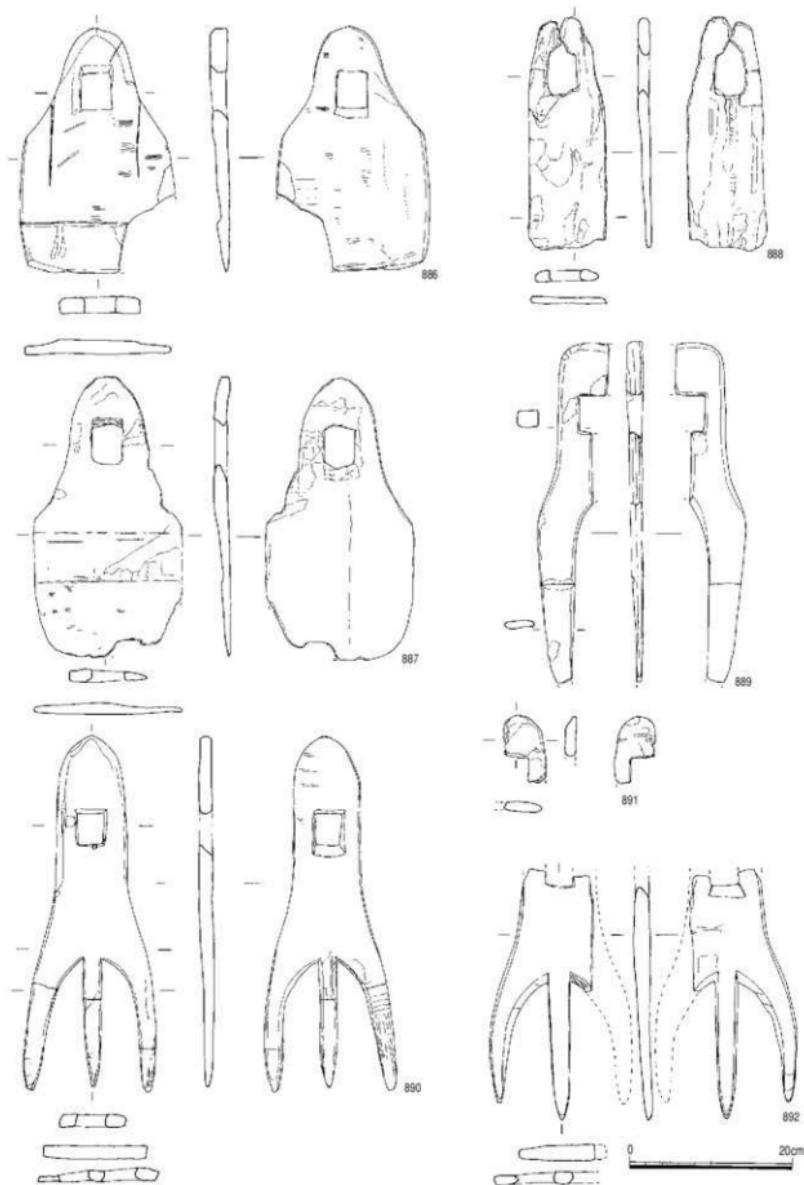


Fig. 75 SD003 出土木器実測図 1 (1/6)

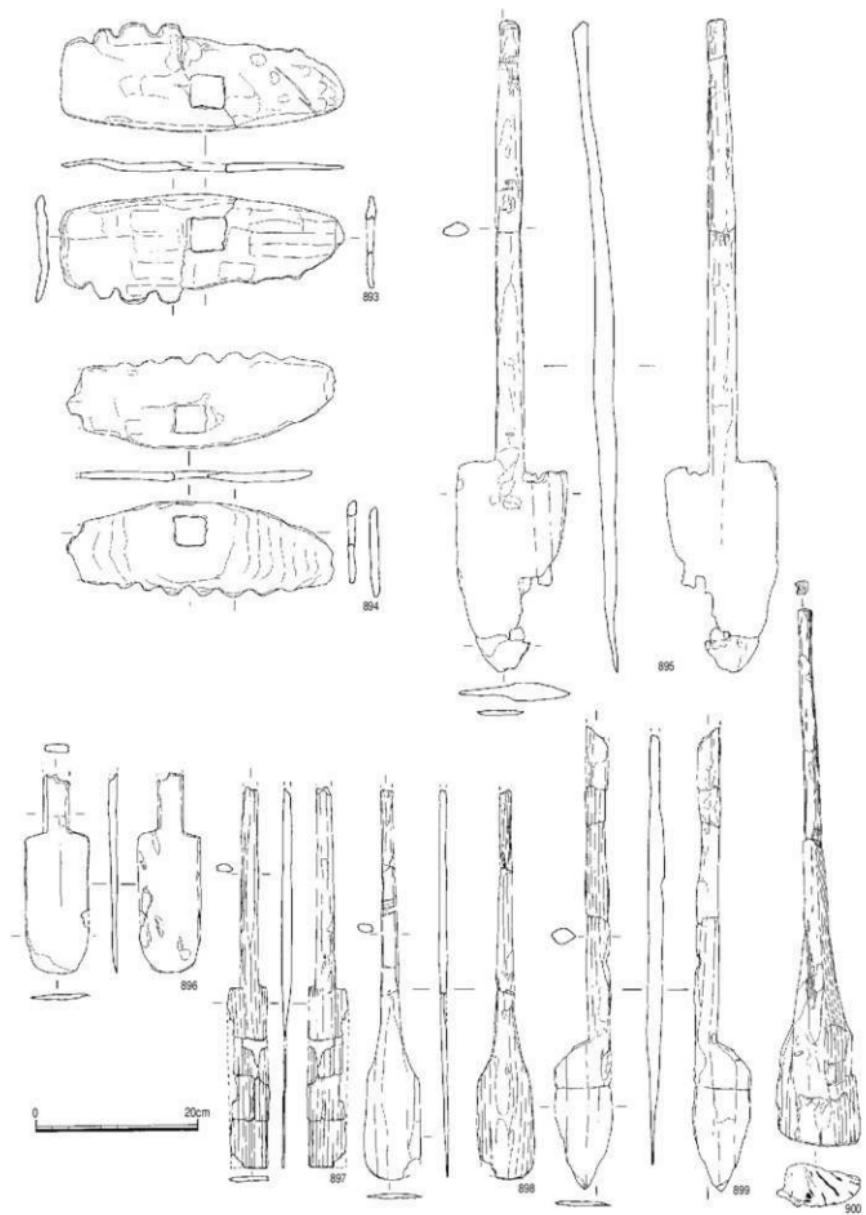


Fig. 76 SD003 出土木器実測図 2 (1/6)

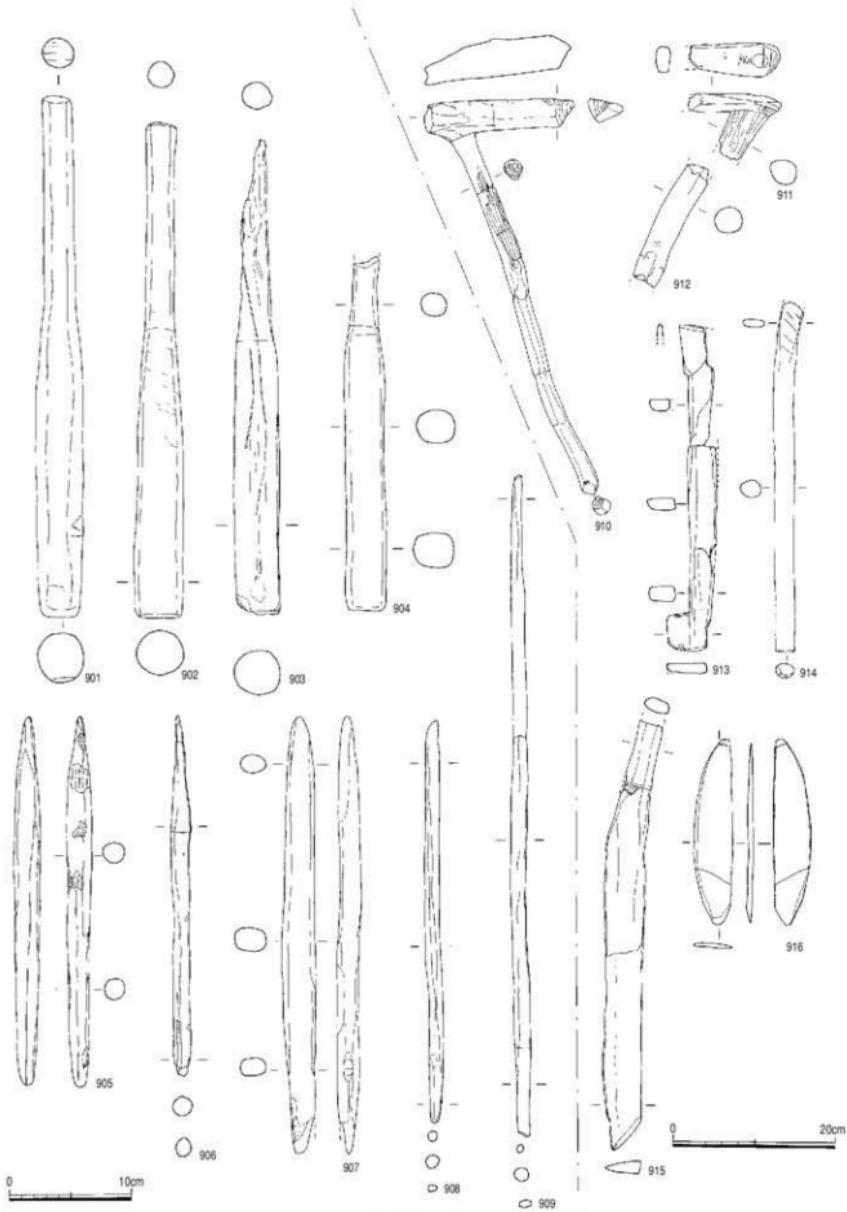


Fig. 77 SD003 出土木器実測図 3 (1/4, 1/6)



Fig. 78 SD003 出土木器実測図 4 (1/4、1/6)

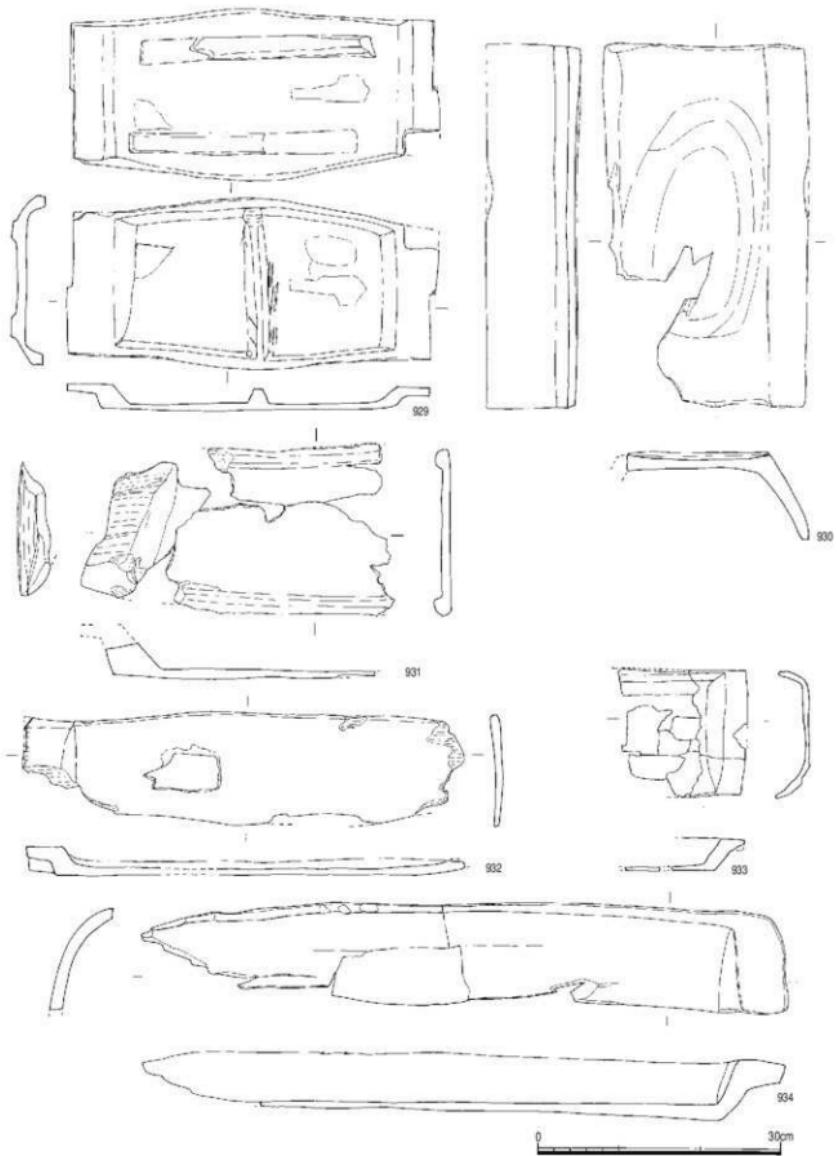


Fig. 79 SD003 出土木器実測図 5 (1/6)

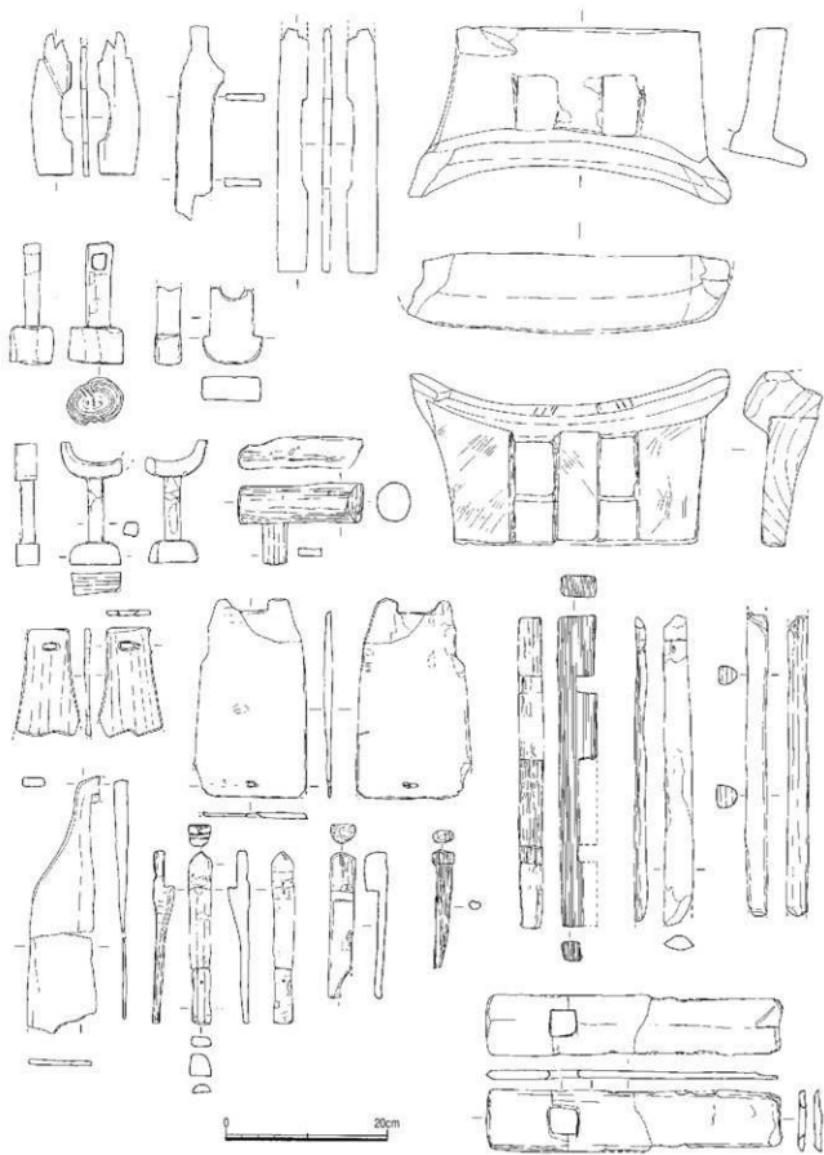


Fig. 80 SD003 出土木器実測図 6 (1/6)

出土物類別表

件名 (FIG.)	図版 (PL.)	番号	地区・層位・遺構	遺物の種類	器形	法量 (高・口径・底径・ 長さ・幅・厚さ)(cm)	特徴
6	18	1	A3 003 1層上面	陶生土器	壺	-26.0--	口縁一部削片、色調は灰・褐色
6		2	A3 003 1層上面	陶生土器	壺	-43.2--	口縁一部削片、大型品、口縁外周に断面三角形の突起、色調は灰・褐色
6	18	3	A3 003 1層上面	陶生土器	壺	-19.2--	口縁一部削片、大型品、口縁外周に断面三角形の突起、色調は灰・褐色
6	18	4	A3 003 1層上面	陶生土器	壺	-30.2--	口縁一部削片、口縁外周に断面台形の突起、突起と口縁内側に舟型の痕跡、色調は灰・褐色
6		5	A3 003 1層上面	陶生土器	壺	-1--8.2	口縁欠損、色調は褐色
6	6	A3 003 1層上面	陶生土器	壺	-1--7.3	直部片、色調は褐色	
6	7	A3 003 1層上面	陶生土器	壺	-1--6.5	直部片、色調は褐色	
6	8	A3 003 1層上面	陶生土器	壺	-1--6.5	直部片、色調は褐色	
6	9	A3 003 1層上面	陶生土器	壺	-1--7.8	直部片、色調は褐色	
6	10	A3 003 1層上面	陶生土器	壺	-1--/-	複合口縁片、色調は浅褐色	
6	11	A3 003 1層上面	陶生土器	壺	-14.3--	直部欠損、底部下半に打ち欠き、外周に舟型	
6	12	A3 003 1層上面	陶生土器	器合	-4.2--	直部欠損、色調は浅黄褐色	
6	18	13	A3 003 1層上面	陶生土器	器合	11.6/9.2/10.8	口縁一部欠損、色調は褐色
6		14	A3 003 1層上面	陶生土器	器合	18.7/10.2/15.9	直部一部欠損、色調は灰・褐色
9	15	A3 003 1層上面	陶生土器	壺	-1--23.3	断面片、瓶頸に3+2式内側の透かし孔、外周に舟型	
9	16	A3 003 1層上面	陶生土器	壺	-1--29.5	断面片、瓶頸に円形の透かし孔、色調は灰・褐色	
9	18	17	A3 003 1層上面	陶生土器	壺	-1--21.8	断面片、瓶頸付近に4個の円形の透かし孔、色調は褐色
9	18	A3 003 1層	陶生土器	壺	-28.0--	口縁一部削片、瓶先口縁、口縁外周に断面三角形の突起、外周に舟型	
9	18	19	A3 003 1層	陶生土器	壺	28.2/22.7/5.9	口縁一部削片、色調は浅褐色
9	18	20	A3 003 1層	陶生土器	壺	30.5/20.2/7.0	口縁一部削片、色調は灰・褐色
9	21	A3 003 ベルト 1層	陶生土器	壺	-1--7.0	口縁欠損、色調は灰褐色	
9	22	A3 003 1層	陶生土器	壺	-1--9.5	直部片、色調は灰・褐色	
9	23	A3 003 ベルト 1層	陶生土器	壺	-1--7.3	直部片、色調は灰・褐色	
9	24	A3 003 1層	陶生土器	壺	-1--8.0	直部片、外周に舟型	
9	25	A3 003 1層	陶生土器	壺	-1--7.3	直部片、色調は灰褐色	
9	26	A3 003 ベルト 1層	陶生土器	壺	-1--8.0	直部片、色調は灰褐色	
9	27	A3 003 1層	陶生土器	壺	-1--8.1	直部片、色調は灰・褐色	
9	28	A3 003 1層	陶生土器	壺	-1--8.6	直部片、色調は褐色	
9	29	A3 003 1層	陶生土器	壺	-1--7.1	直部片、色調は灰褐色	
10	18	30	A3 003 1層	陶生土器	壺	-20.5--	口縁一部削片、口縁底部に舟型
10	31	A3 003 1層	陶生土器	壺	-1--24.2--	口縁一部削片、瓶頸に断面三角形の突起、色調は褐色	
10	32	A3 003 1層	陶生土器	壺	-30.6--	瓶先口縁片、瓶頸の上下に斜め目、外周と口縁内側に舟型	
10	33	B3 003 1層	陶生土器	壺	-37.0--	口縁一部削片、瓶先口縁、瓶頸に斜め目、色調は灰・褐色	
10	18	34	A3 003 1層	陶生土器	壺	-41.0--	口縁一部削片、大型品、口縁底部に1ケタずつ段階による斜め目、内側に断面三角形の突起、色調は灰・褐色
10	35	A3 003 1層	陶生土器	壺	-35.2--	複合口縁片、口縁外周に舟型の痕跡、色調は褐色	
10	18	36	A3 003 1層	陶生土器	壺	-1--10.0	瓶頸一部削片、外側に断面台形の突起が1条ある、色調は灰・褐色
10	37	A3 003 ベルト 1層	陶生土器	壺	-1--9.6	直部片、色調は灰褐色	
10	38	A3 003 1層	陶生土器	壺	-1--4.8	直部片、外周に舟型	
10	39	A3 003 1層	陶生土器	壺	-1--8.3	直部片、瓶頸下半に拵成後の穿孔、色調は浅褐色	
10	40	A3 003 1層	陶生土器	壺	-1--16.7--	天井部欠損、口縁に2個の穴、色調は褐色	
10	18	41	A3 003 1層	陶生土器	器合	12.5/8.5/8.5	口縁一部欠損、色調は褐色
11	42	A3 003 ベルト 1層	陶生土器	器合	19.6/12.0/13.3	口縁一部一部欠損、色調は灰・褐色	
11	18	43	A3 003 1層	陶生土器	器合	7.7/7.5/9.1	瓶先底片、口縁は傾いている、色調は浅黄褐色
11	44	A3 003 1層	陶生土器	器合	-1--11.8	口縁欠損、色調は灰・褐色	
11	18	45	A3 003 1層	陶生土器	器合	-1--11.7	口縁欠損、色調は褐色
11	18	46	A3 003 ベルト 1層	陶生土器	器合	-1--11.6	口縁欠損、色調は褐色
11	18	47	A3 003 1層	陶生土器	壺	-1--/-	瓶頸片、瓶先口縁、内側に舟型
11	48	A3 003 1層	陶生土器	壺	-29.6--	瓶頸片、瓶先口縁、内外側に舟型	

## 出土遺物調査書

地図 (FIG.)	図版 (PL.)	番号	地区・層位・遺構	遺物の種類	器形	法量 (高さ・口径・底径・ 長さ・幅・厚さ(cm))	特徴
11	18	49	A3 003 ベント 1層	陶生土器	高杯	-/-8.9	直縁片、色調は褐色
11	50	A3 003 ベント 1層	陶生土器	鉢	-/23.5/-	直縁片の外の凹凸性あり、外面に丹波り	
11	51	A3 003 1層	陶生土器	高杯	-/-/-	直縁片、瓶底に円形の孔、色調は褐色	
11	18	52	A3 003 1層	陶生土器	ミニチュア土器	8.4×5.0×4.0	直縁片、高脚片、色調は灰褐色
11	53	A3 003 1層下層	陶生土器	盤	-/-8.3	直縁片、色調は褐色	
11	54	A3 003 1層下層	陶生土器	盤	-/-8.5	直縁片、色調は灰褐色	
11	55	A3 003 レンジ5 1層下層	陶生土器	盤	-/-/-	口縁と瓶底文様、外面に丹波り	
11	56	A3 003 レンジ5 1層下層	陶生土器	高杯	-/34.8/-	瓶底片、口縁は内側に直角、色調は褐色	
12	57	A3 003 2層	陶生土器	盤	-/-9.0	直縁片、瓶底に凹凸の穿孔、色調は灰褐色	
12	58	A3 003 2層	陶生土器	盤	-/-8.5	直縁片、色調は灰褐色	
12	59	A3 003 2層	陶生土器	盤	-/-8.7	直縁片、直縁片、外面に丹波り	
12	60	A3 003 2層	陶生土器	盤	-/-8.2	口縁文様、外面に丹波り、色調は灰白色	
12	61	A3 003 2層	陶生土器	盤	-/14.4/-	直縁片口縁片、瓶底片、外面三角形の突起、外面に丹波り	
12	62	A3 003 2層	陶生土器	盤	-/26.7/-	口縁～瓶底片、外面は丹波り	
12	63	A3 003 2層	陶生土器	盤	-/43.7/-	口縁～瓶底片、瓶底片に斜め線、口縁底部に斜め線、口縁上部に丹波りの痕跡、色調は褐色	
12	64	A3 003 2層	陶生土器	盤	-/-8.4	口縁文様、色調は灰褐色	
12	65	A3 003 2層	陶生土器	ミニチュア土器	5.3×9.5×4.1	口縁文様、瓶底に斜め線、色調は灰褐色	
12	66	A3 003 2層	陶生土器	鉢	-/2.8×5.7	浅ば広形、口縁底部に打ち込み	
12	67	A3 003 2層	陶生土器	盤	-/7.2/-	口縁欠損、色調は灰褐色	
12	68	A3 003 2層	陶生土器	高台	11.2×11.3×12.0	浅ば広形、色調は灰褐色	
13	69	B3 003 1層上面	陶生土器	盤	-/-14.0/-	口縁～瓶底片、色調は灰褐色	
13	70	B3 003 1層上面	陶生土器	盤	-/-/-	口縁～瓶底片々々、小斜丸足底、色調は褐色	
13	71	B3 003 レンジ2 GL~30cm 溝上面	陶生土器	盤	34.3×29.2×1	口縁～瓶底片、色調は灰褐色	
13	72	B3 003 1層上面	陶生土器	盤	-/-6.9	直縁片、色調は褐色	
13	73	B3 003 1層上面	陶生土器	盤	-/-7.2	直縁片、色調は灰褐色	
13	74	B3 003 1層上面	陶生土器	盤	-/-16.0	直縁片、直縁片、色調は灰褐色	
13	75	B2 003 レンジ3 (GL~0~20cm)	陶生土器	盤	-/-/-	口縁片、瓶底に斜め線、瓶底内系、色調は灰褐色	
13	76	B2 003 レンジ3 (GL~0~20cm)	陶生土器	盤	-/-/-	口縁片、上下に張掛する口縁、瓶底に斜め線、色調は灰褐色	
13	77	B3 003 1層上面	陶生土器	鉢	-/-4.0	口縁～瓶底片、斜め線	
13	78	B3 003 1層上面	陶生土器	鉢	5.2×14.5/-	口縁～瓶底片、内面の斜壁ナデ、色調は灰褐色	
13	79	B3 003 レンジ2 GL~30cm 溝上面	陶生土器	ミニチュア土器	-/-/-	約子形小製品の把手か、色調は灰褐色	
13	80	B2 003 2層	陶生土器	高台	10.9×8.6×10.5	浅ば広形、色調は赤色	
13	81	B3 003 1層上面	陶生土器	高台	10.5×11.0×7.0	浅ば広形、色調は灰褐色	
13	82	B2 003 レンジ3 (GL~0~20cm)	陶生土器	高台	-/-/19.7	口縁欠損、大型品、色調は褐色	
13	83	B2 003 ベント 1層上面	陶生土器	支輪	13.8×7.5×14.5	浅ば広形、器型の支柱、外面に平行タテリ、色調は灰褐色	
13	84	B3 003 1層上面	陶生土器	高杯	-/-/-	直縁片、瓶底に円形の透かし、色調は褐色	
13	85	B3 003 1層上面	陶生土器	高杯	-/-/-	直縁片、瓶底に円形の透かし、色調は褐色	
14	86	B3 003 1層	陶生土器	盤	21.0×18.5×8.5	口縁～瓶底片、色調は褐色	
14	87	B3 003 1層	陶生土器	盤	-/24.5/-	口縁～瓶底片、外面に丹波り	
14	88	B3 003 1層	陶生土器	盤	-/30.4/-	口縁片、口縁底部に斜め線、外面に斜面二角形の突起、色調は灰褐色	
14	89	B2 003 1層	陶生土器	盤	-/-4.6	直縁片、色調は灰褐色	
14	90	B3 003 1層	陶生土器	盤	-/-7.0	直縁片、色調は灰褐色	
14	91	B3 003 1層	陶生土器	盤	-/-5.6	直縁片、色調は褐色	
14	92	B3 003 1層	陶生土器	盤	-/-8.1	直縁片、色調は灰褐色	
14	93	B3 003 1層	陶生土器	盤	-/-8.5	直縁片、色調は褐色	
14	94	B3 003 1層	陶生土器	盤	-/-8.6	直縁片、色調は灰褐色	
14	95	B3 003 1層	陶生土器	盤	-/-7.5	直縁片、色調は褐色	
14	96	B3 003 1層	陶生土器	盤	-/-7.3	直縁片、色調は褐色	

出土遺物総観表

件名 (FIG.)	団版 (PL.)	番号	地区・層位・遺構	遺物の種類	器形	法量 (高・口径・底径・ 高さ・厚さ(cm))	特徴
14	87	B3 003 1層	衛生土器	壺	—~16.0	直腹片、色調は褐色	
14	98	B2 003 1層	衛生土器	壺	—~17-	直腹片、色調は浅黃褐色	
14	99	B2 003 1層	衛生土器	壺	—~18.9	直腹片、底面に桃或後穿孔、色調はにい黄色	
14	100	B2 003 1層	衛生土器	壺	—~7.7	直腹片、直面に桃或後穿孔、色調はにい褐色	
14	101	B3 003 1層	衛生土器	壺	—~19.0	直腹片、底面に桃或後穿孔、色調は褐色	
15	102	B3 003 1層	衛生土器	壺	—27.2~-	口縁一部断片、陶器口縁、器底に前面三角形の突起、色調はにい黄色	
15	103	A3 003 1層	衛生土器	壺	—40.0~-	口縁一部断片、陶器口縁、器底に刻み目、色調は明暗灰色	
15	104	B3 003 1層	衛生土器	壺	4.6/17.2~-	約10個孔、色調は褐色	
15	105	B2 003 1層	衛生土器	附付鉢	—~17.4	網足、色調は褐色	
15	106	B2 003 1層	ニチュア土器	5.7/8.3/4.2	ほぼ完形、手づくね、色調は浅黃褐色		
15	107	B3 003 1層	衛生土器	鉢	7.9/9.3/4.6	ほぼ完形、色調は褐色	
15	108	B3 003 1層	衛生土器	鉢	10.5/11.0/4.8	ほぼ完形、色調は褐色	
15	109	B3 003 1層	衛生土器	鉢	9.9/11.1/5.5	口縁一部欠損、外側に舟型	
15	110	B2 003 1層	約子形土製品	—~—	手す基盤、内面に丹波の痕跡		
15	111	B3 003 1層	衛生土器	器台	12.0/11.0/12.5	ほぼ完形、色調はにい褐色	
15	112	B3 003 1層	衛生土器	器台	16.0/11.0/13.3	口縁一部断片、色調はにい褐色	
15	113	B3 003 1層	衛生土器	高杯	—~20.0	網足、瓶底に4角形の突起、色調は褐色	
15	114	B2 003 1層下層a群	衛生土器	壺	—25.5~-	口縁一部断片、色調はにい褐色	
15	115	B2 003 1層下層a群	衛生土器	壺	—25.5~-	口縁一部断片、色調はにい褐色	
16	116	B2 003 1層下層a群	衛生土器	器台	7.3/6.9/8.9	口縁一部欠損、色調は褐色	
16	117	B2 003 1層下層a群	衛生土器	器台	14.0/11.6/13.6	直部一部欠損、外側に舟型	
16	118	B2 003 1層下層a群	衛生土器	器台	17.5/11.8/13.6	口縁一部断片、一部欠損、色調は浅黃褐色	
16	119	B2 003 1層下層a群	衛生土器	高杯	—28.0~-	瓶底片、口の下に圓曲、色調はにい褐色	
16	120	B2 003 1層下層a群	衛生土器	高杯	—26.7~-	瓶底片、口の下に圓曲、色調はにい褐色	
16	121	B2 003 1層下層a群	衛生土器	高杯	—~—	口縁一部、外側に舟型	
17	122	B2 003 1層下層a群	衛生土器	壺	—~6.1	直腹片、色調はにい褐色	
17	123	B2 003 1層下層a群	衛生土器	壺	—~6.7	直腹片、色調はにい褐色	
17	124	B2 003 1層下層a群	衛生土器	壺	—~7.3	直腹片、外側に舟型の痕跡、色調は灰白色	
17	125	B2 003 1層下層a群	衛生土器	壺	—~9.8	直腹片、色調はにい褐色	
17	126	B2 003 1層下層a群	衛生土器	壺	—~10.2	直腹片、各脚に4角形の突起、色調は褐色	
17	127	B2 003 2層上層	衛生土器	壺	—~—	網足、瓶底片、大型品、内面に背面台形の突起、額部外側に前面台形の2基の突起、色調はにい褐色	
17	128	B2 003 1層下層a群	衛生土器	壺	—~14.5	網足、瓶底片、大型品、瓶底下に刻み目を施した背面台形の突起、色調はにい褐色	
17	129	B2 003 1層下層a群	衛生土器	器台	—~12.9	口縁欠損、色調はにい褐色	
17	130	B2 003 1層下層a群	衛生土器	鉢	—26.3~-	直部欠損、附付の可疑性あり、外側と口縁内側に舟型	
18	131	B2 003 1層下層a群	衛生土器	壺	—32.6~-	口縁片、外側に前面三角形の突起	
18	132	B2 003 1層下層a群	衛生土器	壺	—36.4~-	口縁片、口縁基部に刻み目、外側に刻み目を施した突起	
18	133	B2 003 1層下層a群	衛生土器	壺	—~6.7	直腹片、色調は浅黃褐色	
18	134	B2 003 2層上層	衛生土器	壺	—~11.0	直腹片、色調は淡褐色	
18	20	B2 003 2層上層	衛生土器	壺	—~18.0	直腹片、底部内面に焼成前の内形のくぼみ、底部に穿孔するため、色調は褐色	
18	135	B2 003 1層下層a群	衛生土器	壺	—~19.4	口縁、底部は上層下層化し、外側に背面文を施す、色調は淡褐色、西折腰内系の痕跡有り	
18	136	B2 003 1層下層a群	衛生土器	壺	—~—	口縁欠損、色調はにい褐色	
18	137	B2 003 2層上層	衛生土器	壺	—~5.5	口縁欠損、色調はにい褐色	
18	138	B2 003 1層下層a群	衛生土器	鉢	9.8/10.9/5.5	口縁一部欠損、色調は褐色	
18	139	B2 003 2層上層	衛生土器	鉢	12.4/26.0/7.5	口縁一部欠損、器底に焼成後の穿孔、色調は褐色	
18	20	B2 003 2層上層	衛生土器	鉢	—~12.0/8.5	完整、器底に背面文を施す、色調はにい褐色	
18	20	B2 003 2層上層	衛生土器	器台	10.4/0.8/6.8	完整、直面に舟型の痕跡、色調は褐色	
18	140	B2 003 1層下層	衛生土器	器台	—~14.5	口縁欠損、色調はにい褐色	
18	20	B2 003 2層上層	衛生土器	器台	—~—	口縁欠損、色調はにい褐色	
18	20	B2 003 2層上層	衛生土器	器台	23.4/21.6/7.0	ほぼ完形、色調はにい褐色	
18	20	B2 003 1層下層	衛生土器	器台	24.4/20.2/7.6	口縁一部断片、網足上位に焼成前の窓孔、色調は多色	

## 出土遺物調査書

地図 (FIG.)	図版 (PL.)	番号	地区・層位・遺構	遺物の種類	器形	法量 (器高・口幅・底径・ 長・幅・厚さ(cm))	特徴
18	145	B2-003	1層下層	陶生土器	縦	-/-/-/-	口縁一部断片、断面左半に楕丸方形の孔
19	146	B2-003	1層下層	陶生土器	横	-/15.4/-	口縁一部断片、断面左半に楕丸方形の孔、内面に舟型の痕跡、色調は淡黄褐色
19	147	B2-003	1層下層	陶生土器	横	-/23.5/-	口縁一部断片、断面左半に楕丸方形の孔、内面に舟型の痕跡、色調は淡褐色
19	148	B2-003	ペルト 1層下層	陶生土器	縦	-/21.9/-	口縁一部断片、内外面に舟型
19	149	B2-003	ペルト 1層下層	陶生土器	縦	-/20.4/-	口縁一部断片、断面左半に楕丸方形の孔、色調は淡黄褐色
19	150	B2-003	1層下層	陶生土器	鉢形	-/20.5/-	直筋文様、色調は淡黄褐色
19	151	B2-003	ペルト 1層下層	陶生土器	縦	-/23.0/-	口縁一部断片、色調は褐色
19	152	B2-003	1層下層	陶生土器	縦	-/-/14.9	直筋片、色調は淡褐色
19	153	B2-003	ペルト 1層下層	陶生土器	縦	-/-/7.2	直筋片、色調は淡黃褐色
19	154	B2-003	ペルト 1層下層	陶生土器	縦	-/-/8.5	直筋片、色調は淡黃褐色
19	155	B2-003	1層下層	陶生土器	縦	-/-/8.7	直筋片、色調は淡黃褐色
19	156	B2-003	ペルト 1層下層	陶生土器	縦	-/-/7.6	圓絞～直筋片、色調は淡褐色
19	157	B2-003	ペルト 1層下層	陶生土器	縦	-/-/7.7	圓絞～直筋片、色調は淡黃褐色
19	158	B2-003	1層下層	陶生土器	縦	-/-/11.8	直筋片、色調は褐色
19	159	B2-003	ペルト 1層下層	陶生土器	縦	-/-/9.6	直筋片、色調は灰褐色
19	200	B2-003	ペルト 1層下層	陶生土器	縦	-/-/8.2	直筋片、穴あけあり、内側は施成前に外側は施成後に穿孔を行っている。色調は淡褐色
19	201	B2-003	1層下層	陶生土器	縦	-/-/7.1	直筋片、色調は褐色
19	202	B2-003	1層下層	陶生土器	縦	-/-/7.8	直筋片、外面に舟型の痕跡、色調は灰白色
19	203	B2-003	1層下層	陶生土器	縦	-/-/7.8	圓絞～直筋、色調は淡黃褐色
20	204	B2-003	ペルト 1層下層	陶生土器	縦	24.28±0.73	山字形、後直線、筋目付柱に前面二角形の突条が2条、断面中段に断面台形の突条、断面柱付柱後成の穿孔、外面に舟型
20	205	B2-003	1層下層	陶生土器	縦	-/21.5/-	圓洗口直片、内外面に舟型
20	206	B2-003	1層下層	陶生土器	縦	-/25.5/-	圓洗口直片、内外面に舟型
20	207	B2-003	1層下層	陶生土器	縦	-/29.0/-	口縁～腰部、背先口縁、斷面に断面台形の突条、色調は褐色
20	208	B2-003	ペルト 1層下層	陶生土器	縦	-/-/-	背先口直片、大型品、口縁断面に舟型
20	209	B2-003	1層下層	陶生土器	縦	-/-/9.0	口縁～腰部片、色調は淡褐色
20	210	B2-003	1層下層	陶生土器	縦	-/-/7.6	圓絞～直筋片、色調は淡褐色
20	211	B2-003	ペルト 1層下層	陶生土器	縦	-/-/5.3	直筋片、色調は淡黃褐色
20	212	B2-003	ペルト 1層下層	陶生土器	縦	-/-/4.1	直筋片、色調は淡褐色
20	213	B2-003	1層下層	陶生土器	縦	-/-/8.2	直筋片、色調は淡褐色
20	214	B2-003	1層下層	陶生土器	縦	-/-/5.9	口縁柱式、外面に舟型
21	215	B2-003	1層下層	陶生土器	縦	-/11.4/-	天井柱式、外面上舟型の痕跡、2個の穿孔、1つは直孔、色調は淡褐色
21	216	B2-003	1層下層	陶生土器	縦	-/5.9/-	直部文様、色調は淡黃褐色
21	217	B2-003	ペルト 1層下層	陶生土器	縦	5.6±0.5±0.7	圓絞～直次彫、色調は淡褐色
21	218	B2-003	1層下層	陶生土器	縦	10.7±0.1±0.6	山字形、色調は褐色
21	219	B2-003	ペルト 1層下層	陶生土器	縦	12.2±15.5±0.5	口縁～直次彫、外面上舟型の痕跡、色調は淡褐色
21	220	B2-003	1層下層	陶生土器	縦	9.7±18.8±0.9	口縁～直次彫、色調は淡褐色
21	221	B2-003	ペルト 1層下層	陶生土器	縦	12.3±18.0±0.6	山字形、外底面以上舟型
21	222	B2-003	1層下層	陶生土器	縦	-/15.5/-	山字形、色調は淡褐色
21	223	B2-003	1層下層	陶生土器	縦	10.2±16.4±0.6	口縁～直次彫、色調は淡褐色
21	224	B2-003	トレンチ2-1層下層	陶生土器	縦	-/-/15.2/-	直部文様、色調は淡褐色
21	225	B2-003	1層下層	陶生土器	縦	6.1±0.7/-	約12残存、内面上舟型の痕跡、色調は淡褐色
21	226	B2-003	1層下層	陶生土器	縦	4.4±10.0±0.4	手づな、底面は楕丸形を呈する。口縁外側に舟型の痕跡、色調は淡褐色
21	227	B2-003	1層下層	陶生土器	ミニチュア土器	4.37±2.2±2.3	変形、色調は淡褐色
21	228	B2-003	1層下層	陶生土器	ミニチュア土器	3.77±3.2±1	山字形、内外面上舟型
21	229	B2-003	1層下層	陶生土器	ミニチュア土器	-/-/2.7	口縁文様、色調は褐色
21	230	B2-003	1層下層	陶生土器	縦付鉢	-/-/8.1	網目、色調は淡褐色
21	231	B2-003	1層下層	陶生土器	約子形土製品	-/-/-	把手子形、色調は淡褐色

出土遺物観察表

件名 (FIG.)	図版 (PL.)	番号	地区・層位・遺構	遺物の種類	器形	法量 (高さ・口径・底径・ 長さ・厚さ(cm))	特徴	
21	21	193	B2 003 ベルト3	(GL-20~40cm)	陶生土器	約子形土製品	--/--/--	把手部分、色調はにじい青褐色
21	21	194	B2 003 1層下層	陶生土器	器台	12.0/8.9/11.7	口縁一部欠損、色調はにじい青褐色	
21	21	195	B2 003 1層下層	陶生土器	器台	16.9/10.4/12.5	ほぼ完形、色調はにじい青褐色	
21	21	196	B2 003 ベルト1層下層	陶生土器	器台	16.7/11.6/16.7	ほぼ完形、色調はにじい青褐色	
21	21	197	B2 003 1層下層	陶生土器	器台	16.1/11.6/13.1	口縁一部欠損、色調はにじい青褐色	
22	21	198	B2 003 1層下層	陶生土器	器台	9.9/7.2/10.1	ほぼ完形、内面に丹波りの痕跡、色調はにじい青褐色	
22	21	199	B2 003 1層下層	陶生土器	器台	--/--/1.8	口縁一部欠損、色調はにじい青褐色	
22	21	200	B2 003 ベルト1層下層	陶生土器	器台	--/--/5.3	口縁欠損、色調はにじい青褐色	
22	20	201	B2 003 1層下層	陶生土器	器台	--/3.2/--	器底欠損、色調は浅青褐色	
22	21	202	B2 003 ベルト1層	陶生土器	支脚	--/--/11.4	骨型の支脚、色調はにじい青褐色	
22	21	203	B2 003 1層下層	陶生土器	高杯	--/--/10.4	断面、瓶底面にカッタ打ち文様、色調はにじい青褐色	
22	204	B2 003 1層下層	陶生土器	ミニチュア器	--/--/	瓶底跡、色調は青色		
22	205	B2 003 2層上層	陶生土器	盤	--/3.5/--	口縁片、腹先口縁、色調は青褐色		
22	206	B2 003 2層上層	陶生土器	盤	--/16.5/--	口縁片、色調はにじい青褐色		
22	21	207	B2 003 2層上層	陶生土器	盤	40.5/21.0/8.5	口縁一部欠損、口縁の凹曲面に折曲三角形の突起、色調は浅青褐色	
22	208	B2 003 2層上層	陶生土器	盤	--/--/6.7	底部片、色調は灰白色		
22	209	B2 003 2層上層	陶生土器	盤	--/--/9.0	底部片、色調はにじい青褐色		
22	210	B2 003 2層上層	陶生土器	盤	--/--/7.5	底部片、色調は青色		
22	211	B2 003 2層上層	陶生土器	盤	--/--/9.3	底部片、色調はにじい青褐色		
23	212	B2 003 2層上層	陶生土器	盤	--/--/8.2	断面～底部片、色調は灰褐色		
23	213	B2 003 2層上層	陶生土器	盤	--/--/9.2	底部片、色調はにじい青褐色		
23	214	B2 003 2層上層	陶生土器	盤	--/--/9.1	断面～底部片、腹先に熱成後の穿孔、色調は青褐色		
23	21	215	B2 003 2層上層	陶生土器	盤	--/--/8.4	底部片、色調は青色	
23	21	216	B2 003 2層上層	陶生土器	盤	--/--/8.0	断面～底部片、腹面に熱成後の穿孔、色調はにじい青褐色	
23	217	B2 003 2層上層	陶生土器	盤	--/21.6/--	口縁一部断片、底面口縁、口縁上面に穴あり、腹部に断面凸形の突起		
23	22	218	B2 003 2層上層・7上層	陶生土器	盤	66.0/51.0/11.0	口縁一部断片、腹先口縁、腰部分付近以下半に断面凸形の2条の突起が付属。色調はにじい青褐色	
23	219	B2 003 2層上層	陶生土器	盤	--/20.9/--	横状口縁片、色調はにじい青褐色		
23	21	220	B2 003 2層上層	陶生土器	盤	17.1/15.2/6.3	口縁一部欠損、外側に舟型	
23	221	B2 003 2層上層	陶生土器	盤	24.1/14.3/8.0	ほぼ完形、色調は灰褐色		
23	222	B2 003 2層上層	陶生土器	盤	--/7.8/--	底部片、色調は青色		
23	21	223	B2 003 ベルト2層	陶生土器	盤	--/--/5.8	口縁欠損、断面～断面凸形の突起、外側に舟型、内面に絞り的に斜溝が付属	
23	224	B2 003 2層上層	陶生土器	鉢	6.0/9.9/--	口縁一部欠損、断面に打ち欠き、色調は灰白色		
23	225	B2 003 2層上層	陶生土器	鉢	6.0/14.8/5.1	口縁一部欠損、色調は青色		
23	22	226	B2 003 2層上層	陶生土器	盤	--/7.8/--	口縁欠損、色調はにじい青褐色	
24	22	227	B2 003 2層上層	陶生土器	器台	8.8/9.0/10.4	底部一部欠損、色調はにじい青褐色	
24	22	228	B2 003 2層上層	陶生土器	器台	10.8/9.2/11.5	ほぼ完形、色調は青色	
24	22	229	B2 003 2層上層	陶生土器	器台	16.6/10.9/12.5	口縁一部一部文様、色調は灰褐色	
24	22	230	B2 003 2層上層	陶生土器	器台	17.1/12.0/14.1	底部一部欠損、色調はにじい青褐色	
24	22	231	B2 003 2層上層	陶生土器	器台	16.4/10.7/14.4	ほぼ完形、色調は青色	
24	22	232	B2 003 2層上層	陶生土器	高杯	--/--/17.2	口縁欠損、底部から舟型の痕跡、色調は青色	
24	233	B2 003 2層上層	陶生土器	瓶底跡	--/--/	口縁と断面欠損、色調は浅青褐色		
24	234	B2 003 2層上層	陶生土器	高杯	--/21.0/--	断面片、腹先口縁、内外面に舟型		
24	22	235	B2 003 2層上層	陶生土器	高杯	--/--/15.2	断面、外側面に舟型	
24	22	236	B2 003 2層	陶生土器	盤	--/20.5/--	口縁一部断片、色調はにじい青褐色	
24	237	B2 003 2層	陶生土器	盤	--/--/10.3	口縁一部断片、舟先方形の丸、色調は浅青褐色		
24	238	B2 003 2層	陶生土器	盤	--/--/8.2	底部片、色調はにじい青褐色		
24	239	B2 003 2層	陶生土器	盤	--/--/8.8	断面～底部片、色調は青色		
24	240	B2 003 2層	陶生土器	盤	--/--/	断面片、横丸方形容の丸、色調はにじい青褐色		

出土遺物観察表

検出 件数 (FIG.)	図版 (PL.)	番号	地区・層位・地構	遺物の種類	形状	法規 (器高・口径・底径・ 長さ・幅・厚さ(cm))	特徴
24	241	B2 003 2層	亜生土部	甕	—/—/—	口縁片、瓶丸形の孔、色調はにじ、黄褐色	
25	22, 242	B2 003 2層	亜生土部	甕	—/10.8—	瓶状口部、口縁からやや下ったところに断面台形の突起、外面に丹塗り	
25	243	B2 003 2層	亜生土部	甕	—/—/5.6	直口片、色調はにじ、黄褐色	
25	244	B2 003 2層	亜生土部	甕	—/—/7.1	直口片、色調はにじ、黄褐色	
25	245	B2 003 2層	亜生土部	甕	6.7/5.6/—	底盤欠損、色調はにじ、黄褐色	
25	22, 246	B2 003 2層	亜生土部	器台	17.5/13.0/14.0	浅び足形、色調はにじ、黄褐色	
25	22, 247	B2 003 2層	亜生土部	高杯	—/—/16.5	断面片、外面に丹塗り	
26	248	C2 003 連続面 (GL=20cm)	亜生土部	甕	—/20.5—	口縁・一部断片、色調は明黄褐色	
26	249	C2 003 H-シテ4 5層下層薄~10cm	亜生土部	甕	—/21.5—	口縁・断片、色調はにじ、黄褐色	
26	250	C2 003 連続面 (GL=20cm)	亜生土部	甕	—/18.0—	口縁・一部断片、色調はにじ、黄褐色	
26	251	C2 003 東面中	亜生土部	甕	—/27.3—	口縁・一部断片、色調はにじ、黄褐色	
26	252	C2 003 連続面 (GL=20cm)	亜生土部	甕	—/26.8—	口縁・一部断片、色調は浅褐色	
26	253	C2 003 連続面 (GL=20cm)	亜生土部	甕	—/29.5—	口縁片、はねあわ口縁、色調は明黄褐色	
26	254	C2 003 連続面 (GL=20cm)	亜生土部	甕	—/27.0—	口縁・一部断片、はねあわ口縁、色調は明黄褐色	
26	255	C2 003 H-シテ4 (5層下層薄~10cm)	亜生土部	甕	—/24.9—	口縁・断片、色調は浅褐色	
27	22, 256	C2 003 H-シテ4 (GL=0~20cm)	亜生土部	甕	—/33.6—	口縁・一部断片、口縁端部に斜線文、口縁からやや下ったところに断面台形の2段の突起、色調はにじ、黄褐色	
27	257	C2 003 連続面 (GL=20cm)	亜生土部	甕	—/—/16.0	断面片、底部片、平面上に断面形の突起が2条通る、色調はにじ、黄褐色	
27	258	C2 003 連続面 (GL=40cm)	亜生土部	甕	—/—/—	口縁文様、外縁はタクナヘヌ、丸底、色調はにじ、黄褐色	
27	259	C2 003 連続面 (GL=40cm)	亜生土部	甕	—/—/5.0	丸底、色調は浅黄色	
26	260	C2 003 H-シテ4 (GL=0~20cm)	亜生土部	甕	—/18.4—	口縁・一部断片、瓶口部、瓶底に断面三角形の突起、外面に丹塗り	
28	261	C2 003 連続面 (GL=20cm)	亜生土部	甕	—/21.0—	口縁・一部断片、瓶口部、瓶底に断面三角形の突起、色調はにじ、黄褐色	
28	262	C2 003 H-シテ4 (GL=0~20cm)	亜生土部	甕	—/23.5—	口縁片、色調は明黄褐色	
28	22, 263	C2 003 連続面 (GL=20cm)	亜生土部	甕	—/42.4—	口縁・一部断片、大型片、口縁端部に斜線文、瓶底に斜線文を施した断面台形の突起が2条通る、色調は浅褐色	
28	264	C2 003 H-シテ4 (GL=0~20cm)	亜生土部	甕	—/—/—	口縁片、瓶底は墨下し斜線文、色調はにじ、黄褐色	
28	265	C2 003 H-シテ4 (GL=0~20cm)	亜生土部	甕	—/—/—	口縁片、A型の口縁、口縁端部に斜線文、瓶底に斜線文、瓶底は明黄褐色	
28	266	C2 003 連続面 (GL=20cm)	亜生土部	甕	—/—/—	瓶底・一部断片、瓶底の内側に断面三角形の突起、瓶底下に断面台形の突起が2条通る、色調は浅褐色	
28	22, 267	C2 003 連続面 (GL=20cm)	亜生土部	甕	—/—/—	瓶底・一部断片、セザンヌが2回絞る丸底、中位に斜み目を施した断面台形の突起が2条通る、色調は浅褐色	
28	268	C2 003 連続面 (GL=40cm)	亜生土部	甕	—/—/10.5	断面片、大型片、色調はにじ、黄褐色	
29	22, 269	C2 003 連続面 (GL=40cm)	亜生土部	器台	—/—/21.5	口縁文様、大型片、色調はにじ、黄褐色	
29	22, 270	C2 003 連続面 (GL=20cm)	亜生土部	器台	19.13/14.16/0	断面片、一部欠損、色調はにじ、黄褐色	
29	22, 271	C2 003 連続面 (GL=40cm)	亜生土部	器台	9.9/9.9/10.0	直底片、一部欠損、色調は褐色	
29	272	C2 003 連続面 (GL=40cm)	亜生土部	附付鉢	—/18.0—	断面欠底、色調は褐色	
29	273	C2 003 連続面 (GL=20cm)	亜生土部	鉢	—/—/—	口縁片、内縁を削りて口縁にすり、色調はにじ、黄褐色	
29	22, 274	C2 003 H-シテ4 (GL=20~40cm)	粗砂層	土師器	—/8.4—	断面欠底、小型灰陶器、外縁はヘラス2号、色調はにじ、黄褐色	
29	275	C2 003 H-シテ4 (GL=20~40cm)	粗砂層	亜生土部	—/7.5—	口縁・一部断片、色調は灰青褐色	
29	276	C2 003 連続面 (GL=40cm)	亜生土部	鉢	—/—/—	口縁片、色調は褐色	
29	22, 277	C2 003 H-シテ4 (GL=20~40cm)	粗砂層	亜生土部	—/—/—	口縁片、内側に斜付管、	
29	278	C2 003 ベルト 1層	亜生土部	甕	21.8/15.9/6.4	口縁・一部欠損、色調はにじ、黄褐色	
29	279	C2 003 H-シテ4 1層	亜生土部	甕	23.4/17.2/8.0	口縁・一部断片、外縁の基面部にハメド止めが残る、色調はにじ、黄褐色	
29	23, 280	C2 003 1層	亜生土部	甕	27.8/21.4/7.0	口縁の一部欠損、口縁内側の一部に丹塗りの痕跡、色調は褐色	
29	281	C2 003 1層	亜生土部	甕	—/34.9—	口縁片、内側は泥原、色調はにじ、黄褐色	
29	282	C2 003 1層中	亜生土部	甕	—/63.5—	口縁片、大型の広口甕、口縁端部に斜み目、色調は褐色	
30	283	C2 003 ベルト 1層	亜生土部	甕	—/—/—	口縁片、大型の広口甕、口縁端部に斜み目及び内側の痕跡、口縁内側は粘土帯が剥離、色調は浅褐色	
30	284	C2 003 1層	亜生土部	甕	—/—/—	口縁片、大型の広口甕、口縁端部にノウメ原体による網目文、色調は灰白色	
30	285	C2 003 1層中	亜生土部	大甕	—/—/—	口縁片、大型の広口甕、口縁端部にノウメ原体による網目文、色調は明黄褐色	
30	286	C2 003 1層	亜生土部	甕	—/—/—	口縁片、大型の広口甕、口縁端部にノウメ原体による網目文、色調は浅黃褐色	
30	287	C2 003 1層中	亜生土部	大甕	—/—/—	口縁片、大型の広口甕、口縁端部にノウメ原体による網目文、内側に断面三角形の突起、色調は浅褐色	
30	288	C2 003 1層	亜生土部	甕	—/—/—	複合口片、色調は灰白色	

出土遺物観察表

件名 (FIG.)	図版 (PL.)	番号	地区・層位・構造	遺物の種類	形状	法規 (高・口径・底径・ 長さ・厚さ(cm))	特徴
30	289	C2 003 1層	生土器	壺	一孔	縦断片、表面台形の突起が二条、突起部分沿いの痕跡、色調はにじ・黄褐色	
30	290	C2 003 1層	生土器	不明	一孔	突起がまる、突起の下に円形の孔、色調はにじ・黄褐色	
30	291	C2 003 1層中	生土器	壺台	20.2×17.1×17.9	口縁・底部片、色調は褐色	
30	292	C2 003 1層	生土器	壺	1.6×1.6	口縁・円形の穿孔、上面はタキ、色調はにじ・黄褐色	
30	293	C2 003 ハシナ4周 1層	生土器	壺	1.6×1.6×0.0	口縁・一部欠損、口縁付近に2個セロボの穿孔が2ヶ所、色調は明黄褐色	
30	294	C2 003 ハシナ4周 1層	生土器	鉢	15.3×19.8×5.5	口縁・底部片、色調は褐色	
30	295	C2 003 1層	生土器	鉢	6.9×6.4×8	口縁と底部の一辺欠損、色調はにじ・黄褐色	
30	296	C2 003 1層	生土器	鉢	一孔	口縁片、色調はにじ・黄褐色	
30	297	C2 003 1層	生土器	ミニチャウル	5.5×5.5×3.0	完形、壺形、色調はにじ・黄褐色	
30	298	C2 003 通溝面 (GL-20cm)	生土器	ミニチャウル	一孔	口縁欠損、色調はにじ・黄褐色	
30	299	C2 003 1層中	生土器	壺	一孔	壺部片、色調は反褐色	
30	300	C2 003 1層	生土器	壺	一孔	壺部、円形の透かし孔があり、色調は明黄褐色	
31	301	C2 003 1層下盤a群	生土器	壺	一孔×6.6	口縁欠損、色調はにじ・黄褐色	
31	302	C2 003 1層下盤a群	生土器	壺	一孔×5	壺部片、色調はにじ・黄褐色	
31	303	C2 003 1層下盤a群	生土器	壺	一孔×9.2	壺部片、色調はにじ・黄褐色	
31	304	C2 003 1層下盤a群	生土器	壺	一孔×8.6	壺部片、後成後の穿孔あり、色調は褐色	
31	305	C2 003 1層下盤a群	生土器	壺	一孔×8.5	壺部片、後成後の穿孔あり、色調は浅黄褐色	
31	306	C2 003 1層下盤a群	生土器	壺	一孔×9.0	壺部片、後成後の穿孔あり、色調はにじ・褐色	
31	307	C2 003 1層下盤a群	生土器	壺	一孔×9.0	口縁・底部片、圓孔口縁、壺部に断面三角形の突起、色調はにじ・黄褐色	
31	308	C2 003 1層下盤a群	生土器	壺	一孔×9.0	壺部片、色調はにじ・褐色	
31	309	C2 003 1層下盤a群	生土器	壺	一孔×24.0	口縁片、色調は褐色	
31	310	C2 003 1層下盤a群	生土器	壺	一孔×24.5	口縁片、色調はにじ・黄褐色	
31	311	C2 003 1層下盤a群	生土器	壺	一孔×27.0	口縁片、各側に孔あり、色調はにじ・褐色	
31	312	C2 003 1層下盤a群	生土器	壺	一孔×34.0	口縁片、色調はにじ・黄褐色	
31	313	C2 003 1層下盤a群	生土器	壺	一孔×36.5	口縁片、外面部に断面三角形の突起、色調は褐色	
31	314	C2 003 1層下盤a群	生土器	壺	一孔×23.5	口縁・底部片、色調はにじ・褐色	
32	315	C2 003 1層下盤b群	生土器	壺	一孔×26.4	口縁片、底部片、広口壺、色調は褐色	
32	316	C2 003 1層下盤b群	生土器	壺	一孔×36.4	口縁片、外面部に断面台形の突起、色調はにじ・黄褐色	
32	317	C2 003 1層下盤b群	生土器	壺	一孔	口縁片、外面部に断面三角形の突起、色調はにじ・黄褐色	
32	318	C2 003 1層下盤b群	生土器	壺	一孔×27.6	壺部片、色調はにじ・黄褐色	
32	319	C2 003 1層下盤b群	生土器	壺	一孔×35.6	壺部片、色調は浅黄褐色	
32	320	C2 003 1層下盤b群	生土器	壺	一孔×52	壺部片、色調はにじ・黄褐色	
32	321	C2 003 1層下盤b群	生土器	壺	一孔×19.5	口縁・底部片、色調はにじ・黄褐色	
32	322	C2 003 1層下盤b群	生土器	壺	一孔×21.0	口縁・底部片、色調は褐色	
32	323	C2 003 1層下盤b群	生土器	壺	一孔×8.5	壺部、色調は褐色	
32	324	C2 003 1層下盤b群	生土器	壺	一孔×4.8	口縁欠損、上面に丹後の痕跡、色調は浅黄褐色	
32	325	C2 003 1層下盤b群	生土器	壺	一孔	壺部、外面部丹後に、色調はにじ・褐色	
32	326	C2 003 1層下盤b群	生土器	鉢	一孔×18.0	口縁・底部片、外面部に丹後の痕跡、色調は浅黄褐色	
32	327	C2 003 1層下盤b群	生土器	壺	一孔×9.5	壺部片、色調はにじ・黄褐色	
32	328	C2 003 1層下盤b群	生土器	壺	一孔×19.2	壺部片、色調はにじ・黄褐色	
33	329	C2 003 1層下盤b群	生土器	壺	一孔×16.5	口縁片、底状口縁、内外面に丹後の痕跡	
33	330	C2 003 1層下盤b群	生土器	壺	一孔	口縁片、底状口縁、外面部に丹後の痕跡	
33	331	C2 003 1層下盤b群	生土器	壺	一孔×25.0	口縁・底部片、壺部に断面台形の突起、口縁の内側に丹通りの痕跡	
33	332	C2 003 1層下盤b群	生土器	鉢	17.4×24.7×8.7	口縁・底部片、底部に後成後の穿孔	
33	333	C2 003 1層下盤b群	生土器	鉢	10.3×12.1×1	口縁・底部片、色調はにじ・褐色	
33	334	C2 003 1層下盤b群	生土器	壺台	16.9×12.0×13.5	口縁・底部片	
33	335	C2 003 1層下盤b群	生土器	壺台	14.0×9.7×11.3	口縁・底部片	
33	336	C2 003 1層下盤b群	生土器	壺台	一孔×12.0	口縁欠損	

出土遺物観察表

登録 図版 (FIG.)	図版 (PL.)	番号	地区・層位・地構	遺物の種類	形状	法量 (高さ・口径・底径・ 長さ・幅・厚さ(cm))	特徴	
33	337	C2 003 1層下層d群	亜生土器	高杯	-/34.2-	口縁片、外面部に丹塗り		
33	338	C2 003 1層下層	亜生土器	便	-/~/-	口縁片、外面部に新面三角形の突起、色調は浅黄褐色		
33	339	C2 003 1層下層	亜生土器	便	-/57.8-	口縁片、大型の広口壺、口縁外側にハートメ陣跡による刻込み、外側に新面三角形の突起、色調は浅い褐色		
33	23	340	C2 003 1層下層	亜生土器	便	13.5/12.1/6.8	口縁一部文様、外面部に丹塗り	
33	341	C2 003 1層下層	亜生土器	便	-/9.6-	口縁一部断片、無頸部、外面部に丹塗りが一部残る、色調は褐色		
33	342	C2 003 ハシ4周 1層下層	亜生土器	便	-/~/-	頸部片、広口壺、口縁外側にハートメ陣跡による刻込み、外側に新面三角形の突起、色調は浅い褐色		
33	343	C2 003 1層下層	亜生土器	便	-/~/-	頸部片、広口壺、口縁外側にハートメ陣跡による刻込み、外側に新面三角形の突起、色調は浅い褐色		
33	23	344	C2 003 1層下層	亜生土器	鉢	8.3/13.1/6.4	口縁一部文様、口縁の内側に丹塗りの痕跡、色調は浅黄褐色	
33	23	345	C2 003 1層下層	亜生土器	鉢	6.1/14.2/3.4	浅浮形、口縁底部に丹塗りの痕跡、色調は浅黄褐色	
33	346	C2 003 ハシ4周 1層下層	亜生土器	ミニチュア土器	4.1/6.5/3.0	口縁一部を欠く、外面部に丹塗りの痕跡、色調は灰白色		
33	23	347	C2 003 1層下層	亜生土器	鉢	9.0/7.7/1.0	変形、色調に浅い褐色	
33	348	C2 003 1層下層	亜生土器	脚付鉢	-/~/2.2-	脚部片、色調は褐色		
33	349	C2 003 ハシ4周 1層下層	亜生土器	便	-/~/-	円形の造みがついた、色調は明褐灰色		
33	350	C2 003 2層下層d群	亜生土器	高杯	-/27.9-	杯底、黄褐色、外面部に丹塗り		
34	351	C2 003 2層上層	亜生土器	便	-/24.3-	口縁一部断片、色調に浅い褐色		
34	352	C2 003 ハシ4周 2層上層	亜生土器	便	-/27.3-	口縁一部断片、色調は褐色		
34	23	353	C2 003 ハシ4周 2層上層	亜生土器	便	25.5/20.5/7.8	口縁二重底の一部断片、色調は浅い褐色	
34	354	C2 003 2層上層	亜生土器	便	-/32.4-	口縁一部断片、外面部に丹塗りの痕跡、色調は浅い褐色		
34	355	C2 003 2層上層	亜生土器	便	-/17.2-	口縁一部断片、脚部中央に穿孔、色調は褐色		
34	24	356	C2 003 2層上層	亜生土器	便	-/18.5-	口縁一部断片、外面部に新面三角形の突起、脚部上部に擴丸方形の孔、外側に一部丹塗りの痕跡、色調は褐色	
34	357	C2 003 ハシ4周 2層上層	亜生土器	便	-/~/8.0	口縁文様、色調に浅い褐色		
34	358	C2 003 2層上層	亜生土器	便	-/~/9.2	脚部一部断片、脚部に明褐灰色		
34	359	C2 003 2層上層	亜生土器	便	-/~/9.3	脚部一部断片、色調は浅褐色		
35	360	C2 003 2層上層	亜生土器	便	-/~/9.1	直部片、色調は浅黄褐色		
35	361	C2 003 2層上層	亜生土器	便	-/~/9.5	直部片、色調は浅黄褐色		
35	362	C2 003 2層上層	亜生土器	便	-/~/9.2	直部片、色調は浅い褐色		
35	363	C2 003 2層上層	亜生土器	便	-/~/10.0	直部片、色調は浅い褐色		
35	364	C2 003 2層上層	亜生土器	便	-/~/7.9	脚部一部断片、色調は灰白色		
35	365	C2 003 2層上層	亜生土器	便	-/~/5.9	直部片、色調は浅褐色		
35	366	C2 003 2層上層	亜生土器	便	-/~/7.8	直部片、脚部下部に焼成後の穿孔、色調は浅い褐色		
35	367	C2 003 2層上層	亜生土器	便	-/~/7.7	直部片、脚部下部に焼成後の穿孔、色調は浅い褐色		
35	368	C2 003 2層上層	亜生土器	便	-/~/8.0	直部片、脚部下部に焼成後の穿孔、色調は浅褐色		
35	369	C2 003 2層上層	亜生土器	便	-/~/8.6	直部片、脚部下部に焼成後の穿孔、色調は浅褐色		
35	370	C2 003 2層上層	亜生土器	便	-/~/8.9	脚部一部断片、色調は浅褐色		
35	371	B2 003 2層上層	亜生土器	便	-/~/8.0	直部片、底部に施成前の穿孔、		
35	372	C2 003 2層上層	亜生土器	便	-/~/7.3	直部片、底部に施成後の穿孔、色調は浅い褐色		
35	23	373	C2 003 2層上層	亜生土器	便	-/~/7.5	直部片、底部に施成後の穿孔、色調は浅い褐色	
36	374	C2 003 ハシ4周 2層上層	亜生土器	便	-/49.8-	口縁片、大型の広口壺、口縁底部に刻込み、外面部に丹塗りの痕跡		
36	24	375	C2 003 2層上層	亜生土器	便	-/21.6-	口縁一部断片、直口壺、脚部に新面三角形の突起、口縁に丹塗りの痕跡、色調は浅褐色	
36	376	C2 003 2層上層	亜生土器	便	-/36.4-	口縁一部断片、直口壺、脚部に新面三角形の突起、色調は浅褐色		
36	24	377	C2 003 2層上層	亜生土器	便	-/23.2-	口縁一部断片、脚部に新面三角形の突起、色調は灰褐色	
36	378	C2 003 2層上層	亜生土器	便	-/20.9-	口縁片、直口壺、色調は浅黄褐色		
36	379	B2 003 2層上層	亜生土器	便	-/20.6-	口縁一部断片、直口壺、脚部に新面三角形の突起、外面部に丹塗り		
36	380	B2 003 2層上層	亜生土器	便	5.7/~/-	直口壺片、口縁下部に新面三角形の突起、外面部に丹塗り		
36	381	B2 003 2層上層	亜生土器	便	-/10.9-	直口壺片、口縁下部に新面三角形の突起、外面部に丹塗り		
36	382	C2 003 2層上層	亜生土器	便	-/11.4-	直口壺片、やや傾いており、口縁外側に丹塗りの痕跡、色調は浅い褐色		
36	383	C2 003 2層上層	亜生土器	便	-/11.2-	直口壺片、外面部に丹塗り		
36	384	C2 003 2層上層	亜生土器	便	-/6.9-	直口壺片、脚部短い、色調は浅黄褐色		

出土遺物観察表

件名 (FIG.)	図版 (PL.)	番号	地区・層位・遺構	遺物の種類	形状	法量 (高・幅・厚・深さ(cm))	特徴
36	24	385	C2 003 2層上層	陶生土器	壺	—19.0—	狭口瓶片、口縁外周の一帯に丹塗りの痕跡、色調は褐色
36	24	386	C2 003 2層上層	陶生土器	壺	—19.2—	狭口瓶片、やや侈むつ、外周と口縁の内側に丹塗り
36	387	C2 003 ハンチ4周2層上層	陶生土器	壺	—23.5—	口縁一部剥片、狭口瓶、器部に表面三角形の突起、色調は丹塗りの痕跡、色調は褐色	
36	388	C2 003 2層上層	陶生土器	壺	—19.2—	狭口瓶片、色調は浅黃褐色	
36	389	C2 003 ハンチ4周2層上層	陶生土器	壺	—20.5—	口縁一部剥片、狭口瓶、器部に表面三角形の突起、色調は丹塗りの痕跡、色調は褐色	
37	390	C2 003 2層上層	陶生土器	壺	—27.7—	口縁一部剥片、頸部に表面台形の突起、色調は褐色	
37	391	B2 003 2層上層	陶生土器	壺	—	口縁と底足根、頸部と胴部に表面三角形の突起、色調は褐色	
37	392	C2 003 ハンチ4周2層上層	陶生土器	壺	—23.0—	口縁一部剥片、口縁と底足の一部に丹塗りの痕跡、色調は褐色	
37	393	C2 003 2層上層	陶生土器	壺	—24.5—	口縁一部剥片、色調は灰白色	
37	394	C2 003 2層上層	陶生土器	壺	—1—7.8	底部片、色調は浅黃褐色	
37	395	C2 003 2層上層	陶生土器	壺	—1—7.0	底部、表面片、表面に丹塗り	
37	396	C2 003 2層上層	陶生土器	壺	—	底部口瓶片、底部に剥み目、外側に丹塗り	
37	397	C2 003 ハンチ4周2層上層	陶生土器	壺	—1—6.0	底部片、表面に丹塗り	
37	398	C2 003 2層上層	陶生土器	壺合	15.4×12.8×17.2	ほぼ完形、瓶底に半円形の溝にみ、色調はこい・黄褐色	
37	399	C2 003 ハンチ4周2層上層	陶生土器	壺合	14.2×7.0×15.0	ほぼ完形、器面に肩領部、色調は灰褐色	
38	24	400	C2 003 ハンチ4周2層上層	陶生土器	壺合	9.8×10.4×12.0	口縁一部欠損、色調は浅黃褐色
38	401	B2 003 2層上層	陶生土器	壺合	10.5×10.9×7	ほぼ完形、色調は褐色	
38	24	402	C2 003 2層上層	陶生土器	壺合	10.0×9.2×11.2	ほぼ完形、色調はこい・黄褐色
38	24	403	C2 003 2層上層	陶生土器	壺合	11.5×5.2×10.4	口縁一部欠損、色調はこい・黄褐色
38	24	404	C2 003 2層上層	陶生土器	壺合	15.3×10.5×10.8	口縁一部欠損、色調はこい・黄褐色
38	24	405	C2 003 2層上層	陶生土器	壺合	16.2×10.2×13.1	口縁一部欠損、色調は浅黃褐色
38	22	406	C2 003 ハンチ4周2層上層	陶生土器	壺合	17.3×9.9×11.8	ほぼ完形、色調はこい・黄褐色
38	24	407	C2 003 2層上層	陶生土器	壺合	—1—11.8	口縁欠損、色調はこい・褐色
38	408	C2 003 2層上層	陶生土器	壺坏	—	牙輪片、底口縁、外側に丹塗り	
38	24	409	C2 003 ハンチ4周2層上層	陶生土器	附竹跡	15.7×17.0×10.4	口縁の一部欠損、色調は灰褐色
38	24	410	C2 003 2層上層	陶生土器	壺坏	—13.7—	網状文様、先口縁、丹塗りの痕跡、色調は灰褐色
38	411	C2 003 2層上層	陶生土器	壺坏	—	牙輪、外側に丹塗りの痕跡	
38	412	C2 003 2層上層	陶生土器	壺坏	—1—7.6.1	網状、外側に丹塗りの痕跡、色調は褐色	
38	413	B2 003 2層下層～1層下層～1コト(1層上層)	陶生土器	壺坏	—1—22.9	網状片、瓶底口縁、外側に丹塗り	
38	414	C2 003 2層上層	陶生土器	壺坏	—1—14.7	網状、色調はこい・褐色	
38	24	415	C2 003 2層上層	陶生土器	壺坏	—1—10.8	網状、外側に丹塗り
38	416	C2 003 2層上層	陶生土器	壺坏	—1—16.7	網状、外側に丹塗りの痕跡、色調はこい・黄褐色	
38	417	C2 003 2層上層	陶生土器	壺坏	—1—14.2	網状、色調は浅黃褐色	
38	418	C2 003 2層上層	陶生土器	壺坏	—	牙輪と網状の結合部分、色調は浅黃褐色	
38	419	C2 003 2層上層	陶生土器	鉢	17.6×11.6×7.7	口縁一部欠損、表面に他焼成穿孔、色調はこい・黄褐色	
39	24	420	C2 003 2層上層	陶生土器	鉢	15.6×24.5×8.8	ほぼ完形、表面に穿孔、丸孔は外側から焼成後、内側は焼成前にくぼてている、色調はこい・褐色
39	24	421	C2 003 2層上層	陶生土器	鉢	16.1×17.0×5.8	ほぼ完形、口縁と表面に丹塗りの痕跡、色調はこい・黄褐色
39	422	C2 003 2層上層	陶生土器	鉢	—1—8.0	網状、表面片、色調はこい・褐色	
39	423	C2 003 2層上層	陶生土器	小鉢	11.0×10.1×5.5	ほぼ完形、表面に半焼成穿孔の穿孔、色調はこい・黄褐色	
39	424	C2 003 ハンチ4周2層上層	陶生土器	鉢(小)	—1—5.6	口縁欠損、色調はこい・褐色	
39	25	425	C2 003 2層上層	陶生土器	鉢	7.9×12.9×4.8	ほぼ完形、色調はこい・褐色
39	25	426	C2 003 ハンチ4周2層上層	陶生土器	鉢	15.2×16.1×3	口縁の一部欠損、色調はこい・黄褐色
39	427	B2 003 2層上層	陶生土器	鉢	—1—17.0—	狭口瓶片、内外面に丹塗り	
39	428	C2 ハンチ4周(2層上層)	陶生土器	鉢	6.8×16.3×1	口縁一部剥片、色調はこい・褐色	
39	429	C2 003 2層上層	陶生土器	鉢	7.7×10.6×5	口縁一部剥片、輪郭みの痕跡、色調はこい・褐色	
39	25	430	C2 003 2層上層	陶生土器	鉢	16.7×10.2×4.9	口縁一部欠損、色調は浅黃褐色
39	431	C2 003 2層上層	陶生土器	鉢	16.8×11.6×3.3	口縁一部剥片、一部欠損、色調は褐褐色	
39	432	C2 003 2層上層	陶生土器	ミニチュア器	4.1×7.6×3.1	約1/2残存、色調はこい・黄褐色	

出土遺物観察表

発掘団	図版 (PL.)	番号	地区・層位・地構	遺物の種類	形状	法量 (器高・口径・底径・ 長・幅・厚さ(cm))	特徴
39	29	433	C2 003 2層上層	陶生土器	ミニチュア土器	4.9/2.1~	ほぼ完形、色調は褐色灰色
39	434	C2 003 2層上層	陶生土器	ミニチュア土器	~1~3.2	口縁文様、色調は灰褐色	
39	25	435	C2 003 2層上層	陶生土器	ミニチュア土器	~1~3.8	口縁文様、内底に円溝の痕跡、色調は灰褐色
39	25	436	C2 003 2層上層	陶生土器	附脚鉢	~1~8.4	脚部、脚部の内側以外に丹塗り、色調は灰褐色
39	25	437	C2 003 2層上層	陶生土器	杓子形土製品	~1~1~	把手部分、色調は灰褐色
40	438	C2 003 2層	陶生土器	甕	~29.5~	口縁～胴部片、色調は灰褐色	
40	439	C2 003 2層	陶生土器	甕	~27.9~	口縁～胴部片、色調は灰褐色	
40	440	C2 003 2層	陶生土器	甕	~24.4~	口縁～胴部片、柄～ハチメ、色調は灰褐色	
40	441	C2 003 2層	陶生土器	甕	~26.6~	口縁片、色調は灰褐色	
40	25	442	C2 003 ハシチ4層 2層	陶生土器	甕	~1~	口縁～胴部片、内面2口縁外面に丹塗り
40	443	C2 003 2層	陶生土器	甕	~10.6~	袋状口縁片、外面上に丹塗りの痕跡	
40	444	B2 003 2層	陶生土器	甕	~17.6~	袋状口縁片、やや縦びくつ、色調は灰褐色	
40	445	C2 003 ハシチ4層 2層	陶生土器	甕	~18.6~	口縁片、外面上に断面台形の痕跡、内面口縁に丹塗りの痕跡	
40	446	C2 003 ベルト 2層	陶生土器	甕	~12.8~	口縁～胴部片、口縁～底部、色調は灰白色	
40	447	B2 003 2層	陶生土器	甕	~1~	脚部～脚部片、色調は灰白色	
40	448	C2 003 2層	陶生土器	甕	~1~	底盤片、外面上に丹塗り、色調は灰褐色	
40	449	C2 003 2層	陶生土器	甕	~1~	底盤片、外面上に丹塗り、色調は灰褐色	
40	25	450	C2 003 2層	陶生土器	甕	10.9/13.5/5.5	口縁～一部欠損、色調は灰褐色
40	25	451	C2 003 2層	陶生土器	甕	16.6/16.37/1	口縁～一部欠損、外面上に丹塗り
40	25	452	C2 003 ベルト 2層	陶生土器	脚台	16.3/13.2/13.7	ほぼ完形、外面上に脚部の痕跡、色調は灰褐色
40	453	C2 003 ハシチ4層 2層	陶生土器	脚台	16.6/8.6/1.6	口縁～一部欠損、色調は灰褐色	
41	454	B2 003 2層	陶	鉢	17.4/2.0/0.3	口縁～一部欠損、断面が放成長の芽形、外面上に丹塗り	
41	25	455	C2 003 2層	陶生土器	鉢	12.2/17.0/7.5	口縁～一部欠損、色調は灰褐色
41	25	456	C2 003 2層	陶生土器	鉢	18.1/18.0/8.3	ほぼ完形、外面上にカカリ、外面上に丹塗り
41	25	457	C2 003 2層	陶生土器	鉢	8.2/15.1/7.9	山字形、色調は灰褐色
41	25	458	C2 003 ベルト 2層	陶生土器	鉢	7.6/17.6/6.6	口縁～底盤片、外面上に丹塗り、色調は灰褐色
41	459	C2 003 ハシチ4層 2層	陶生土器	鉢	8.7/14.6/7.0	口縁～底盤片、表面はヘラエカリ、色調は灰褐色	
41	460	C2 003 2層	陶生土器	鉢	7.6/15.0/5.0	口縁～底盤片、表面はヘラエカリ、色調は灰褐色	
41	461	C2 003 2層	陶生土器	ミニチュア土器	5.5/6.3/3.2	ほぼ完形、色調は灰褐色	
41	462	C2 003 2層	陶生土器	ミニチュア土器	2.8/4.8/2.8	ほぼ完形、色調は灰褐色	
41	463	C2 003 ハシチ4層 2層	陶生土器	ミニチュア土器	~1~3.5	底盤片、色調は灰褐色	
42	464	D2 003 滲漬面 (GL~40cm)	陶生土器	甕	~25.0~	底盤欠損、色調は灰褐色	
42	465	D2 003 滲上面	陶生土器	甕	~20.3~	口縁～胴部片、内面の上位にケツリ、色調は灰褐色	
42	466	D2 003 ハシチ (GL~20cm)	土師器	甕	~30.0~	複合口縁片、山脈系、色調は灰褐色	
42	467	D2 003 ハシチ (GL~20cm)	陶生土器	甕	~34.2~	複合口縁片、外面上に丹塗り	
42	468	D2 003 調査区南面	陶生土器	甕	~17.2~	口縁～胴部片、色調は灰褐色	
42	469	D2 003 ハシチ 2 (GL~25~40cm)	陶生土器	脚台	13.4/0.3/11.1	口縁～底盤片、色調は灰褐色	
42	25	470	D2 003 ハシチ 5層下面 (GL~20cm)	陶生土器	脚台	9.2/6.9/9.9	ほぼ完形、色調は灰褐色
42	471	D2 003 滲漬面	陶生土器	注口	~1~1~	注口部分、色調は灰褐色	
42	25	472	D2 003 ハシチ (GL~10cm)	陶生土器	注口	~1~1~	注口部分、色調は灰褐色
42	473	D2 003 ハシチ 2 (GL~25~40cm)	陶生土器	鉢	7.5/11.0~	口縁～底盤片、色調は灰褐色	
43	474	D2 003 5層下面	陶生土器	甕	~24.2~	口縁～底盤片、色調は灰褐色	
43	475	D2 003 ハシチ 5層下面	陶生土器	甕	~1~7.0	底盤、丸底芳味、色調は灰褐色	
43	476	D2 003 ハシチ 5層下面	陶生土器	甕	~26.2~	口縁～底盤片、色調は灰褐色	
43	26	477	D2 003 1層中	陶生土器	脚台	17.5/13.5/12.6	口縁と底盤の一部欠損、外面上に丹塗り、色調は灰褐色
43	26	478	B2 003 1層中	甕	~35.9~	底盤、外面上にカカリ、色調は灰褐色	
43	479	D2 003 1層下層	陶生土器	甕	~26.6~	口縁片、口縁下外面上に断面三角形の突起、色調は灰褐色	
43	480	D2 003 ハシチ 1 1層下層	陶生土器	甕	~25.5~	口縁～底盤片、色調は灰褐色	

## 出土物鉱石表

持団 (FIG.)	因版 (PL.)	番号	地区・層位・遺構	遺物の種類	器形	法面 (器口幅・底径・ 長さ・幅・厚さ(cm))	特徴
43	481	D2 003 ハシチ1	1層下層	陶生土器	甕	-32.6-	口縁一部片、口縁部に到み凹。外側には断面三角形の突起。脚部は内面にタキ付子。色調は灰褐色
43	482	D2 003 1層下層		陶生土器	甕	-/-/-	口縁片、口縁下外側に断面三角形の突起。色調は灰褐色
44	483	D2 003 ハシチ1	1層下層	陶生土器	甕	24.3/15.9/6.7	約1/2底付。色調は灰褐色
44	484	D2 003 ハシチ1	1層下層	陶生土器	甕	-/-/7.9	直断片、内外面に丹塗り
44	485	D2 003 1層下層		陶生土器	甕	-/-/8.1	直断片、色調は灰褐色
44	486	D2 003 1層下層		陶生土器	甕	-/-/9.0	直断片、色調は灰褐色
44	487	D2 003 1層下層		陶生土器	甕	-/-/19.6-	口縁一部片、底付口縁。脚部に断面三角形の突起。色調は灰褐色
44	488	D2 003 1層下層		陶生土器	甕	-/-/-	大型の広口甕の口縁片。口縁部に凹み。色調は灰褐色
44	489	D2 003 1層下層		陶生土器	甕	-5.6-	小型の直口甕。内面は灰褐色
44	490	D2 003 ハシチ1	1層下層	陶生土器	甕	-/-/-	直断片、断面的平底。色調は灰褐色
44	491	D2 003 1層下層		陶生土器	器台	9.8/6.8/10.3	口縁一部付指。調整はタキ付子。色調は灰褐色
44	492	D2 003 1層下層		陶生土器	器台	10.9/8.19.5	口縁と底部の一部付指。調整はナダ。色調は灰褐色
44	493	D2 003 1層下層		陶生土器	器台	8.8/8.7/8.9	口縁一部付指。調整はナダ。色調は灰褐色
44	494	D2 003 1層下層		陶生土器	器台	-/-/1.8	口縁欠損。調整はナダ。色調は灰褐色
44	495	D2 003 1層下層		陶生土器	器台	-/-/11.2	上半をく。色調は灰白色
44	496	D2 003 1層下層		陶生土器	器台	-/-/7.8	口縁欠損。調整はナダ。色調は灰褐色
44	497	D2 003 1層下層		陶生土器	器台	9.0/7.6/10.2	直断一部付指。調整はナダ。色調は灰褐色
44	498	D2 003 1層下層		陶生土器	高环	-/-/-	断面片、断面上に円形の透かし孔。色調は灰褐色
44	499	D2 003 1層下層		陶生土器	高环	-/-/-	环部一部断片、内面に丹塗り。外面は墨渦
44	500	D2 003 ハシチ1	1層下層	陶生土器	甕	-/-/20.4-	約1/2底付。色調は灰白色
44	501	D2 003 1層下層		陶生土器	甕	5.2/16.25.5	口縁一部付指。断面は膨ら。色調は灰褐色
45	502	D2 003 2層上層		陶生土器	甕	-/-/30.9-	口縁一部断片。口縁の内側にリムの止めの痕跡。色調は灰褐色
45	503	D2 003 2層上層		陶生土器	甕	-/-/7.9	直断片。色調は灰褐色
45	504	D2 003 2層上層		陶生土器	甕	-/-/8.7	直断片。色調は灰褐色
45	505	D2 003 2層上層		陶生土器	甕	-/-/6	直断片。色調は灰褐色
45	506	C2 003 2層		陶生土器	甕	-/-/-	調整部。断面は膨ら。色調は灰褐色
45	507	D2 003 2層上層		陶生土器	甕	-/-/17.2-	口縁一部断片。口縁の内側にリムの止めの痕跡。色調は灰褐色
45	508	D2 003 2層上層		陶生土器	甕	-/-/17.5-	口縁一部断片。脚部に断面三角形の突起。口縁の内側にリムの止めの痕跡。色調は灰褐色
45	509	D2 003 2層		陶生土器	甕	-/-/-	断面片。外側に断面三角形の突起。外側に丹塗り。突起より下は丹がたれたよう
45	510	D2 003 2層上層		陶生土器	甕	-/-/-	脚部一部断片。脚部に断面三角形の突起。外側に丹塗り。色調は灰褐色
45	511	D2 003 2層		陶生土器	器台	-/-/10.8/13.4	約1/2底付。色調は灰褐色
45	512	D2 003 2層上層		陶生土器	器台	10.79/1.12.0	ほぼ完全。調整はナダ。色調は灰褐色
45	513	D2 003 2層上層		陶生土器	器台	-/-/7.3	口縁欠損。色調は灰褐色
45	514	D2 003 2層		陶生土器	甕	7.2/14.06.2	約1/2底付。内外面に丹塗り
45	515	D2 003 2層上層		陶生土器	甕	10.52/20.38.7	口縁の一部欠損。色調は灰褐色
45	516	D2 003 2層上層		陶生土器	高环	21.7/31.0/16.0	环部と脚部の一部付指。外側と口縁の内側に丹塗りが残る
46	517	003 NO.16		陶生土器	甕	-/-/28-	口縁片。色調は灰褐色
46	518	003 NO.37		陶生土器	甕	24.3/20.49.6	直断片。外側は墨渦。色調は灰褐色
46	519	003		陶生土器	甕	-/-/26.2-	直断片。脚部口縁。脚部に二条の断面三角形の突起。色調は灰褐色
46	520	003 NO.13		陶生土器	甕	-/-/7.6	直断片。色調は灰褐色
46	521	003 NO.3		陶生土器	甕	-/-/7.9	直断片。表面に後述の穴孔。色調は灰褐色
46	522	003 NO.24		陶生土器	甕	-/-/40.6-	口縁一部断片。大型品。脚部口縁と脚部下半に断面白台形の突起が2条つつ。色調は灰褐色
46	523	003 NO.27-1		陶生土器	甕	-/-/19.0-	口縁一部断片。脚部口縁。脚部に断面白台形の突起。色調は灰褐色
46	524	003 NO.26		陶生土器	甕	-/-/19.4-	口縁一部断片。脚部口縁。脚部に断面白台形の突起。色調は灰褐色
46	525	003 NO.2		陶生土器	甕	-/-/25.8-	脚部口縁。脚部に断面白台形の突起。色調は灰褐色
47	526	003 NO.13		陶生土器	甕	-/-/-	脚部一部断片。脚部に断面白台形の突起
47	527	003 NO.10		陶生土器	甕	32.4/20.1/7.7	口縁欠損。色調は灰褐色。口縁一部断面上に墨渦
47	528	003 NO.22		陶生土器	甕	10.4/5.6/5.3	小型の錐状口縁。調整はナダ。色調は灰褐色

## 出土遺物観察表

持団 (FIG.)	図版 (PL.)	番号	地区・層位・遺構	遺物の種類	器形	法面 (高さ・口径・底径・ 長さ・幅・厚さ(cm))	特徴
47	26	529	003 NO.31	陶生土器	壺	12.0×11.5.1	無頸壺、口縁・底部片、外面と内面に丹塗り
47		530	003 NO.27-2	陶生土器	壺	-/-/-	口縁片、内面に断面台形の突堤、色調はにい・暗色
47		531	003 NO.21-2	陶生土器	壺	-/-/-	底盤片、色調はにい・暗色
47		532	003 NO.34	陶生土器	壺	-/-/9	無頸壺の颈部～底盤片、色調は灰色
47	26	533	003 NO.14	陶生土器	壺台	8.6×8.6/9.7	実形・色調は明黄褐色
47		534	003 NO.15	陶生土器	壺台	9.5×10.2/9.1	口縁・一部欠損、底口は浅黄褐色
47	26	535	003 NO.12	陶生土器	壺台	10.9×11.7/12.4	ほぼ実形・色調は浅黄褐色
47	26	536	003 NO.18	陶生土器	壺台	-/-/12.5	口縁・一部欠損、色調は浅黄褐色
47	26	537	003 NO.4	角生土器	壺台	16.6×12.7/12.6	実形・色調は青褐色
47		538	003 NO.35	陶生土器	壺台	17.3×12.2/14.5	ほぼ実形・色調は浅黄褐色
47	26	539	003 NO.9	陶生土器	壺台	17.5×12.8/13.5	実形・色調はにい・黄褐色
48	26	540	003 NO.32	陶生土器	壺台	-/-/12.8	口縁・一部欠損、色調は浅黄褐色
48	26	541	003 NO.30	陶生土器	壺台	-/15.8/-	直部欠損、色調は暗褐色
48		542	003 NO.33	陶生土器	壺台	-/-/12.4	口縁欠損、色調は青褐色
48	26	543	003 NO.29	陶生土器	壺台	-/-/12.7	口縁欠損、色調は浅黄褐色
48		544	003 NO.25	陶生土器	壺台	-/-/13.7	口縁欠損、色調はにい・青褐色
48		545	003 NO.20	陶生土器	壺台	-/-/6.1	口縁欠損、色調はにい・青褐色
48	26	546	003 NO.21-1	陶生土器	高杯	-/26.5/-	杯部、内外面に丹塗り、脚部との接合部分にヘラ状工具の跡み
48		547	003 NO.36	陶生土器	高杯	-/31.5/-	杯部、内外面に丹塗り
48		548	003 NO.8	陶生土器	高杯	-/-/18.0	脚部、板面・円形の透かし孔、色調はにい・暗色
48		549	003 NO.11	陶生土器	高杯	-/-/21.4	脚部下部～脚部、板面・円形の透かし孔、色調は浅黄褐色、外面に朱色
48	26	550	003 NO.38	陶生土器	高杯	-/-/21	脚部、板面の四方方に円形の透かし孔、色調は明黄褐色
48		551	003 NO.1	陶生土器	高杯	-/-/14.2	脚部、色調は暗褐色
48		552	003 NO.7	陶生土器	高杯	-/-/19.6	脚部、色調は青褐色
48		553	003 NO.5	陶生土器	高杯	-/-/-	脚部、作業用杆部の内側に丹塗り
49		554	003 NO.18	陶生土器	高杯	-/-/19.5	脚部、色調は暗褐色
49	27	555	003 NO.11	陶生土器	高杯	-/-/17.8	脚部、板面に円形の透かし孔、色調はにい・暗色
49	27	556	003 NO.28	陶生土器	鉢	13.9×9.9/9.3	直部・施塗前の穿孔、色調は暗褐色
49		557	003 NO.6	陶生土器	鉢	13.6×22.9/7.2	直部に施塗前の穿孔、色調は暗褐色
49	27	558	003 NO.23	陶生土器	鉢	10.9×14.0/6.6	ほぼ実形・口縁内面に一組丹塗り、色調はにい・暗色
49	27	559	003 NO.17	陶生土器	鉢	6.0×13.4/8.5	実形・口縁内面と底面内面に二組丹塗り、色調はにい・青褐色
49	27	560	003	陶生土器	鉢	11.3×14.3/6.5	約14種類、色調は暗褐色
50		561	A3 滲横面 (GL=40cm)	陶生土器	壺	-/-/-	口縁片、底部に露窓又、色調は浅黄褐色
50		562	A3 滲横面 (GL=40cm)	陶生土器	壺	-/-/-	口縁片、使用口縁、東海系、色調は黒褐色
50		563	A3 滲横面 (GL=40cm)	陶生土器	鉢	13.7×14.5/5.2	口縁・一部欠損、色調はにい・青褐色
50	27	564	A3 トレンチ5 口縁内面含	土陶器	瓶	-/-/-	直部片、底部に複数の円形の孔
50		565	A3 滲横面 (GL=40cm)	陶生土器	ミニチュア壺	4.6×6.0/2.3	ほぼ実形・手づな、色調はにい・青褐色
50		566	A3 滲横面 (GL=40cm)	陶生土器	竹子形土製品	-/-/-	把手部分、色調はにい・青褐色
50		567	A3 滲横面 (GL=40cm)	土製品	円錐状土製品	-/-/-	13種存、色調はにい・青褐色
50	27	568	A3 滲横面 (GL=20cm)	実遺土器	鉢	-/-/-	直軸様ナギ、色調は灰白色
50	27	569	B2 台食器	馬転輪器	木柵	-/-/-	耳の部分、色調は黒褐色
50		570	B2 滲横面	白磁	瓶	-/-5.4	底盤片、色調は灰白色
50		571	B2 滲横面	青磁	瓶	-/-4.3/-	口縁片、越州窯系青磁、釉色はにい・黄色
50		572	B2 滲横面	青磁	瓶	-/-17.5/-	口縁片、越州窯系青磁、釉色はオリーブ灰色
50		573	B2 滲横面	青磁	瓶	-/-/-	口縁片、越州窯系青磁、釉色はオリーブ灰色
50		574	B2 滲横面 (GL=20cm)	青磁	瓶	-/-19.5	底盤片、越州窯系青磁、平面・見込みと底部に粗目、色調は浅黄褐色
50	27	575	B2 トレンチ2 (GL=0~20cm)	青磁	瓶	-/-16.7	底盤片、越州窯系青磁、上部直筒形、見込みと底部に粗目、釉色はオリーブ黄色
50		576	B2 滲横面	青磁	瓶	-/-6.9	底盤片、底の粗目台、釉色はけいべい・赤、胎土は灰褐色

出土遺物鉱床表

発掘場 (FIG.)	図版 (PL.)	番号	地区・層位・遺構	遺物の種類	器形	法面 (高さ・幅・底径・ 長さ・幅・厚さ(cm))	特徴
50	577	B2	遺構面	青磁	瓶	—×—×5.5	直縁片、越州窯系青磁、輪底高台、見込みと底部に目跡、白色はオリーブ黄色
50	27	578	B2 遺構面	絆物陶器	瓶	—×—×5.2	直縁片、平底、白色はオリーブ色、胎土は灰白色
50	579	B2 遺構面	青磁	瓶			直縁片、越州窯系青磁、胎土はオリーブ黄色
50	27	580	B2 収合層	絆物陶器	瓶	—×—×4.4	直縁片、白色はオリーブ色
50	27	581	B2 遺構面	絆物陶器	皿	2.4×11.9×4.4	口縁～直縁片、蓋の可能性あり、白色はオリーブ色、胎土は灰白色
50	582	B2 遺構面	土器器	瓶	—×—×5	直縁片、平底、白色はオリーブ色、胎土は灰白色	
50	583	B2 遺構面	土器器	瓶	—×—×5.2	直縁片、口の字形に開き高台、内裏、白色はオリーブ色	
50	584	B2 遺構面	土器器	瓶	—×—×4	直縁片、口の字形に開き高台、白色はオリーブ色	
50	585	B2 遺構面	土器器	瓶	—×—×4.8	直縁片、口の字形に開き高台、内裏、白色はオリーブ色	
50	586	B2 遺構面	土器器	杯	—×—×4	直縁片、口の字形に開き高台、白色はオリーブ色	
50	587	B3 遺構面 (GL=40cm)	甕層	土器器	甕	—×—×—	直縁片、外腹タキ、白色は灰白色
50	588	B2 遺構面	遺構器	甕			天井部、葛平等宝珠模みがつ、白色は灰白色
50	589	B3 遺構面 (GL=20cm)	遺構器	甕	—×—×3.3	直縁片、高台付、白色は灰白色	
50	590	B2 遺構面	遺構器	甕	—×—×—	口縁片、白色は灰白色	
50	591	B2 遺構面	遺構器	甕			直縁片、白色は灰白色
51	27	592	B2 遺構面	遺構器	甕	—×—×7.7	口縁～直縁片、白色は灰色
51	593	B2 遺構面	遺構器	甕			直縁片、白色は灰白色
51	27	594	B2 遺構面 (GL=40cm) 甕層	遺構器	甕	4.2×14.5×—	天井部～口縁片、天井部のはば全面に凹輪ヘケゲリ、口縁との境に梗、白色は灰黑色
51	595	B2 遺構面	遺構器	高环			梗部が、外側に根巻き波状紋、色調は灰色
51	596	B4 遺構面 (黒色土)	微生物土器	甕	—×—×7.6	直縁～直縁片、色調は灰褐色	
51	28	597	B3 遺構面 (GL=20cm)	微生物土器	甕	—×—×—	直縁片、中央に1個丸、白色は灰褐色
51	598	B3 遺構面 (GL=40cm)	微生物土器	甕	—×—×5.3	直縁片、表面に1つの葉の笠状紋、色調は灰褐色	
51	599	B4 遺構面 (黒色土)	微生物土器	甕	—×—×14.8×5.5	口縁～直縁片、色調は褐色	
51	600	B3 遺構面 (GL=40cm)	砂質	微生物土器	ミニチュア土器	—×—×3.2	口縁～直縁片、色調は灰褐色
51	601	B4 遺構面 (黒色土)	微生物土器	高环	13.7×14.5×11.0	口縁～直縁片、色調は灰褐色	
51	602	B3 遺構面 (GL=20cm)	微生物土器	把手	—×—×—	ジョウナツ土器などの把手か、白色は褐色	
51	603	B4 黒色土～甕層	微生物土器	椅子形土製品	—×—×—	把手は灰褐色、色調は灰褐色	
51	604	B2 遺構面 (GL=20cm)	微生物土器	口	—×—×—	口部部分、白色は褐色	
51	605	B2 遺構面 (GL=40cm)	土製品	円錐土製品	—×—×—	土器片の圓錐形打たれ穴、白色は灰褐色	
51	606	B3 003 東京層土	微生物土器	甕	—×—×6.7	直縁片、色調は灰褐色	
51	607	B3 003 (路傍部) 盆土	微生物土器	甕	—×—×7.6	直縁片、色調は灰褐色	
51	608	B3 003 (路傍部) 甕状(列)	微生物土器	甕	—×—×—	直縁片、白色は灰褐色	
52	28	609	C2 遺構面	青磁	瓶	—×—×5.4	腹底窓系青磁、直縁片、高台内側には輪を残さず、白色はオリーブ黄色
52	610	C2 遺構面	白磁	瓶	—×—×12.2×—	五線口縁、頬、白色は灰白色	
52	28	611	C2 遺構面 (GL=20cm)	青磁	瓶	—×—×5.6	直縁片、越州窯系青磁、輪底高台、白色はオリーブ黄色
52	612	C2 遺構面 (GL=20cm)	青磁	瓶	—×—×7.7	直縁片、越州窯系青磁、輪底高台、白色は灰褐色	
52	28	613	遺構面	青磁	瓶	—×—×7.9	直縁片、越州窯系青磁、輪底高台、白色はオリーブ色
52	28	614	C2 遺構面 (GL=20cm)	青磁	瓶	—×—×—	口縁片、越州窯系青磁、輪底高台、白色は灰褐色
52	28	615	C2 遺構面	白磁	瓶	—×—×10.1	直縁片、白色は灰白色
52	616	C2 遺構面 (GL=20cm)	青磁	瓶	—×—×7.6	直縁片、越州窯系青磁、上げ底気味、見込みと底部に目跡、白色はオリーブ黄色	
52	28	617	遺構面	青磁	瓶	—×—×7.5	直縁片、越州窯系青磁、上げ底気味、見込みと底部に目跡、白色はオリーブ黄色
52	618	C2-C1 沖山上部 (GL=0~10cm)	青磁	瓶	—×—×10	直縁片、越州窯系青磁、平底、見込みと目跡、輪は出でている	
52	619	C2 遺構面	青磁	瓶	—×—×—	越州窯系青磁、直縁片、見込みと底部に目跡、白色は灰白色	
52	620	C2-C1 沖山上部 (GL=0~10cm)	青磁	瓶	—×—×8.0	直縁片、越州窯系青磁、平底、見込みと底部に目跡、白色は灰白色	
52	621	C2 遺構面	青磁	皿	—×—×—	口縁片、輪底は灰褐色	
52	622	C2-C1 沖山上部 (GL=0~10cm)	絆物陶器	瓶	—×—×7	直縁片、田軒条切口、内面に若干擦れがある、白色は灰白色	
52	623	C2 遺構面 (GL=20cm)	土器器	甕	—×—×7.1	直縁片、高台付、内裏、白色は褐色	
52	624	遺構面	土器器	甕	—×—×7.8	直縁片、高台付、白色は灰褐色	

出土遺物鉱床表

持団 (FIG.)	図版 (PL.)	番号	地区・層位・遺構	遺物の種類	器形	法量 (器高・口径・底径・ 長さ・幅・厚さ(cm))	特徴
52	625	C2 清横面		土師器	瓶		直断片、高台付、色調は褐色
52	626	C2 清横面		土師器	杯	-/-7	直断片、色調は褐色
52	627	C2 清横面		土師器	杯	-/-6.9	直断片、底部はハラ切り、色調は褐色
52	628	C2 清横面		清器器	蓋	-/-/-	天井断片、断平の縁み、色調は灰白色
52	629	C2 ハンチ4 (GL-20cm)		清器器	杯	3.6/11.5/8.2	口縁へ進部、高台付、色調は灰白色
52	630	C2 清横面		土師器	瓶	-/-8.3	直断片、高台付、色調は褐色
52	631	C2 清横面 (GL-20cm)		清器器	杯	-/-/-	直断片、高台付、色調は灰白色
52	632	C2 清横面 (GL-20cm)		清器器	杯	-/-9.6	直断片、高台付、色調は灰白色
52	633	C2 清横面 (GL-20cm)		清器器	杯	-/-10.3	直断片、高台付、色調は明褐色
52	28	634	C2 清横面 (GL-20cm)	清器器	杯	-/-8	直断片、高台付、高台に「三」字彫刻、色調は灰白色
52	28	635	C2 清横面 (GL-20cm)	清器器	蓋		直断片、裏面に萬字な文字、色調は灰白色
52	636	C2 清横面 (GL-25cm)		清器器	瓶	-/-/-	直断片、内面が「U」字型の縁め、軸用裡か
52	637	C2 清横面 (GL-20cm)		土師器	甕		直断片、外面にタキ
52	638	C2 清横面 (GL-20cm)		土師器	甕	-/-16.2-	口縁へ進部付、腹脚不規、色調は灰褐色
52	639	C2 清横面		清器器	杯身		口縁上、色調は灰白色
52	640	C2 清横面 (GL-25cm)		清器器	杯身		直断片、口縁欠損、色調は灰白色
52	641	C2 清横面 (GL-20cm)		清器器	ハソウ		直断片、外に朱墨書き清跡、色調は灰白色
52	642	C2 清横面 (GL-25cm)		土製品	洞口	-/-/-	先端斜片、壁面滑離している、孔径3.2cm
53	28	643	C2 0031層	東良土器	鉢	-/-8.8	直断片、表面に朱墨書き痕跡、色調は灰白色
53		644	C2 0031層下層	東良土器	鉢		直断片、色調は灰紫色
53	28	645	C2 ハンチ4 (GL-20cm)	三時系土器	甕		直断片、外面にタキ、色調は灰白色
53		646	C2 清横面 (GL-40cm)	土師器	口縁	-/-14.6-	直断文様、腹部はハソウ、色調は灰褐色
53		647	C2 清横面 (GL-20cm)	土師器	甕	-/-11.8	口縁文様、底脚約平底、色調は褐色
53		648	C2 清横面 (GL-20cm)	仰生土器	脚付鉢	-/-17.1	脚部、色調は褐色
53		649	C2 清横面 (GL-20cm)	仰生土器	脚付鉢	-/-/-	脚部、色調は褐色
53	28	650	C2 清横面 (GL-20cm)	仰生土器	洞口	-/-/-	径1.5cmの注口付の土器、外側に丹塗りの跡跡
53	28	651	C2 清横面 (GL-20cm)	仰生土器	支脚	10.3/9.5/12.4	舟型の支脚、ほぼ完形、色調は灰褐色
53	29	652	C2 清横面 (GL-20cm)	仰生土器	支脚	10.1/7.1/11.9	舟型の支脚、ほぼ完形、色調は灰褐色
53	29	653	C2 清横面 (GL-40cm)	仰生土器	?	-/-/-	半円形足線にハソウ、色調は褐色
53		654	C2 清横面 (GL-40cm)	仰生土器	鉢	4.6/10.3/3.6	ほぼ完形、色調は灰褐色
53		655	C2 清横面	仰生土器	「ニチニア土器」	3.6/4.8/-	ほぼ完形、手づなれ、色調は灰褐色
53		656	C2 清横面	土師器	瓶ケ	-/-/-	把手、色調は灰褐色
54	657	D2 清横面 (GL-20cm)		白磁	瓶	-/-/-	口縁片、白色はリーフ灰色
54	658	D2 横出面 (GL-20cm)		青磁	瓶	-/-16.0-	越州窯青磁、口縁片、釉色は明灰オーブ色
54	659	D2 清横面		青磁	瓶	-/-8.8	越州窯青磁、直断片、見込みに目詰、釉色は明灰オーブ色
54	660	D2 清横面		青磁	瓶	3.1/3.3/4.4	口縁へ進部片、釉色は灰白色
54	29	661	D2 清横面 (GL-20cm)	緑釉陶器	瓶	-/-5.0	直断片、底部の凹窓には目詰あり、釉色はオリーブ色、胎土は灰白色
54	662	D2 清横面 (GL-20cm)	緑釉陶器	瓶	-/-16.2-	口縁片、釉色は灰オリーブ色	
54	663	D2 清横面 (GL-20cm)	緑釉陶器	瓶	-/-8.7	輪状高台、底部の凹窓には目詰へラズベズ、釉色はオリーブ色、胎土は灰褐色	
54	664	D2 清横面 (GL-20cm)	緑釉陶器	瓶	-/-/-	口縁片、釉色はオリーブ、胎土は灰白色	
54	665	D2 レンチ (GL-0~14cm)	緑釉陶器	瓶	-/-5.3	輪状高台、更込みはミカキ、釉色はほとんどない、胎土は灰白色	
54	666	D2 レンチ (GL-0~10cm)	土師器	瓶	-/-8.4	直断片、ハソウの字形に開く高台、色調は灰褐色	
54	667	D2 清横面 (GL-20cm)	土師器	瓶	-/-7.8	直断片、ハソウの字形に開く高台、色調は灰褐色	
54	668	D2 清横面 (GL-20cm)	土師器	瓶	-/-6.9	直断片、ハソウの字形に開く高台、色調は灰褐色	
54	669	D2 003 斎要込舟座		土師器	瓶	-/-7.5	直断片、ハソウの字形に開く高台、色調は褐色
54	670	D2 レンチ (GL-10cm)		土師器	瓶	-/-7.6	直断片、ハソウの字形に開く高台、色調は褐色
54	671	D2 レンチ (GL-0~10cm)		土師器	瓶	-/-7.6	直断片、ハソウの字形に開く高台、色調は褐色
54	672	D2 レンチ (GL-0~10cm)		土師器	瓶	-/-8.2	直断片、ハソウの字形に開く高台、色調は褐色

出土遺物相容表

掲図 (FIG.)	図版 (PL.)	番号	地区・層位・遺構	遺物の種類	器形	法量 (器高・口径・底径・ 長さ等・厚さ(cm))	特徴
54	673	D2	梯状面 (GL-20cm)	土器器	瓶	—~9.7	直部片、ハの字形に開く高台、色調は褐色
54	674	D2	直横面 (GL-20cm)	土器器	瓶	—~9.6	直部片、ハの字形に開く高台、色調は灰白色
54	675	D2	直横面 (GL-20cm)	土器器	瓶	—~9.5	直部片、ハの字形に開く高台、色調は灰褐色
54	676	D2	直横面 (GL-20cm)	土器器	瓶	—~9.3	直部片、ハの字形に開く高台、色調は褐色
54	677	D2	直横面 (GL-20cm)	土器器	瓶	2.8~12.8±6.6	口縁・直部片、直部の「D」窪・深、色調は褐色
54	678	D2	直横面	直部器	瓶	—~10.5	直部片、直部の「ハ」や内側に高台、色調は灰白色
54	679	D2	直横面 (GL-20cm)	直部器	瓶	—~10.4	直部片、直部の「ハ」や内側に高台、色調は灰白色
54	680	D2	直横面	直部器	瓶	—~10.5	直部片、直部の「ハ」や内側に高台、色調は灰白色
54	29	681	D2 梯横面	土器器	甕口	—~—	両端を丸く、孔径2.1cm
54	682	B-D2	直横面	直部器	瓶	—~15.1	直部片、色調は褐色
54	683	D2	トレシ (GL-0~10cm)	直部器	片身	—~12.0	口縁片、直部の「ハ」や内側に高台、色調は灰白色
54	684	D2	直横面 (GL-20cm)	直部器	片身	—~—	口縁片、直部欠損、片身の「D」窪・深、色調は灰褐色
54	685	D2	直横面 (GL-20cm)	直部器	片身	—~10.8	口縁片、直部山形面灰白色
54	686	D3	合食甕 (GL-20cm)	直部器	片身	—~12.~	口縁片、色調は褐色
54	687	D3	合食甕 (GL-20cm)	直部器	甕	—~—	口縁片、外側に櫛目状文、色調は灰色
54	688	D2	直横面 (GL-20cm,GL-40cm)	直部器	甕	—~—	口縁片、外側に櫛目状文、色調は褐色
54	29	689	D2 トレシ (GL-0~10cm)	陶質土器	高坪もしくは鉢	—~—	把手、色調は灰褐色
54	29	690	D3 梯横面 (GL-20cm)	三脚系土器	甕	—~—	脚部片、外側に窪かい平行タスキカキア、色調は灰褐色
54	691	D3	直横面 (GL-20cm)	三脚系土器	甕	—~—	脚部片、外側にタスキカキア、色調は灰色
54	692	D2	直横面 (GL-20cm)	土器器	甕	—~—	移動式式脚片、外側はタスキ後カキア、色調は黒褐色
54	693	D2	直横面 (GL-20cm)	土器器	甕	—~—	脚部片、外側は旋方向の平行タスキ、内側はヘケズリ、色調は褐色
54	694	D2	直横面 (GL-40cm)	土器器	瓶	—~—	把手、色調は灰褐色
54	29	695	D2 梯横面 (GL-20cm)	土器器	瓶	—~—	把手、色調は褐色
54	696	D2	溝上面	土器器	瓶	—~—	把手、棒状で直角的、色調は灰褐色
54	697	D2	合食甕 (GL-0~30cm)	土器器	甕	—~19.5~	口縁片、布方式、色調は灰褐色
54	698	D3	合食甕 (GL-20cm)	土器器	甕	—~—	口縁片、棒状・円錐・山腹系、色調は黒褐色
54	699	D2	直横面 (GL-20cm)	土器器	高坪	—~—	脚部、輪郭に円形の透かし穴、色調は灰褐色
54	29	700	D2 梯横面 (GL-20cm)	先生土器	支脚	—~17.2±8	直底・後残存、側面縫隙残す、凸面A部タスキ、色調は青褐色
55	29	701	B2 003 1層下層	瓦	平瓦	—	側・後残存、側面縫隙残す、凸面A部タスキ、色調は青褐色
55	29	702	D2 トレシ	瓦	平瓦	—	側面残存、側面縫隙残す、凸面A部タスキ、色調は褐色
55	29	703	C2 溝横面 (GL-20cm)	瓦	平瓦	—	側面残存、側面縫隙残す、凸面A部タスキ、色調は褐色
55	29	704	D2 梯横面	瓦	平瓦	—	側面残存、側面縫隙残す、凸面A部タスキ、凹面側面、色調は灰白色
55	29	705	B2 梯横面	瓦	平瓦	—	側面残存、側面縫隙残す、色調は灰白色
55	30	706	C2 梯横面	瓦	平瓦	—	側面残存、側面縫隙残す、凸面A部タスキ、凹面付近はナデ、色調は暗褐色
55	30	707	B2 梯横面	瓦	平瓦	—	側面残存、凸面A部タスキ、凹面付近はナデ、色調は暗褐色
55	708	C2	梯横面	瓦	平瓦	—	側面残存、側面縫隙残す、凸面A部タスキ、色調は灰白色
55	30	709	C2 梯横面	瓦	平瓦	—	側面残存、側面縫隙残す、凸面A部タスキ、色調は灰白色
55	30	710	D2 梯横面 (GL-20cm)	瓦	平瓦	—	側面残存、側面縫隙残す、凸面A部タスキ、色調は褐色
55	30	711	D2 梯横面	瓦	平瓦	—	側面残存、側面縫隙残す、凸面A部タスキ、色調は灰白色
55	30	712	C2 梯横面	瓦	平瓦	—	側面残存、凸面A部タスキ、凸面B部土台の合せ目、色調は灰白色
55	713	C2	梯横面	瓦	平瓦	—	側面残存、凸面A部タスキ、色調は灰白色
55	714	A2	梯横面	瓦	平瓦	—	側面残存、凸面A部タスキ、色調は灰白色
55	30	715	D2 梯横面 合食甕	瓦	平瓦	—	側面残存、側面縫隙残す、凸面A部タスキ、色調は灰白色
55	716	D2 トレシ	瓦	平瓦	—	側面残存、凸面A部タスキ、色調は灰白色	
55	30	717	C2 梯横面 (GL-20cm)	瓦	平瓦	—	側面残存、側面縫隙残す、凸面A部タスキ、色調は灰白色
55	30	718	D2 梯横面	瓦	平瓦	—	側・後残存、側面縫隙残す、凸面A部タスキ、色調は灰白色
55	719	D2 梯横面 (GL-20cm)	瓦	平瓦	—	側・後残存、凸面A部タスキ、色調は灰褐色	
55	720	B2 梯横面	瓦	平瓦	—	側面残存、側面縫隙残す、凸面A部タスキ、色調は灰白色	

出土遺物目録表

発掘地(FIG.)	団版(PL.)	番号	地区・層位・遺構	遺物の種類	器形	法量 (器高・口径・底径・ 長さ幅・厚さ(cm))	特徴
56	30	721	D2 滝横面 (GL-20cm)	瓦	平瓦		側面残存、側面縫隙残す。△面A部タキ、色調は青灰色
56	31	722	B2 滝横面	瓦	平瓦		側面残存、△面A部タキ、色調に少し緑色
56	31	723	D2 滝横面 (GL-0~20cm)	瓦	平瓦		側面残存、△面A部タキ、色調は灰青色
57	31	724	B2 滝横面	瓦	平瓦		側面残存、側面縫隙残す。△面B部タキ、色調に少しあざれ色
57	31	725	C2 滝横面	瓦	平瓦		側・底面欠損、△面B部タキ、色調は灰白色
57		726	D2 003 2層上層	瓦	平瓦		側・底面欠損、△面B部タキ、色調は灰白色
57	31	727	C2 滝横面	瓦	平瓦		裏面残存、△面B部タキ、色調は灰青色
57		728	C2 滝横面	瓦	平瓦		側面残存、側面縫隙残す。△面B部タキ、色調は灰白色
57	31	729	D2 滝横面 (GL-20cm)	瓦	平瓦		側面残存、側面縫隙残す。△面B部タキ、裏面付近はナデ、色調は褐色
57		730	A2 滝横面	瓦	平瓦		側・底面欠損、△面B部タキ、色調は灰白色
57	31	731	C2 滝横面	瓦	平瓦		側面残存、側面縫隙残す。△面B部タキ、色調は灰白色
57		732	A2 滝横面	瓦	平瓦		側面残存、側面縫隙残す。△面B部タキ、色調は灰白色
57		733	D2 003 1層下層	瓦	平瓦		裏面残存、△面B部タキ、色調に少し緑色
57	31	734	D2 滝横面 (GL-20cm)	瓦	平瓦		裏面残存、△面B部タキ、色調は灰白色
57	31	735	C2 滝横面	瓦	平瓦		裏面残存、△面B部タキ、色調は灰白色
57		736	C2 滝横面	瓦	平瓦		側面残存、△面B部タキ、色調は灰白色
58		737	B2 滝横面	瓦	平瓦		側面残存、△面B部タキ、色調は灰白色
58		738	C2 滝横面	瓦	平瓦		裏面残存、△面B部タキ、色調は青灰色
58		739	D2 003 <4> 1層上層	瓦	平瓦		側面残存、側面縫隙残す。△面A部タキ、色調は灰白色
58		740	B2 滝横面	瓦	平瓦		側・底面残存、側面縫隙残す。△面Aナデ、一部タキがこのこ。色調は灰白色
58		741	B2 滝横面	瓦	平瓦		側・底面残存、側面縫隙残す。△面A部タキ後ナデ、色調は明暁灰色
58		742	B2 滝横面	瓦	平瓦		裏面残存、△面A部タキ後ナデ、色調は灰白色
58		743	B2 滝横面	瓦	平瓦		側・底面残存、側面縫隙残す。△面Aナデ、一部タキがこのこ。色調は青灰色
58	31	744	B2 滝横面	瓦	平瓦		側・底面残存、側面縫隙残す。△面A部タキ後ナデ、色調は灰白色
58		745	B2 滝横面	瓦	平瓦		側・底面残存、側面縫隙残す。△面Aナデ、色調は灰白色
58		746	B2 滝横面	瓦	平瓦		側・底面残存、側面縫隙残す。△面Aナデ、色調は灰白色
58		747	B2 滝横面	瓦	平瓦		側・底面残存、側面縫隙残す。△面Aナデ、色調は灰白色
58		748	C2 滝横面	瓦	平瓦		裏面残存、△面Aナデ、色調は灰白色
58	32	749	C2 滝横面	瓦	平瓦		裏面残存、△面Aナデ、色調は灰白色
59	32	750	D2 滝横面	瓦	丸瓦		裏面残存、△面Aナデ、柱面・丸土板・丸セリ等。色調は白色
59		751	D2 滝横面 (GL-20cm)	瓦	丸瓦		裏面残存、△面Aナデ、柱面・丸土板・丸セリ等。色調は白色
59		752	C2 滝横面	瓦	平瓦		裏面残存、△面Aナデ、色調は灰白色
59		753	D2 滝横面	瓦	平瓦		側・底面残存、側面縫隙残す。△面Aナデ、色調は灰白色
59		754	C2 滝横面	瓦	平瓦		側面残存、△面Aナデ、色調は青色
59		755	B2 滝横面	瓦	平瓦		側・底面残存、側面縫隙残す。△面Aナデ、柱面に粘土板合わせ。色調は白色
59		756	B2 滝横面	瓦	平瓦		裏面残存、△面Aナデ、色調は灰白色
59		757	B2 滝横面	瓦	平瓦		裏面残存、△面Aナデ、色調は灰白色
59		758	C2 滝横面	瓦	平瓦		裏面残存、△面Aナデ、色調は青灰色
59		759	C2 滝横面	瓦	平瓦		側・底面残存、側面縫隙残す。△面Aナデ、色調は灰白色
59	32	760	C2 滝横面	瓦	平瓦		側・底面残存、△面Aナデ、色調は青灰色
59		761	D2 滝横面	瓦	平瓦		裏面残存、△面B部タキ、色調は青灰色
60	32	762	B2 滝横面	瓦	丸瓦		玉縁、△面B部タキ、色調は青灰色
60	32	763	A2 滝横面	瓦	平瓦		側面残存、△面B部タキ、色調に少し緑色
60		764	C2 滝横面	瓦	丸瓦		側面残存、側面縫隙残す。△面B部タキ後ナデ、色調は灰白色
60		765	C2 滝横面	瓦	丸瓦		側・底面残存、側面縫隙残す。△面B部タキ後ナデ、色調は青灰色
60		766	D2 滝横面	瓦	丸瓦		側・底面残存、△面B部タキ、裏面付近はナデ、色調は灰白色
60	32	767	D2 滝横面	瓦	平瓦		側面残存、側面縫隙残す。△面B部タキ後ナデ、色調は灰白色
60		768	C2 滝横面	瓦	丸瓦		側・底面残存、側面縫隙残す。△面Aナデ、色調は青灰色

出土物類別表

件名 (FIG.)	図版 (PL.)	番号	地区・層位・遺構	遺物の種類	器形	法量 (高×口径×底径×厚さ(cm))	特徴
61	33	769	A3 溝横面 (GL-20cm)	石製品	石鏃	6.4/3.5/2.77g	漆石、紺縫形、下端平坦、中位に1個穿孔、穿孔より上方に長軸方向に溝
61	33	770	B4 溝横面 (黑色土)	石製品	石鏃	4.2/1.6/1.7g	漆石、棒円形、長軸方向に溝がある
61	33	771	B2 溝横面	石製品	石鏃	5.1/1.2/1.87g	紺縫形、長軸方向に1条の溝がある、漆石
61	33	772	B4 溝横面 (黑色土)	石製品	石鏃	4.7/1.6/1.4g	漆石、棒円形、両端平坦、長軸と短軸方向に溝がある
61	33	773	D2 溝横面 (GL-20cm)	石製品	石鏃	5.0/1.6/1.62g	一端を欠く、長軸と短軸に1条の溝がある、漆石
61	33	774	B2 003 2層	石製品	石鏃	6.7/3.0/2.57g	漆石、棒円形、両端平坦、中位に1個穿孔、穿孔より上方に長軸方向に溝
61	33	775	B3 溝横面 (GL-40cm) 砂質	石製品	石鏃	6.5/3.5/5.01/0.7g	漆石、紺縫形、下端丸み、中位に1個穿孔、穿孔より上方に長軸方向に溝
61	33	776	C2 溝横面 (GL-20cm)	石製品	石鏃	8.3/4.7/4.2/2.0g	漆石、紺縫形、下端丸み、中位に1個穿孔、穿孔より上方に長軸方向に溝
61	33	777	D2 トレンチ 5層下面	石製品	石鏃	10.0/4.1/0.9/1.61g	漆石、紺縫形、下端丸み、中位に1個穿孔、穿孔より上方に長軸方向に溝
62	33	778	A3 003 トレンチ 5層上面	石製品	石鏃	6.2/1.3/1.7g	漆石、両端が凸に溝がある
62	33	779	A3 003 2層	石製品	石鏃	7.4/4.6/3.1/1.5g	漆石、紺縫形、下端平坦、下位に1個穿孔、穿孔より上方に長軸方向に溝
62	33	780	B3 溝横面 (GL-20cm)	石製品	石鏃	7.4/4.0/2.5/0.9g	漆石、紺縫形、下端丸み、中位に1個穿孔、穿孔より上方に長軸方向に溝
62	33	781	B3 003 1層下層	石製品	石鏃	6.5/4.2/0.8/1.2g	漆石、紺縫形、下端平坦、中位に1個穿孔、穿孔より上方に長軸方向に溝
63	33	782	A3 003 2層	石製品	石鏃	9.3/4.6/3.8/2.0g	漆石、紺縫形、両端平坦、下位に1個穿孔、穿孔より上方に長軸方向に溝
63	33	783	C2 溝横面 (GL-20cm)	石製品	石鏃	10.3/3.4/3.2/2.0g	漆石、紺縫形、両端丸み、下位に1個穿孔、穿孔より上方に長軸方向に溝
63	33	784	A3 溝横面 (GL-40cm)	石製品	石鏃	9.3/3.6/2.6/1.2g	漆石、紺縫形、下位に1個穿孔、穿孔より上方に長軸方向に溝
63	33	785	C2 溝横面	石製品	石鏃	9.4/2.3/1.8/0.9g	漆石、紺縫形、下端丸み、中位に1個穿孔、穿孔より上方に長軸方向に溝
63	33	786	D2 溝横面 (GL-20cm)	石製品	石鏃	4.0/2.3/0.2/1g	漆石、下半平端、穿孔あり
63	33	787	B2 溝横面	石製品	石鏃	3.0/3.4/0.7	漆石、穿孔あり、縫合の文様付き
64	33	788	B3 003 1層上面	石製品	石鏃	8.2/3.6/2.6/1.3g	漆石、紺縫形、下端平坦、長軸側面に溝がある
64	33	789	D2 溝上面	石製品	石鏃	10.4/5.0/3.0/0.4g	漆石、棒円形、長軸方向に溝がある
64	34	790	C2 溝横面 (GL-20cm)	石製品	石鏃	9.2/3.7/4.9/2.0g	漆石、紺縫形、下端丸み、長軸側面に溝
64	34	791	B2 溝横面 (GL-20cm)	石製品	石鏃	9.3/6.0/5.1/3.14g	漆石、下半斜方端、成形边上での欠損品
64	34	792	B2 003 1層下層	石製品	石鏃	9.5/4.2/3.2/1.6g	漆石、未製品、紺縫形、未研磨
64	34	793	B2 トレンチ2 (GL-40~50cm)	石製品	石鏃	7.0/4.3/3.5/1.3g	漆石、未製品、紺縫形、未研磨
64	34	794	B2 溝横面	石製品	石鏃	8.0/5.0/2.9/1.0g	漆石、成形道上の未製品
65	34	795	C2 003 2層上面	石製品	石告丁	6.1/4.7/0.7	約1/3残存、穿孔あり、縫合部
65	34	796	C2 003 2層上面	石製品	石告丁	5.6/4.9/0.7	約1/3残存、穿孔あり、安山岩
65	34	797	D2 003 2層	石製品	石告丁	4.6/3.8/0.6	約1/3残存、縫合部
65	34	798	A3 003 1層下層	石製品	石告丁	5.1/3.6/0.6	約1/3残存、穿孔あり、片岩
65	34	799	D3 003 1層中	石製品	石告丁	5.9/4.0/1.2	約2/3残存、穿孔あり、縫合部
65	34	800	B2 003	石製品	石告丁	5.1/3.6/0.4	約1/3残存、穿孔あり、粘板岩
65	34	801	C2 トレンチ4 (GL-0~20cm)	石製品	石告丁	4.7/5.2/0.8	約1/3残存、穿孔あり、縫合部
65	34	802	C2 溝横面	石製品	石告丁	5.2/4.2/0.7	約1/3残存、穿孔あり、縫合部
65	34	803	A-B3 溝横面	石製品	石告丁	4.7/4.0/0.9	約1/3残存、穿孔あり、縫合部
65	34	804	溝横面	石製品	石告丁	3.9/5.5/0.7	約1/4残存、縫合部
65	34	805	B2 溝横面	石製品	石告丁	4.2/4.6/0.6	約1/3残存、穿孔あり、縫合部
65	34	806	A3 溝横面 (GL-40cm)	石製品	石告丁	4.0/3.1/0.5	2次加工品
65	34	807	A-B3 溝横面	石製品	石告丁	7.2/3.1/0.5	2次加工品
66	34	808	B2 003 2層	石製品	紺縫車	4.6/0.6/23.62g	漆石
66	34	809	B2 003 2層上面	石製品	紺縫車	4.4/0.6/18.33g	漆石
66	35	810	C2 003 トレンチ4南 2層	石製品	紺縫車	5.3/0.6/16.70g	半分欠損、漆石
66	35	811	C2 003 トレンチ4南 2層上面	石製品	紺縫車	3.9/0.6/21.48g	漆石
66	35	812	B2 003 1層下層	石製品	紺縫車	4.9/0.6/38.06g	漆石
66	35	813	B3 003 1層	石製品	紺縫車	3.7/0.6/13.1g	漆石
66	35	814	C3 トレンチ6	石製品	紺縫車	4.5/0.6/18.53g	漆石
66	35	815	D2 トレンチ (GL-40cm)	石製品	紺縫車	4.4/0.6/17.63g	周縁欠損、漆石
66	35	816	D2 溝横面 (GL-20cm)	石製品	紺縫車	4.9/0.6/30.57g	漆石

## 出土遺物目録

件名 (FIG.)	図版 (PL.)	番号	地区・層位・遺構	遺物の種類	器形	法量 (器高・口径・底径・ 長・幅・厚さ(cm))	特徴
66	35	817	A3 003 滝横面(GL~40cm):1層上層	石製品	結縛車	5.9/1.0/1.93g	半分欠損. 浸石
66	35	818	B4 黒色土一稃層	石製品	結縛車	4.6/0.6/26.27g	浸石
66	35	819	滝横面	石製品	結縛車	5.6/0.35/52g	浸石
66	35	820	B2 滝横面(GL~10cm)	石製品	結縛車	4.6/0.8/23.04g	浸石
67	35	821	D2 003 2層	石製品	結縛車	4.1/0.7/18.93g	未製品. 空孔途中. 黒縁文面. 浸石
67	35	822	B2 滝横面(GL~15cm)	石製品	結縛車	4.3/0.5/25.26g	未製品. 空孔途中. 浸石
67	35	823	C2 003 ベルト 2層	石製品	結縛車	5.3/1.0/54.54g	未製品. 浸石
67	35	824	A3 003 1層上層	石製品	結縛車	5.1/1.9/47.16g	未製品. 新縫層. 同縫欠損. 浸石
67	35	825	C2 003 ハンチ4串 2層	石製品	結縛車	5.0/0.8/35.45g	未製品. 空研磨. 浸石
67	35	826	C3 ハンチ6	石製品	結縛車	3.8/1.0/23.62g	未製品. 浸石
67	35	827	A~B3 滝横面	石製品	結縛車	4.2/0.8/23.05g	未製品. 空研磨. 同縫欠損. 浸石
67	35	828	B3 滝横面(GL~40cm) 仔層	石製品	結縛車	4.9/0.5/25.32g	未製品. 同縫欠損. 浸石
67	35	829	B3 滝横面(GL~40cm)	石製品	結縛車	3.6/0.8/16.36g	未製品. 同縫欠損. 浸石
67	35	830	B2 003 1層中	石製品	結縛車	5.6/4.0/0.7	浸石. 未製品か
68	36	831	B2 滝横面	石製品	石斧	14.1/6.0/5.9	玄武岩. 斧打成形の未製品
68	36	832	C2 003 ベルト 2層	石製品	石斧	12.0/8.0/5.0	玄武岩. 相成形の文様品か
68	36	833	D2 トレンチ 5層下層	石製品	石斧	13.3/8.8/6.0	玄武岩. 相成形の文様品か
68	36	834	B2 滝横面	石製品	石斧	18.8/6.2/4.1	玄武岩. 斧打成形の未製品
68	36	835	D2 滝横面(GL~20cm)	石製品	石斧	13.0/7.6/4.0	玄武岩. 斧打成形の未製品
68	36	836	D2 003 2層	石製品	圓製石斧	12.0/8.8/3.2	玄武岩. 司母の小研磨
69	36	837	B2 滝横面	石製品	石斧か	7.3/6.5/1.4	方頭. 基部を欠く
69	36	838	D2 滝横面(GL~20cm)	石製品	石斧	10.0/7.4/4.4	玄武岩. 相成形の文様品か
69	36	839	C2 滝横面(GL~20cm)	石製品	圓製石斧	7.6/4.7/1.4	方頭一面欠損. 玄武岩
69	36	840	C2 ハンチ4層下層(=10cm)	石製品	敲き石	16.5/6.3/4	玄武岩
69	36	841	D2 滝横面(GL~20cm)	石製品	敲き石	12.5/5.4/3.2	玄武岩
69	36	842	C2 滝横面(GL~20cm)	石製品	敲き石	13.5/5.6/4.1	玄武岩
69	36	843	C2 滝横面(GL~20cm)	石製品	敲き石	13.7/5.7/4.6	浸石
69	36	844	C2 003 ハンチ4串 2層	石製品	敲き石	9.4/5.0/6.0	
69	36	845	B2 滝横面	石製品	敲き石?	6.6/3.6/2.2	玄武岩
69	36	846	D2 滝横面(GL~20cm)	石製品	敲き石	7.6/7.5/6.9	玄武岩
69	36	847	C2 ハンチ4 (GL~0~20cm)	石製品	敲き石?	6.6/6.2/3.3	玄武岩
70	36	848	C2 ハンチ4 (GL~0~20cm)	石製品	敲き石	11.0/7.4/4.2	玄武岩
70	36	849	C2 滝横面(GL~20cm)	石製品	敲き石	11.7/7.7/4.6	玄武岩
70	36	850	D2 滝横面(GL~40cm)	石製品	敲き石	21.5/9.5/7.0	玄武岩
70	36	851	C2 003 ハンチ4串 2層	石製品	研磨	16.4/11.4/8.5	研磨
70	36	852	B2 003 1層下層	石製品	不明	5.9/1.5/0.7	碧玉. 玉の素材か
70	36	853	B2 003 1層上層	石製品	凹石	8.2/9.8/4.6	凝灰岩
71	36	854	C2 ハンチ4 (GL~0~20cm)	石製品	打撃石斧	11.7/6.2/2.0	玄武岩
71	36	855	C2 003 ハンチ4串 2層	石製品	石斧	14.9/7.8/2.9	鏡形. 未製品. 玄武岩
71	36	856	B2 003 1層下層	石製品	二次使用削片	9.4/5.7/1.5	周縁調節削面
71	36	857	D2 滝横面(GL~20cm)	石製品	加工削片	6.6/5.0/1.5	安山岩
71	36	858	C2 ハンチ4 (GL~0~20cm)	石製品	打撃石斧	17.0/6.1/2.7	玄武岩
72	36	859	A3 003 2層	土製品	土玉	2.0/2.0/7.63g	色調HUE:5.1.青褐色
72	36	860	C2 003 ハンチ4串 2層上層	土製品	土玉	2.0/2.0/7.64g	色調HUE:5.1.青褐色
72	36	861	C2 003 1層下層	土製品	土玉	1.85/1.95/6.74g	色調HUE:5.1.灰白色
72	36	862	B2 003 1層下層	土製品	土玉	1.6/1.6/4.8g	色調HUE:5.1.灰白色
72	36	863	B2 003 1層(GL~30cm)	土製品	土玉	2.0/2.0/8.0g	色調HUE:5.1.青褐色
72	36	864	B2 トレンチ2 (GL~0~20cm)	土製品	土玉	—/—/—	径1.8cm. 色調HUE:5.1.青褐色

出土物類別表

検体 (FIG.)	図版 (PL.)	番号	地区・層位・遺構	遺物の種類	器形	法量 (高・口径・底径・ 身幅・厚さ)(cm)	特徴
72	865	B3	溝横面 (GL~20cm)	土製品	土玉	1.9/1.8~	色調はにい青褐色
72	866	D2	003-2層	土製品	玲瓏	4.1/2.2/18.6g	色調はにい青褐色
72	867	B1	池山-1面 (GL~10cm)	土製品	土鍾	7.2/2.1/3.9/6g	丸みを帯びた管状、魚生時代のものか
72	868	D2	トレシテ4 (GL~10cm)	土製品	土鍾	~1.5/1.5~	瓶底欠損、径2.1cm、色調は灰白色
72	869	H-シテ4 東部 埋瓦台面上層 (GL~15cm)	石製品	勾玉	1.7/0.6/0.5	硬玉製	
72	870	トレシテ3 溝上面 (GL~30cm)	石製品	管玉	0.6/0.3	碧玉製	
72	871	C2 溝横面 (GL~20cm)	ガラス製品	ガラス製品	1.2/0.45		
72	872	C2 003-1層下層	ガラス製品	小玉	0.3/0.3/0.7		
72	873	B2 1層 (GL~30cm)	ガラス製品	小玉	0.5/0.5/0.3		
72	874	C2 003 H-シテ4-1層下層	ガラス製品	小玉	0.4/0.4/0.2		
72	875	C2 溝上面	銅製品	銅鏡	4.4/0.8/0.3	有茎・有梗葉式銅鏡	
72	876	C2 溝横面 (GL~20cm)	銅製品	銅鏡	3.1/0.7/0.3	有茎・有梗葉式銅鏡	
72	877	C2 溝横面 (GL~20cm)	銅製品	銅鏡	4.2/0.8/0.3	有茎・有梗葉式銅鏡	
72	878	C2 溝横面 (GL~40cm)	銅製品	銅鏡	5.5/1.3/0.3	有茎・有梗葉式銅鏡	
72	879	C2 003 H-シテ4南 2層	石製品	磨製石鏡	8.5/1.8/0.6	変形・複葉形、安山谷	
72	880	C3 溝横面 (GL~40cm)	銅製品	鏡先	3.5/5.1/1.7	刃部片	
72	881	B2 003 1層下層	銅製品	不明	5.0/6.0/0.8	鏡片片	
72	882	A2 溝横面	銅製品	不明	5.3/4.0/0.8	鏡片片	
72	883	A-B3 溝横面	銅製品	不明	4.7/4.2/0.8	鏡片片	
73	884	B3 003 H-シテ2 (GL~0~20cm)	鉄製品	矛	10.6/8.0/0.0	鉄造鉄矛、ほば定形、鉄標付近に2条の安泰	
74	885	B2 溝横面	銅製品	印鑑	2.3/2.6/2.0/4.1g	杏葉形の紐、印面には「實」長	
75	886	B2 003 ベルト 2層	木製品	平歛	29.9/18.8/2.1	直縫、方形納孔、片面に縫	
75	887	C2 003 NO75	木製品	平歛	34.4/16.1/1.7	直縫、方形納孔、片面に縫	
75	888	A3 003 2層	木製品	平歛	28.1/15.3/1.5	直縫、方形納孔	
75	889	B2 003 2層	木製品	二又歛	41.7/8.8/2.0	半分欠歛、方形納孔	
75	890	C2 003 2層	木製品	三又歛	42.8/16.2/1.9	変形、方形納孔	
75	891	C2 003 H-シテ4 2層	木製品	歛	8.1/4.6/1.4	納孔の部分	
75	892	C2 003 2層	木製品	三又歛	28.5/11.3/2.0	納孔と元の一部が欠損、方形納孔	
76	893	NO55	木製品	丸孔	34.0/13.0/1.2	丸の一部が欠損、方形納孔	
76	894	C2 003 H-シテ4南 2層	木製品	丸孔	32.6/11.5/1.2	丸の一部が欠損、方形納孔	
76	895	NO71	木製品	圓	80.8/13.8/2.5	ほば定形	
76	896	C2 003 H-シテ4南 2層	木製品	約子状木製品	24.5/7.8/1.0	約の部分欠損	
76	897	C3 003 溝横面 (GL~40cm~)	木製品	約子状木製品	46.8/9.1/2	約の部分欠損	
76	898	C2 003 2層	木製品	約子状木製品	47.8/7.0/1.0	ほば定形	
76	899	NO26	木製品	約子状木製品	57.5/6.9/1.8	約子の部分欠損	
76	900	D2 003 溝横面 (GL~40cm~)	木製品	木製品	66.5/10.4/3		
77	901	B2 003 2層	木製品	棍棒状木製品	42.6/3.7/1	変形、中位でくびれる、先端・側面に敲打や削り波は見られない	
77	902	NO3	木製品	棍棒状木製品	40.8/3.9/3.7	変形、中位でくびれる、先端・側面に敲打や削り波は見られない	
77	903	C2 003 ベルト 2層	木製品	棍棒状木製品	38.8/3.8/3.6	片側が彫刻、中位でくびれる、先端・側面に敲打や削り波は見られない	
77	904	C3 003 H-シテ4南 2層	木製品	棍棒状木製品	24.0/2.0/2.8	片側が彫刻、中位でくびれる、先端・側面に敲打や削り波は見られない	
77	905	C3 003 H-シテ5	木製品	杖	32.0/1.7/1.7	変形、一端をくがせる	
77	906	C2 003 2層上層	木製品	杖	29.4/1.6/1.6	一端をくぐる、先端はとがらせ、枝がつく	
77	907	C2 003 2層	木製品	杖	31.0/2.7/1.9	一端をくぐる、先端はとがらせ	
77	908	C2 003 2層上層	木製品	弓	16.6/6.2/4.5	丸木弓、弓頭の一端をくぐる	
77	909	NO89	木製品	弓	54.2/1.3/1.1	丸木弓、弓頭の一端をくぐる	
77	910	C2 003 H-シテ4南 2層	木製品	弐柄	52.5 /	変形、木製品か	
77	911	C2 003 H-シテ4南 2層	木製品	弐柄	11.2 /	台形、柄は欠損	
77	912	C2 003 H-シテ4南 2層	木製品	柄	15.6/3.2/3.2	811と同一か	

## 出土漆物調査書

掉片 (FIG.)	図版 (PL.)	番号	地区・層位・遺構	遺物の種類	器形	法量 (器高・口幅・底径・ 身幅・幅・厚さ(cm))	特徴
77	40	913	A3 003 漆桶面 (GL~40cm~)	木製品	柄	40.4/9.1.8	漆の柄か、一端を突いている
77	39	914	D2 003 漆桶面 (GL~40cm~)	木製品	柄	42.8/2.6/2.1	先端を両側から削る
77	914	D2 003 漆桶面 (GL~40cm~)	木製品	柱打裏		53.3/5.2/1.5	一端を丸く、断面複数
77	40	916	C3 003 漆桶面 (GL~40cm~)	木製品	木包丁	22.9/3.6/0.65	半円形、直線部分が尖る
78	38	917	C2 003 2層	木製品	杓子状木製品	38.8/15.4/1.4	変形、多角形の柄に柄があり、先端に向かって細くなる
78	39	918	C3 003 漆桶面 (GL~40cm~)	木製品	杓子	8.9/8.8/1.5	柄は木製
78	39	919	D2 003 2層	木製品	杓子	24.9/5.1/1.2	杓子の部分欠損
78	39	920	D3 003 漆桶面東西脚 (GL~40cm~)	木製品	コップ型容器	44.5/5.5/8	未製品、開口部は円形孔、内側の軽い凹みは未完成
78	39	921	D3 003 漆桶面 (GL~40cm~)	木製品	シャコ型容器	38.6/5.4/4	未製品、把手を組みだし、内側の軽い凹みは未完成
78	39	922	D3 003 漆桶面 (GL~40cm~)	木製品	シャコ型容器	7.0/9.5/10.0	変形、やや歪んでいる、把手には孔はない
78	39	923	C3 003 漆桶面 (GL~40cm~)	木製品	把手	9.0/3.3/3.4	容器の把手か
78	40	924	D2 003 漆桶面 (GL~40cm~)	木製品	把手	7.6/3.1/2.1	容器の把手か、表面に香港を塗有
78	39	925	D3 003 漆桶面 (GL~40cm~)	木製品	容器	27.3/5.5/高さ6.1	組合せ式の丸底容器、片側は欠損
78	40	926	B4 003 黒色一枚革	木製品	容器	7.0/7.5/7.0	漆まみの底面が容器の底面、裏面に縫合がつく、留め穴は見られない、表面に黒漆、裏面には白漆の赤い縫目が沿る
78		927	B3 003 2層	木製品	蓋坪	8.3/	杯部・一眼鏡、杯部には赤い凹みがない、赤の波毛は見られない。
78		928	B2 003 2層東耳	木製品	容器	25.8/14.5/2.1	変形、片側に突起がつく、把手付きの蓋
79	39	929	D2 003 漆桶面 (GL~40cm~)	木製品	椎	45.0/7.4/0.8	裏面に穴開いているが、これは形状ゆえかとも、裏面に把手がついて、把手には長い黒い糸で、内側には仕切りが付いていた。外底面には2箇所の凹痕
79	39	930	A3 003 2層	木製品	容器	45.0/2.5/1.0~2.0	裏面丸形容で、上面に円形の底み、腰に凹凸による變形か不明
79	39	931	B2 003 2層	木製品	椎	39.0/23.7/1.0高さ4.0	片側が欠損、把手付き、裏面には縫合が出来れる
79	39	932	B2 003 2層東耳	木製品	椎	55.0/14.0/0.8	片側が欠損、把手付き
79	39	933	A3 003 2層	木製品	椎	15.5/1.6/1.0	片側が欠損、把手付き
79	39	934	B2 003 2層東耳	木製品	椎	60.0/12.8/1.0高さ8.0	片側が欠損、把手付き
80	40	935	C3 003 漆桶面 (GL~40cm~)	木製品	蓋	17.3/4.2/0.7	継縫、片側に楕円形の刺にみ、貼し込み部分の孔は欠損
80	40	936	C3 003 漆桶面 (GL~40cm~)	木製品	蓋	23.8/4.5/0.9	継縫、貼し込み部分の孔は不明
80	40	937	D3 003 ハンチ1 (GL~40cm~)	木製品	蓋か	29.7/3.5/1.1	片側に刺にみ、蓋の底部か
80	40	938	B2 003 2層	木製品	圓	14.9/6.5/4	組合せ式の葉や棒の柄か、丸木材の片側を丸く加工し、先端に方形の孔
80	40	939	C3 003 漆桶面 (GL~40cm~)	木製品	圓	9.4/7.4/3.0	組合せ式の葉や棒の柄か、粗粒の漆の素材の先端を丸く加工、片側に円形の孔
80	40	940	A2 003 2層	木製品	椅子	40.0/10.0~21.8	椅子もこは付ける柄か、脚の片側、腰に二ヶ所方形容の透かし孔、脚の外側は透かし孔の方を向いて埋め込
80	40	941	D2 003 漆桶面 (GL~40cm~)	木製品	不明	15.1/7.5/2.7	片側に半円形容に切欠けて、組合せて後埋するものか
80	40	942	D2 003 2層	木製品	不明	15.4/	丸木の端にはそれをあけ、板を差し込む
80	40	943	003	木製品	不明	13.2/7.4/0.5	平面削り台形に加工した薄い板材、先端に椭円形容の孔
80	40	944	A2 003 2層	木製品	不明	24.4/13.7/1.0	平面形容に加工した薄い板材、表面に孔
80	40	945	C2 003 漆桶面東西脚 (GL~40cm~)	木製品	不明	31.5/8.4/1.5	片側に方形容の孔、一つは薄く加工しており、側などでは薄肉が付く
80	946	B2 003 2層	木製品	柄の留め具	21.2/2.8/2.7	変形、跡の柄の留め具	
80	947	C2 003 2層	木製品	柄の留め具	18.0/3.1/	片側欠損、跡の柄の留め具	
80	40	948	D3 003 漆桶面 (GL~40cm~)	木製品	不明	14.6/2.5/1.5	片側に一眼鏡脚孔出し、木釘か
80	40	949	D2 003 漆桶面 (GL~40cm~)	木製品	部材	38.0/2.9/4.6	角材の2分角にはねを切る
80	40	950	D2 003 2層	木製品	部材	37.0/5.6/1.8	先端に斜めに切り込みを入れ、小孔を穿つ、組合せの部材
80	40	951	C2 003 NOT74	木製品	部材	32.5/2.6/2.7	片側に斜め方向の切り込み、差し込みのための孔の可動性あり
80	40	952	D2 003 2層	木製品	脚か	55.3/1.4/1.7	方形の孔が1つ、脚、脚跡の未製品か

#### 4. 小結

今回の調査では本遺跡を巡る環濠の一部を検出し、環濠の陸橋を確認できた。このことは集落構造を考える上で重要な成果と考えられる。環濠の東側には水田が予測されるが、今回の調査では確認することができなかった。環濠以外の遺構は検出できなかったが、古代の包含層が上面を覆っている状況から、後世の擾乱による削平が及んだと考えられる。古代の遺物には瓦や輸入陶磁器、印章、製鉄関連遺物等があり、一般集落のものとは考えにくいものが出土しており、古代の時期の遺跡についても注目される。それではこれまでの調査成果を踏まえながら、本遺跡の概要を簡単に纏める。

##### 1) 環濠について

今回の調査では延長約 35 m 分の環濠を確認した。本調査地点は環濠の東端に当たる。環濠の時期は中末期～後期初頭に掘削され、後期後半まで続いたものと考えられる。この溝は更に北側に延びて、三菱電機福岡工場の西側を抜けていくと考えられる。工場内では溝の延長は確認されていないが、今宿小学校の北側に位置する第 1 次調査で弥生時代の溝が確認されている。この溝は環濠の一部で北端を示すものと考えられる。南端については第 9 次調査で確認されており、台地の落ち際に環濠が掘られている。西側については大塚 11 次調査地点を経て、北側に折れて、第 11 次調査地点に連なる。第 11 次調査地点でも台地の落ち際に環濠が掘削されている。溝はこの調査区の中ほどで途切れており、北側の延長は確認されていない。北西側は後背湿地に縁に近い場所に当たり、この部分は環濠が途切れている可能性がある。これらの成果を総合すると、環濠は以下のような内容となる。

- ①環濠の平面形は部分的に外側に張り出す楕円形を呈し、規模は南北長約 270 m、東西長約 200 m を測る。環濠の北西側は途切れている。東側には 1ヶ所陸橋がつく。集落の入り口に当たるものか。
- ②環濠は台地の落ち際に掘削されており、掘削の時期は弥生時代中期～後期初頭と考えられる。溝には各調査地点で多量の土器が廃棄されており、それらの時期から概ね後期後半には埋没していったと考えられる。
- ③環濠には水が流れた痕跡があり、流路としての機能も持っていたと考えられる。西側の第 12 次調査では環濠に連結する井泉が検出されており、井泉からあふれた水は環濠から下流に流れ込み構造になっている。東側でも第 10 次調査、第 13 次調査で流木を含む木製品が多量に出土していることや陸橋の周囲に杭列を打ちこんで流水に備えていることからも流路としての機能が認められる。
- ④環濠の内部の集落構造は整理中であり、今後の報告書を待ちたいが、円形の周溝状遺構がいくつ検出されており、その性格が注目される。
- ⑤出土遺物には農具や漁労具等が多量に出土しており、農耕や漁労活動への従事していた一方で、鋳造鉄斧や貨泉、銅鏡等の大陸の金属製品、樂浪系土器や三韓系土器等の半島の土器といった搬入品の存在は伊都国との対外交渉を担っていたことを示すものとしてみなすことことができよう。
- ⑥これまでに糸島地域では全容がわかる弥生時代の環濠の検出例ではなく、その性格が注目される。今宿五郎江遺跡は糸島地域では東端にあたる場所に位置し、今津湾の出入り口に面し、早良平野との境界に位置するという交通の要衝にあることから、対外関係から成立した政治的、軍事的性格の強い環濠集落と見ることができよう。

##### 2) 出土遺物について

今回の調査では 800 m<sup>2</sup> 程の調査で 600 箱を超える遺物が出土した。その大半は弥生土器である。

弥生土器は中期末から後期後半の時期のもので、大半は後期に属する。いくつか土器の特徴を列記すると、壺の胴部に隅丸方形の窓がつくものが一定量見られる。窓は焼成前からあけられており、窓付きの土器の用途があったと考えられる。また、壺の底部穿孔のものも一定量見られるが、焼成前に穿孔を施したものがある。それについても当初から底部穿孔の土器を求めていたと言えよう。

出土した土器には他地域からの搬入品が見られる。量は少ないが、西部瀬戸内、中部瀬戸内、東海等の地域の土器が出土している。また、楽浪系土器や三韓系土器等の半島からの土器も出土している。特に楽浪系土器は本遺跡では9~12次の各地点で数点から十数点出土している。また、大塚遺跡12次でも出土しており、環濠を中心とした地点での集中が見られる。器形は鉢形のものが大半で、他の機種はほとんどないという傾向にある。

金属製品ではこれまで中国製貨幣や鏡、青銅製鋏先などが出土しているが、その中でも銅鏡の出土量は多い。第13次調査でも4点が出土した。一方で、鉄製品は铸造鉄斧が1点出土したが、これ以外のものはほとんどなく、器種に偏りが見られる。

木製品は農具（平鋤、三叉鋤、エブリ等）、工具（斧柄）、狩猟具（銛、弓）、紡織具（経打具）、容器（槽、コップ形容器、組合せ式容器、漆器等）、案（脚）、椅子等が出土した。第12次調査出土の木製品の様相に近いが、楯や短甲といった武具は出土していない。容器は削り抜きの槽が数点出土した。槽には両側に把手が付き、内底面には中央で分割するための突起をもつものも見られる。外面に赤い細線が巡る漆塗りの容器の底も出土した。また、案の脚と考えられるものも数点出土した。

古代の遺物では銅製の印が1点出土した。紐は苔形を呈し、印面には「寶」の1字が鋳だされる。形態から私印と考えられる。古代の印はこれまで元岡・桑原遺跡群で「酒」と記した土製の印が出土している。また、鴻臚館跡では「開」と記した石製の印が出土している。「寶」銘の印は伝世品であるものの、出土例は初めてである。関連資料として「寶」の印を押した須恵器が斎宮跡で出土している。「寶」の意味については名前や文字通り宝であった等が考えられるが、確定できない。これ以外の文字資料では「三太」銘の墨書土器が出土した。

この他、今回の調査では瓦が多数出土した。瓦は平瓦、丸瓦のみで、軒瓦は含まれない。瓦の特徴は元岡・桑原遺跡群の1号瓦窯跡で出土したものに類似する。時期的には9世紀から10世紀に位置付けられるものと考えられる。これらの瓦は鴻臚館跡でも出土しており、それらの関連が注目される。今回の調査では古代の遺構は検出されていないが、この地域には古代官道や大宰府主船司等が想定されており、これらの瓦類や輸入陶磁器、製鉄関連遺物等がどう位置付けられるかが注目される。



今宿五郎江・大塚遺跡調査地点合成図（白線は環壕）



調査区遠景（南から）



1 I 調査区全景 (東から)



2 I 調査区全景 (南から)



1 Ⅱ区調査区全景（東から）



2 Ⅱ区調査区全景（南から）



1 I 区調査区SD003完掘（南から）



2 II 区調査区SD003完掘（南から）



1 調査区西側掘り下げ風景（南から）



2 SD003 1層下層遺物出土状況2（南から）



1 SD003 1層下層遺物出土状況1（南から）



2 SD003 1層下層遺物出土状況4（南から）



3 SD003 1層下層遺物出土状況3（南から）



4 SD003 1層下層遺物出土状況5（北から）



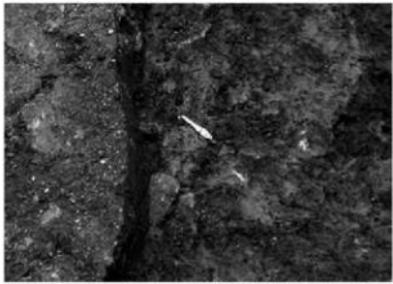
5 SD003 1層下層遺物出土状況6（東から）



6 B2区SD003 1層下層袋状口縁壺出土状況（東から）



7 C2区造構面ガラス玉出土状況（西から）



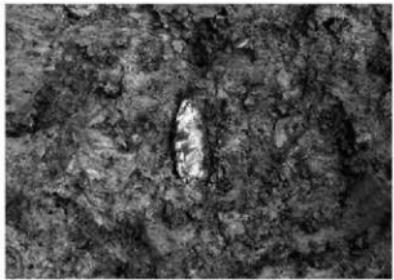
8 C2区造構面（GL-20cm）銅鏡出土状況（北から）



1 銅印出土状況（南から）



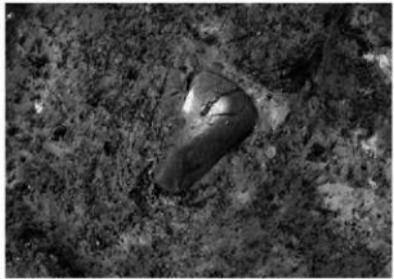
2 SD003トレンチ2鉄造鉄斧出土状況（南から）



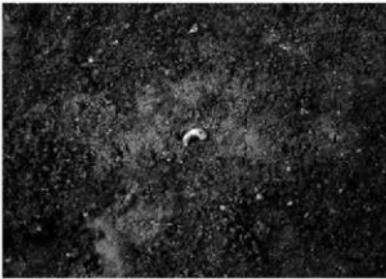
3 トレンチ2石鎚未製品出土状況（南から）



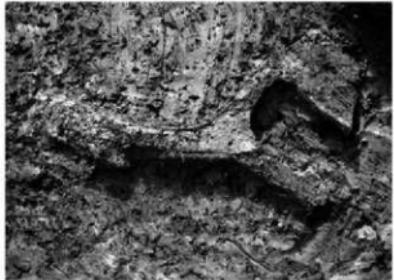
4 C2区SD003トレンチ4南磨製石鎚（南から）



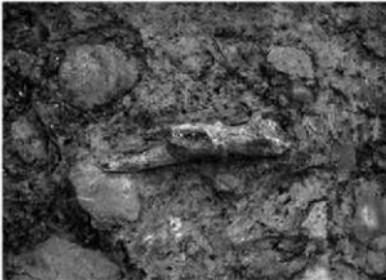
5 C2区SD003トレンチ4南磨製石鎚（南から）



6 トレンチ4勾玉出土状況（南から）



7 B2区SD003鹿角出土状況（東から）



8 B2区SD003鹿角出土状況（北から）



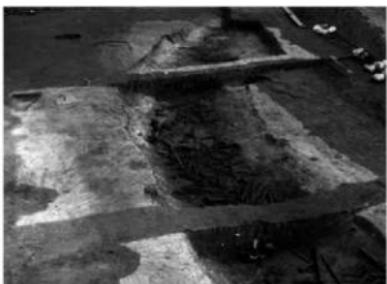
1 C2区SD003木製品出土状況（南から）



2 C～D2区SD003木製品出土状況（南から）



1 SD003木製品出土状況（南から）



2 C2区SD003木製品出土状況（南から）



3 C2区SD003木製品出土状況（東から）



4 C2区SD003木製品出土状況（東から）



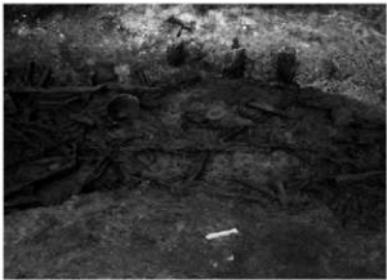
5 C~D2区SD003木製品出土状況（西から）



6 C2区SD003木製品出土状況（西から）



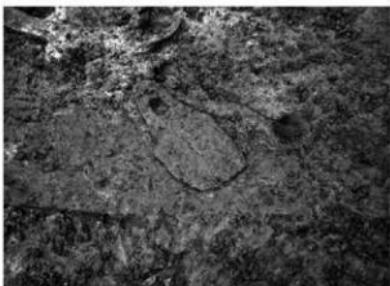
7 C2区SD003木製品出土状況（東から）



8 C2区SD003木製品出土状況（東から）



1 B2区SD003木製脚出土状況（東から）



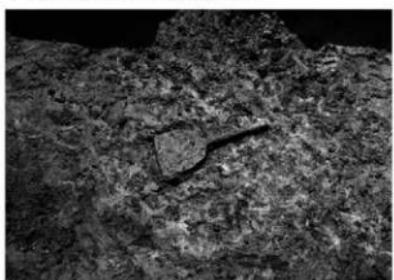
2 C2区SD003躰出土状況（南から）



3 C2区SD003躰出土状況（東から）



4 C2区SD003トレンチ4南斧柄出土状況（東から）



5 C2区SD003羽子板状木製品出土状況（北から）



6 C2区SD003三叉躰出土状況（西から）



7 C2区SD003三叉躰出土状況（東から）



8 B2区SD003東岸木製品だまり（南から）



1 B2区SD003不明木製品出土状況（東から）



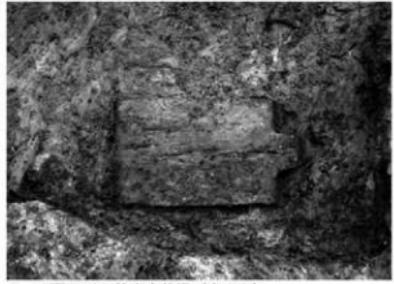
2 C2区SD003柄出土状況（西から）



3 B2区SD003東岸木製品出土状況（南から）



4 C2区SD003杓子状木製品出土状況（西から）



5 B2区SD003盤出土状況（東から）



6 D2区SD003杓出土状況（東から）



7 C2区SD003土層ベルト（南から）



8 D2区SD003南壁土層（北から）



1 SD003窯掘（南から）



2 D3区造構面杭出土状況（南から）



1 A3区SD003鹿角出土状況（北から）



2 A3区SD003木製品出土状況（北から）



3 A3区SD003イノシシ頭出土状況（東から）



1 A3区SD003木製品出土状況（南から）



2 A3区SD003木製品出土状況（北から）



1 A3区SD003杭列出土状況（西から）



2 A3区SD003杭列立ち割り（南から）



3 A3区SD003木製椅子出土状況（西から）



1 A～B区SD003発掘（南から）



2 A～B区SD003発掘（南から）



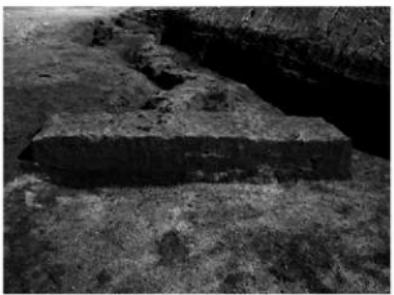
1 A～B区SD003完掘（東から）



2 A3区SD003陸橋部（西から）



3 A3区SD003外側足跡検出状況（東から）



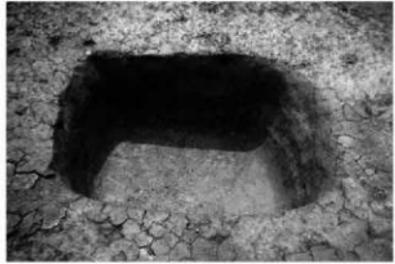
4 A3区SD003外側土層堆積（南から）



5 SK001土層堆積（西から）



6 SK002土層堆積（南から）



7 SK001完掘（北から）



8 SK002完掘（南から）













274



277



278



280



290



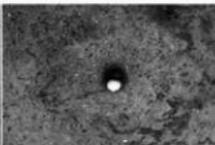
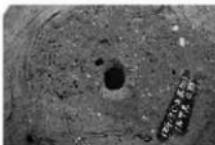
291



297



301



307



340



344



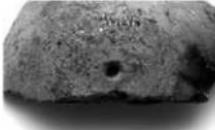
347



345



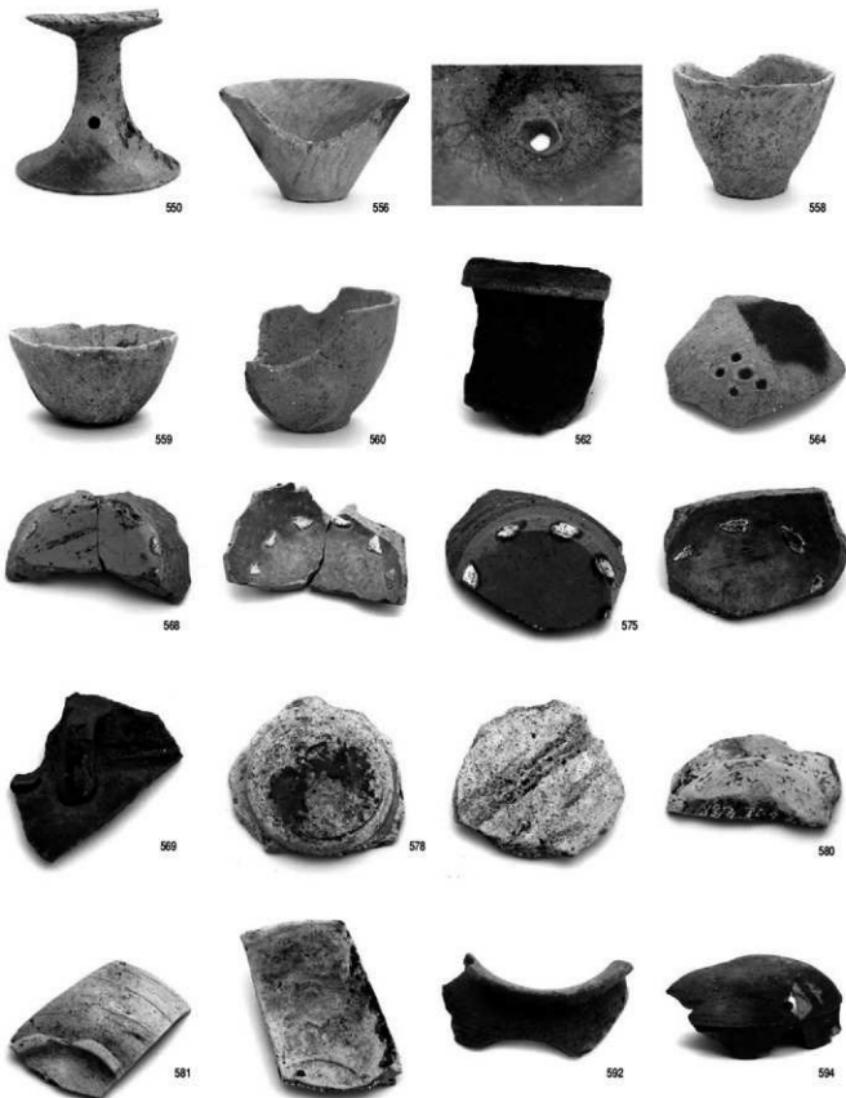
353













607



609



614



615



611



613



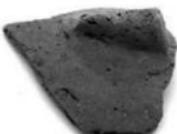
615



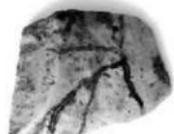
617



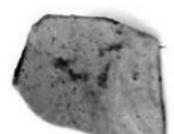
634



635



642



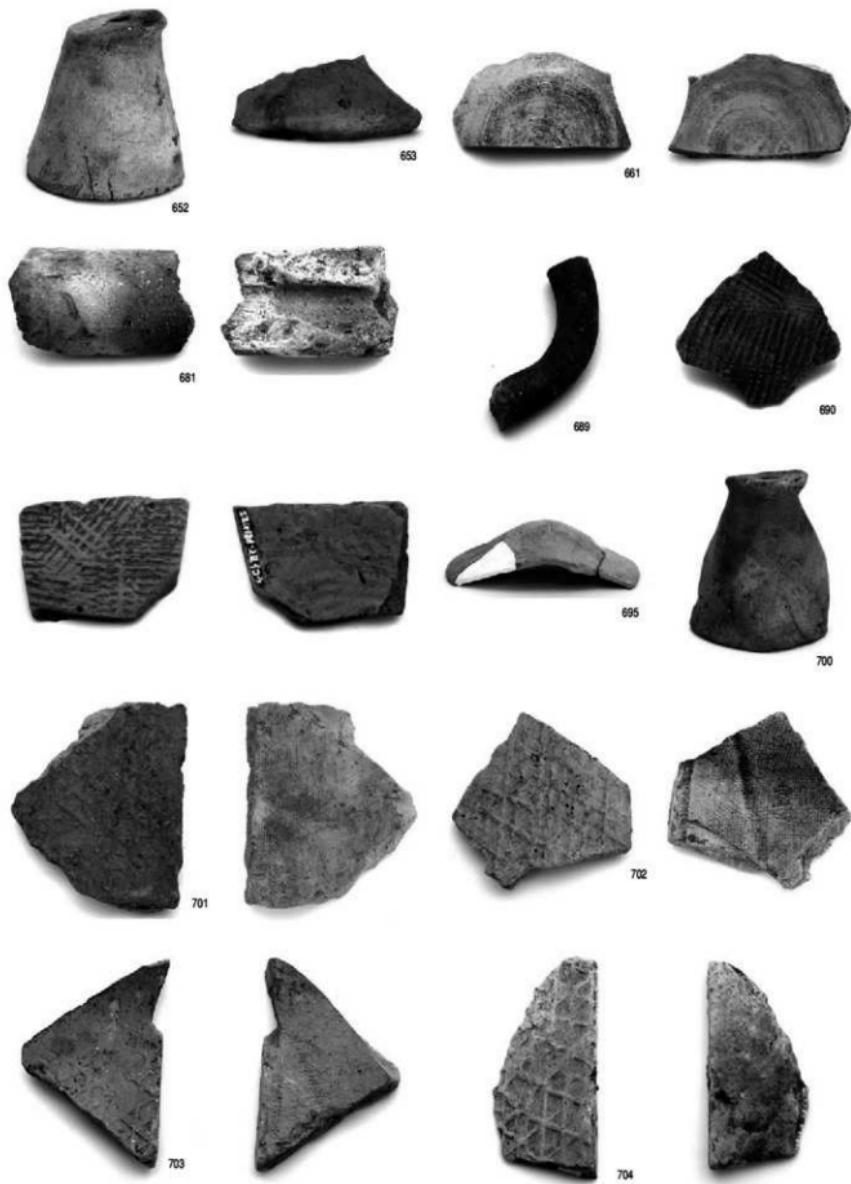
645



646

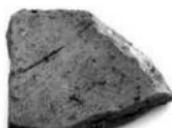


651





706



707



709



710



711



712



715



716

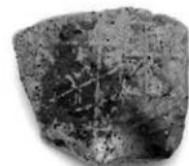


718



719

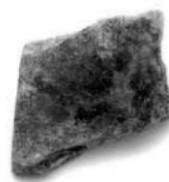




722



723



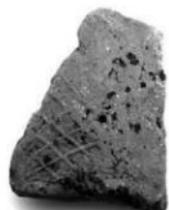
724



725



727



729



731



732



735



736





749



750



751



752



753



755





769



770



771



772



773



774



775



776



777



778



779



780



781



782



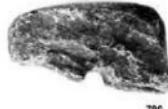
783



784



785



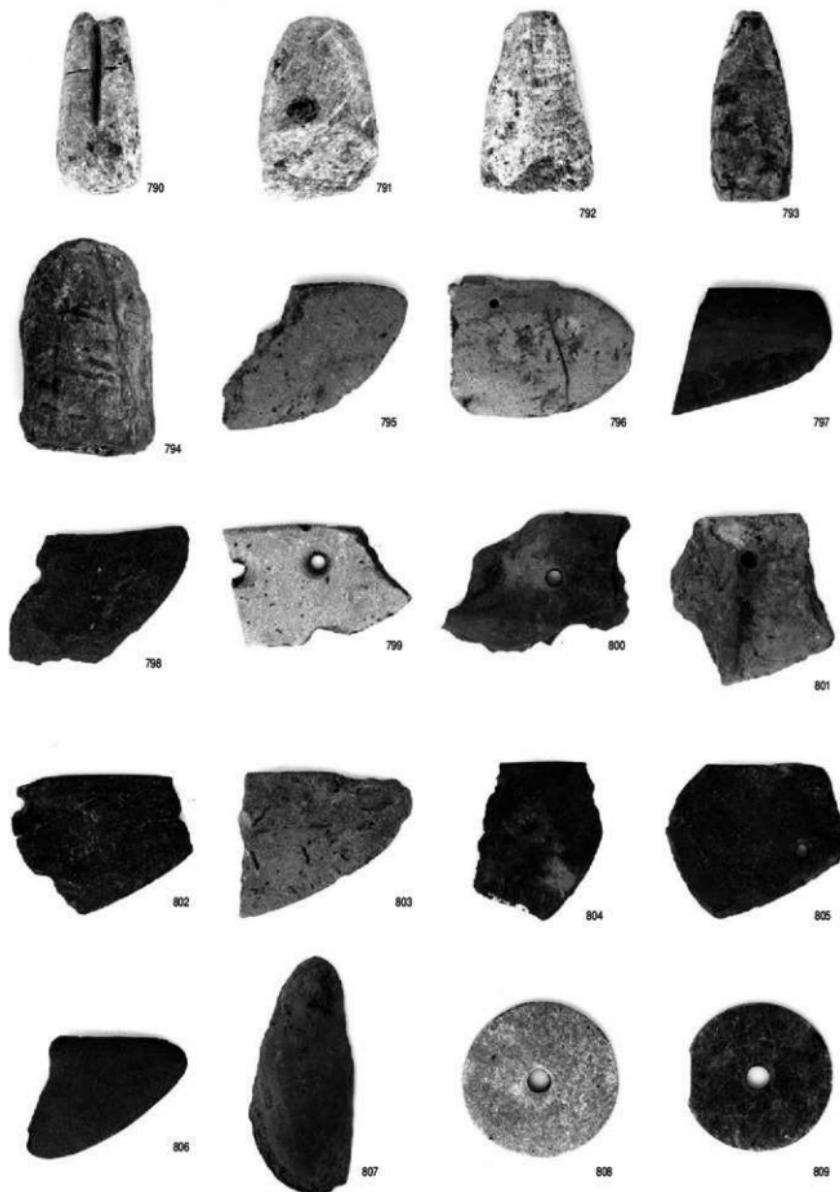
786

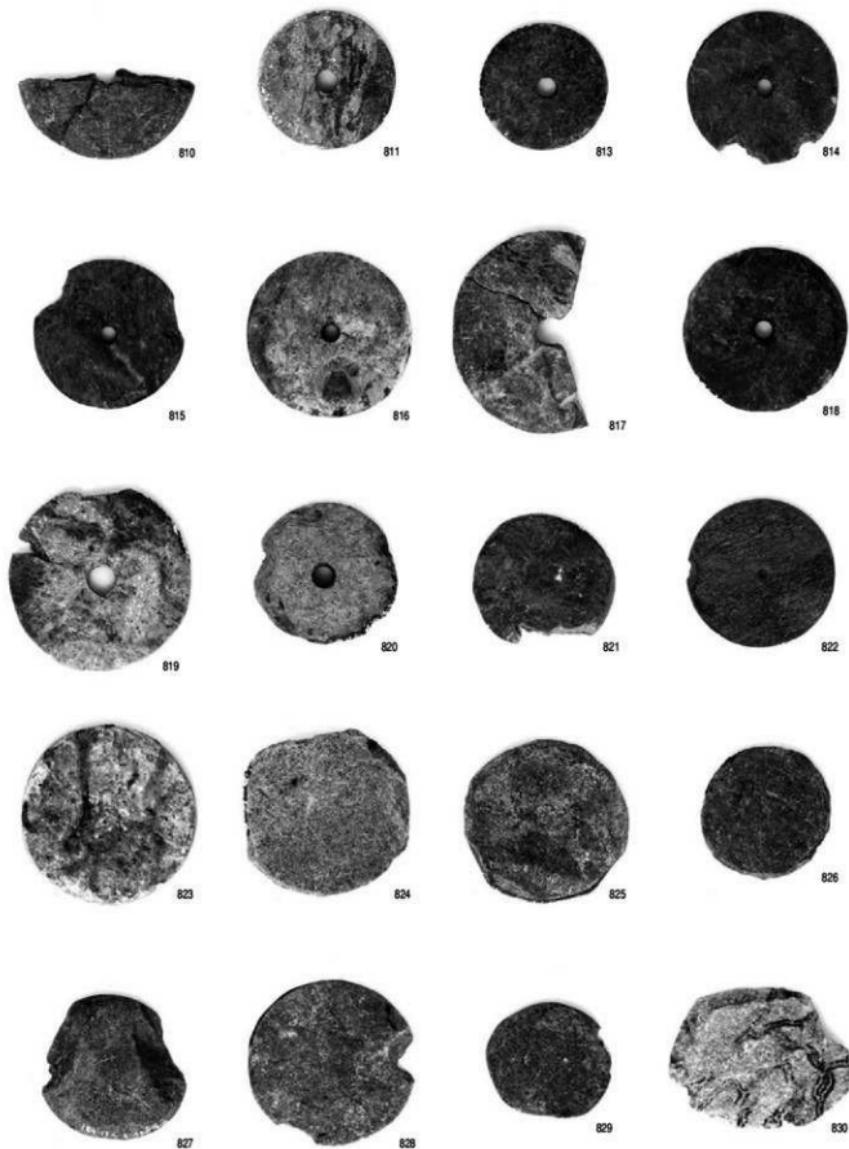


787



788







831



832



834



835



836



839



840



841



842



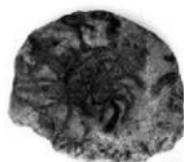
843



844



845



853



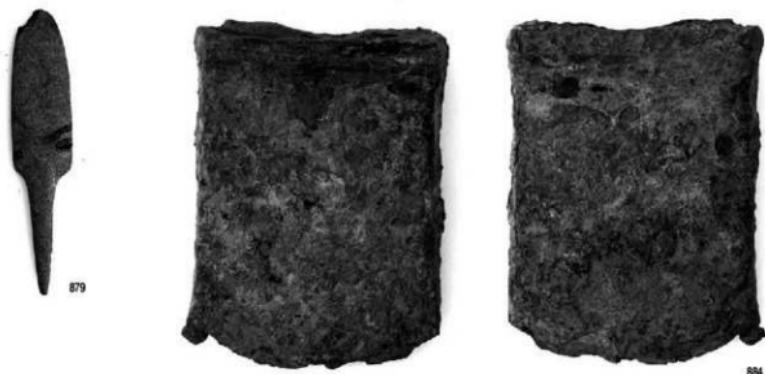
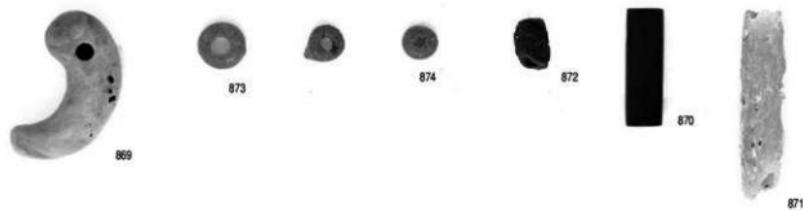
855

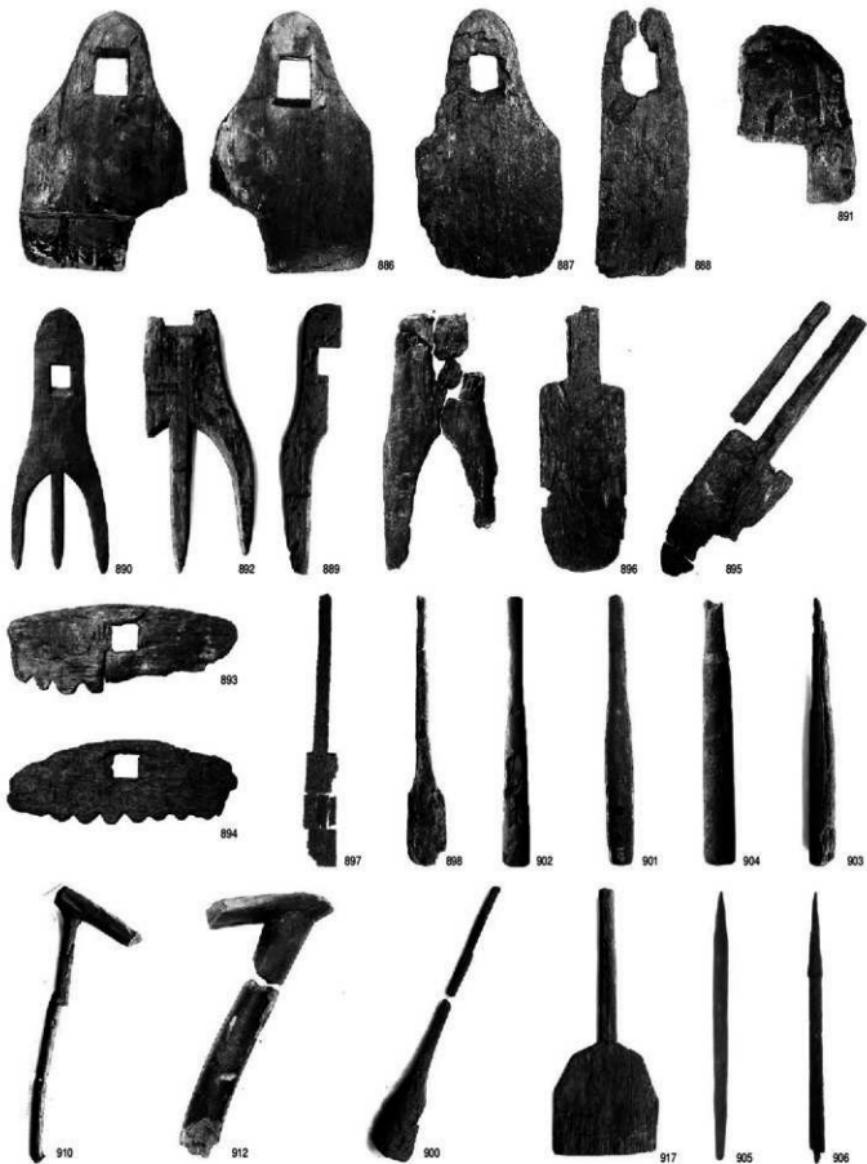


856



857









## 奥付

書名ふりがな	いまじゅくごろうえ		
書名	今宿五郎江		
副書名	-第13次調査の報告-		
卷次	9		
シリーズ名	福岡市埋蔵文化財調査報告書		
シリーズ番号	第1109集		
編著者名	菅波正人		
編集機関	福岡市教育委員会	発行機関	福岡市教育委員会
発行年月日	20110318	作成法人ID	
住所	〒810-0001 福岡市中央区天神1-8-1	電話番号	(092)711-4667
遺跡名のふりがな	いまじゅくごろうえ		
遺跡名	今宿五郎江遺跡		
所在地ふりがな	ふくおかしにしくいまじゅくまち		
所在地	福岡市西区今宿町172-4		
市町村コード	401358	遺跡番号	
北緯	335748	東経	1302739
調査期間	2007.6.1 - 10.23	調査面積	820m <sup>2</sup>
調査原因	記録保存調査	種別	集落
主な時代	弥生 - 古代		
遺跡概要	遺構 弥生時代後期 環濠 遺物 環濠から弥生土器、木製品（農具、工具、容器等）、金属製品（鉄斧、銅鑼、青銅製鶴先等）、包含層から須恵器、土師器等の土器類、輸入陶磁器類（越州窯系青磁）、瓦類		
特記事項	本調査では今宿五郎江遺跡を巡る環濠の一部を検出することができた。 環濠は弥生時代中期末～後期初頭に開削されたもので、糸島地域では初めての環濠集落であり、伊都国内での位置づけについて今後の調査が期待される。		

### 今宿五郎江 9

- 第13次調査の報告 -

福岡市埋蔵文化財調査報告書第1109集

2011年3月18日

発行 福岡市教育委員会  
 (福岡市中央区天神1-8-1)  
 印刷 株式会社 宣技堂  
 (福岡市東区箱崎埠頭6丁目6-47)